

平成 30 年 3 月

平成 28 年度 学生生活調査結果

まえがき

日本学生支援機構では、学生の標準的な学生生活状況を把握し、学生生活支援事業の充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、平成16年度から隔年で「学生生活調査」を実施しています。本調査は、平成14年度までは文部科学省において実施していましたが、平成16年4月の日本学生支援機構（JASSO）の設立に伴い、文部科学省から業務が移管されました。

このたび、平成28年度の調査結果を取りまとめましたので、主に大学昼間部、短期大学昼間部及び大学院を中心に前回調査（平成26年度）との比較を行いながら、その調査の概要を説明します。

今回の調査は、前回調査と同様に大学学部、短期大学本科及び大学院の学生（通信課程、休学者及び外国人留学生を除く。）を調査対象とし、各種の条件下における学生の標準的な学生生活費とこれを支える家庭の経済状況、学生のアルバイト従事状況など学生生活状況を把握することを主眼として、全国2,940,992人から96,696人を抽出し、平成28年11月現在で実施したものです。

調査の方法は、大学・短期大学の別、昼間部・夜間部の別、大学院修士課程・博士課程・専門職学位課程の別、設置者（国公私）の別に従ってそれぞれ抽出率を定め、サンプル数を算出し、在籍学生数に比例して、各大学、短期大学にサンプル数を割り当てて調査を依頼しました。回収率は45.7%、有効回答数は44,169人で、本文に紹介する資料に掲げる数値は、この標本調査の結果を基礎として、全国の調査対象学生総数についての数値を推定した結果となっています。

学生生活に伴う問題は広範かつ複雑で、この調査で取り上げたことに尽きるものではありませんが、この調査結果が学生生活に関心を寄せられる方々の参考になれば幸いです。

末筆ながら、本調査に回答いただいた学生の皆様、本調査の実施に際して多大なご協力をいただいた全国の各大学及び各短期大学の関係者の皆様をはじめ、ご助言ご協力をいただきました関係者の方々に深く感謝申し上げます。

平成30年3月

独立行政法人 日本学生支援機構

目 次

まえがき

I. 調査実施方法等について	1
II. 調査結果の概要	2
1. 学生生活費（学費と生活費の合計）	4
2. 設置者別の学生生活費	5
3. 居住形態別の学生生活費	6
4. 学生の収入状況	7
5. 家庭の年間平均収入額	9
6. アルバイト従事状況	10
7. 奨学金の受給状況	11
8. 片道通学時間	12
9. 週間平均生活時間	14
10. 大学の学生支援体制への満足度	17
11. 学生の不安や悩み	18
III. 識者所見（*）	
○ 学生に対する経済的支援の現状と課題 濱中 義隆（国立教育政策研究所 総括研究官）	22
○ アルバイト状況 岩田 弘三（武蔵野大学 教授）	30
○ 大学3年生のキャリア形成と「家庭からの給付状況」の関連 望月 由起（昭和女子大学 准教授）	36
IV. 集計表	
1-1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学昼間部）	44
1-2表 〃（大学夜間部）	45
1-3表 〃（短期大学昼間部）	46
1-4表 〃（短期大学夜間部）	47
1-5表 〃（大学院修士課程）	48
1-6表 〃（大学院博士課程）	49
1-7表 〃（大学院専門職学位課程）	50
2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳（大学・短期大学）（大学院）	51
3-1表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）	52
3-2表 〃（短期大学昼間部）	53
3-3表 〃（大学院修士課程）	54
3-4表 〃（大学院博士課程）	55
3-5表 〃（大学院専門職学位課程）	56
4-1表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学昼間部）	57
4-2表 〃（短期大学昼間部）	57

* 所見には、所見執筆者による独自集計が含まれます。著作権は各所見執筆者に帰属します。

4-3表	〃	(大学院修士課程)	58
4-4表	〃	(大学院博士課程)	58
4-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	59
5-1表	アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合	(大学昼間部)	60
5-2表	〃	(短期大学昼間部)	61
5-3表	〃	(大学院修士課程)	62
5-4表	〃	(大学院博士課程)	63
5-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	64
6-1表	設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況	(大学昼間部)	65
6-2表	〃	(短期大学昼間部)	66
6-3表	〃	(大学院修士課程)	67
6-4表	〃	(大学院博士課程)	68
6-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	69
7表	設置者別・奨学金の種類別学生数の割合	(大学・短期大学)(大学院)	70
8-1表	居住形態別・地域別片道通学時間	(大学昼間部)	71
8-2表	〃	(短期大学昼間部)	72
8-3表	〃	(大学院修士課程)	73
8-4表	〃	(大学院博士課程)	74
8-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	75
9-1表	設置者別・週間平均生活時間	(大学昼間部)	76
9-2表	〃	(短期大学昼間部)	77
9-3表	〃	(大学院修士課程)	78
9-4表	〃	(大学院博士課程)	79
9-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	80
10-1表	設置者別・大学の学生支援体制への満足度	(大学昼間部)	81
10-2表	〃	(短期大学昼間部)	81
10-3表	〃	(大学院修士課程)	82
10-4表	〃	(大学院博士課程)	82
10-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	83
11-1表	設置者別・学生の不安や悩み	(大学昼間部)	84
11-2表	〃	(短期大学昼間部)	84
11-3表	〃	(大学院修士課程)	85
11-4表	〃	(大学院博士課程)	85
11-5表	〃	(大学院専門職学位課程)	86

V. 参考資料

平成28年度学生生活調査	実施要領	90
平成28年度学生生活調査	調査票(大学)	94
平成28年度学生生活調査	調査票(短期大学)	98
平成28年度学生生活調査	調査票(大学院)	102
平成28年度学生生活調査	調査票記入要領	106

I. 調査実施方法等について

1. 調査の目的 この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活の実状を明らかにし、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査の対象 大学学部、短期大学本科及び大学院の学生
(社会人学生を含む。通信課程、休学者及び外国人留学生は除く。)
3. 調査の時期 平成 28 年 11 月 (隔年調査)
4. 調査数 大学、短期大学及び大学院の別、さらに大学及び短期大学については、昼間部、夜間部別、大学院については修士課程、博士課程、専門職学位課程別に、下記の抽出率によって在籍学生 (平成28年 5 月 1 日現在の学校基本調査による。) から抽出した数で、全国の学生2,940,992人の中から96,696人を調査対象とした。

区 分		設置者別		
		国 立	公 立	私 立
大学	昼 間 部	$\frac{1}{38}$	$\frac{5}{59}$	$\frac{1}{100}$
	夜 間 部	$\frac{13}{33}$	$\frac{6}{7}$	$\frac{1}{6}$
短期大学	昼 間 部		$\frac{1}{2}$	$\frac{3}{82}$
	夜 間 部		$\frac{23}{24}$	$\frac{31}{46}$
大学院	修 士 課 程	$\frac{4}{67}$	$\frac{34}{89}$	$\frac{2}{19}$
	博 士 課 程	$\frac{4}{25}$	$\frac{41}{58}$	$\frac{27}{76}$
	専門職学位課程	$\frac{9}{16}$	$\frac{85}{89}$	$\frac{1}{2}$

※上記の数値は、在籍学生数に対する依頼調査数の割合を示したものである。(依頼調査数/在籍学生数)

5. 調査方法 各学校は、あらかじめこの調査の対象となる全在籍学生の中から、日本学生支援機構が依頼した調査数だけの学生を無作為に抽出し、所定の調査票により調査を行った。

Ⅱ. 調査結果の概要

平成 28 年度学生生活調査結果として、学生生活費、学生の収入状況、家庭の年間平均収入額、アルバイト従事状況、奨学金の受給状況、通学時間、週間平均生活時間、大学の学生支援体制への満足度、学生の不安や悩みの項目について取りまとめた。

<平成 28 年度調査回収率>

回収率 : 45.7% (有効回答数 44,169 人 / 調査数 96,696 人)

<平成 28 年度調査結果の一例(大学(昼間部))>

- 学生生活費（学費と生活費の合計（支出額））は、平成 26 年度調査（以下「前回調査」という。）より増加している。

	平成 26 年度		平成 28 年度
学生生活費	1,862,100 円	→	1,884,200 円 (1.2%) (22,100 円増)

- 収入額は、前回調査より減少している。

	平成 26 年度		平成 28 年度
収入額	1,971,400 円	→	1,965,900 円 (▲0.3%) (5,500 円減)

- 収入額に占める内訳の割合は、前回調査より「家庭からの給付」「奨学金」が減少し、「アルバイト」が増加している。

	平成 26 年度		平成 28 年度
家庭からの給付	60.6%	→	60.1% (▲0.5%)
奨学金	20.3%	→	19.6% (▲0.7%)
アルバイト	16.3%	→	18.1% (1.8%)

〔調査結果における留意事項〕

1. 本調査における学生生活費は学費と生活費を合わせたものである。
学 費：授業料、その他の学校納付金、修学費、課外活動費、通学費の合計
生 活費：食費、住居・光熱費、保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他の日常費(通信費を含む)の合計
2. 本調査結果の集計各表は端数処理(四捨五入)後の数値を使用しており、内訳の合計値と合計欄の値が一致しないことがある。
3. 本調査結果の「大学」は、大学学部のことを言う。

また「修士課程」「博士課程」「専門職学位課程」は、大学院の下記の各課程のことを言う。

修士課程	修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期2年(医・歯・薬・獣医を除く)
博士課程	博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年、一貫制博士課程(医・歯・薬・獣医)
専門職学位課程	法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程

4. 専門職学位課程については、平成18年度より調査対象とした。なお、大学院については、配偶者を有すると回答した者は、学生生活費が大きく異なるケースが想定されるため、従前の例にならない学生生活費等の集計に含まない。
5. 質問の一部に回答がない調査票は、一部の集計の際に集計対象から外したものがある。
6. 集計各表の数値は、この標本調査の有効回答を基礎として調査対象学生総数から推計値を算出した結果である。
7. 表中の記号は次のように使う。
「 - 」 : 計数が無い場合
「0.0」 : 計数が単位未満の場合
「・・・」 : 計数の出現が有り得ない場合または調査対象とならなかった場合

1. 学生生活費(学費と生活費の合計)

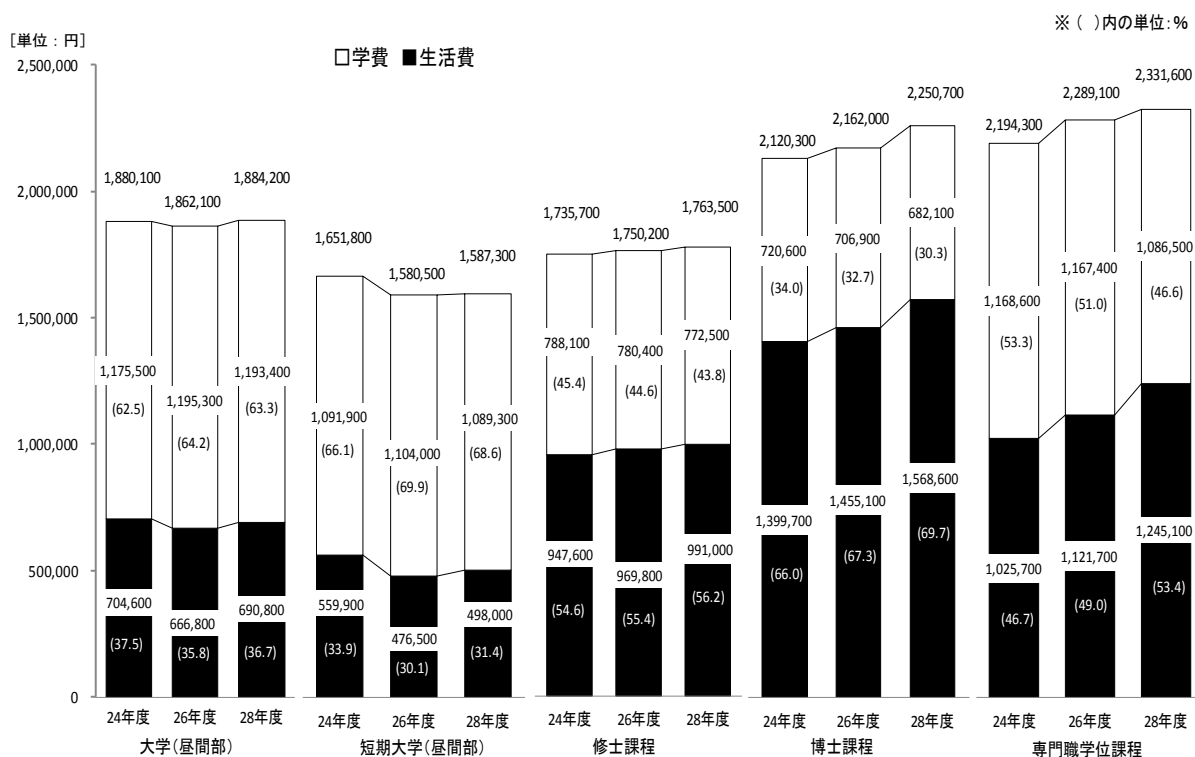
学生生活費は、すべての学校区分（*1）において前回調査より増加している。

内訳を見ると、学費が減少（大学（昼間部）は微減）している一方で、それ以上に生活費が増加している。大学院（*2）については、平成24年度調査以降この傾向が続いている。

*1 大学(昼間部)・短期大学(昼間部)・修士課程・博士課程・専門職学位課程を指す。以下、本文中において同じ。

*2 修士課程・博士課程・専門職学位課程すべてを指す。以下、本文中において同じ。

- 【大学（昼間部）】 前回調査より、2.2万円増の188万円となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、0.7万円増の159万円となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、1.3万円増の176万円となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、8.9万円増の225万円となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、4.3万円増の233万円となっている。



学生生活費の増減額の推移

区分		平成22年度→平成24年度		平成24年→平成26年度		平成26年度→平成28年度	
		円	%	円	%	円	%
大学(昼間部)	学費	5,500	(0.5)	19,800	(1.7)	▲1,900	(▲0.2)
	生活費	44,100	(6.7)	▲37,800	(▲5.4)	24,000	(3.6)
	学生生活費	49,600	(2.7)	▲18,000	(▲1.0)	22,100	(1.2)
短期大学(昼間部)	学費	▲21,700	(▲1.9)	12,100	(1.1)	▲14,700	(▲1.3)
	生活費	81,900	(17.1)	▲83,400	(▲14.9)	21,500	(4.5)
	学生生活費	60,200	(3.8)	▲71,300	(▲4.3)	6,800	(0.4)
修士課程	学費	▲14,200	(▲1.8)	▲7,700	(▲1.0)	▲7,900	(▲1.0)
	生活費	17,800	(1.9)	22,200	(2.3)	21,200	(2.2)
	学生生活費	3,600	(0.2)	14,500	(0.8)	13,300	(0.8)
博士課程	学費	▲64,600	(▲8.2)	▲13,700	(▲1.9)	▲24,800	(▲3.5)
	生活費	72,700	(5.5)	55,400	(4.0)	113,500	(7.8)
	学生生活費	8,100	(0.4)	41,700	(2.0)	88,700	(4.1)
専門職学位課程	学費	▲75,000	(▲6.0)	▲1,200	(▲0.1)	▲80,900	(▲6.9)
	生活費	25,600	(2.6)	96,000	(9.4)	123,400	(11.0)
	学生生活費	▲49,400	(▲2.2)	94,800	(4.3)	42,500	(1.9)

※()内の数値は、直前の調査の金額(学費・生活費・学生生活費)を基準とした増減率である。

2. 設置者別の学生生活費

学生生活費を設置者別に比較した場合、博士課程を除き、いずれも私立が国立・公立より高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が最も高く、一方、生活費は専門職学位課程を除いて私立が最も低くなっている。

生活費について、大学（昼間部）の場合、住居・光熱費等の差等により国立が私立より23万円高くなっているが、これは自宅以外の学生の割合が高いためと考えられる。

- 【大学（昼間部）】 学生生活費の合計では、私立が国立より49万円高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が国立より72万円高く、生活費は国立が私立より23万円高くなっている。
- 【短期大学（昼間部）】 学生生活費の合計では、私立が公立より51万円高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が公立より60万円高く、生活費は公立が私立より10万円高くなっている。
- 【修士課程】 学生生活費の合計では、私立が国立より36万円高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が国立より51万円高く、生活費は国立が私立より14万円高くなっている。
- 【博士課程】 学生生活費の合計では、私立が国立より25万円高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が国立より30万円高く、生活費は国立が私立より4万円高くなっている。
- 【専門職学位課程】 学生生活費の合計では、私立が国立より82万円高くなっている。内訳を見ると、学費は私立が国立より64万円高く、生活費も私立が国立より18万円高くなっている。

区分	学 費			生 活 費			合 計	
	授業料、 その他の 学校納付金	修学費、 課外活動費、 通学費	小 計	食費、 住居・光熱費	保健衛生費、 娯楽・嗜好費、 その他の日常費	小 計		
大学 (昼間部)	国立	506,700	135,800	642,500	553,300	315,900	869,200	1,511,700
	公立	537,200	124,100	661,300	446,400	323,700	770,100	1,431,400
	私立	1,210,000	150,900	1,360,900	314,100	328,900	643,000	2,003,900
	平均	1,046,500	146,900	1,193,400	364,500	326,300	690,800	1,884,200
短期大学 (昼間部)	国立
	公立	425,600	93,600	519,200	321,400	267,700	589,100	1,108,300
	私立	986,600	134,100	1,120,700	195,300	297,900	493,200	1,613,900
	平均	957,300	132,000	1,089,300	201,800	296,200	498,000	1,587,300
修士課程	国立	496,100	108,800	604,900	680,200	360,400	1,040,600	1,645,500
	公立	521,100	139,400	660,500	545,500	442,500	988,000	1,648,500
	私立	952,200	158,000	1,110,200	485,600	411,900	897,500	2,007,700
	平均	645,800	126,700	772,500	608,800	382,200	991,000	1,763,500
博士課程	国立	408,300	195,700	604,000	883,300	685,900	1,569,200	2,173,200
	公立	482,000	200,700	682,700	896,400	857,400	1,753,800	2,436,500
	私立	661,500	240,500	902,000	768,300	757,300	1,525,600	2,427,600
	平均	475,000	207,100	682,100	855,500	713,100	1,568,600	2,250,700
専門職 学位課程	国立	560,400	161,700	722,100	654,600	483,100	1,137,700	1,859,800
	公立	504,200	248,600	752,800	578,400	689,600	1,268,000	2,020,800
	私立	1,166,800	197,900	1,364,700	634,500	684,300	1,318,800	2,683,500
	平均	901,100	185,400	1,086,500	640,400	604,700	1,245,100	2,331,600

(参考) 居住形態別学生数の割合 (大学(昼間部))

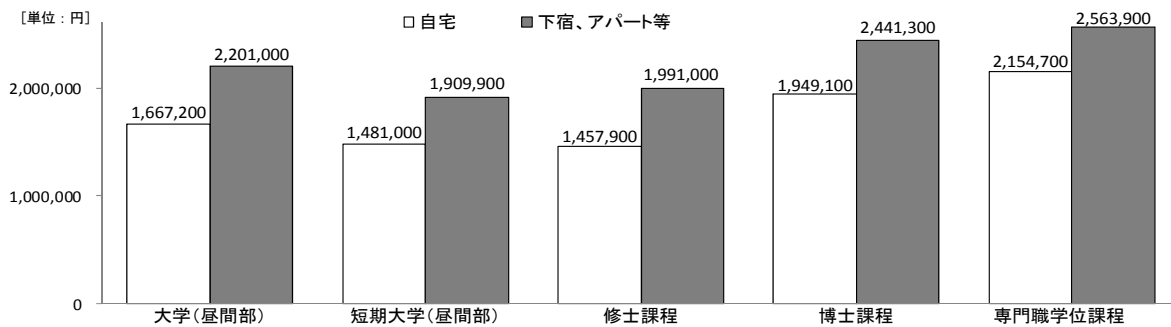
[単位：%]

居住形態	自 宅	学寮、下宿、アパート、その他
国 立	31.9	68.1
公 立	40.1	59.9
私 立	64.7	35.3

3. 居住形態別の学生生活費

学生生活費を居住形態別に比較した場合、すべての学校区分において、自宅に居住して通学する者（以下この項目において「自宅」という。）より、下宿、アパート等に居住する者（以下この項目において「自宅外」という。）の学生生活費が高くなっている。また、設置者別の学生生活費では、すべての学校区分において、私立の自宅外が最も高くなっている。

- 【大学（昼間部）】 自宅外の学生生活費は、自宅に比べ53万円高くなっている。設置者別に見ると、国立の自宅を基準とした場合、私立の自宅外は2.29倍となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 自宅外の学生生活費は、自宅に比べ43万円高くなっている。設置者別に見ると、国立の自宅を基準とした場合、私立の自宅外は2.27倍となっている。
- 【修士課程】 自宅外の学生生活費は、自宅に比べ53万円高くなっている。設置者別に見ると、国立の自宅を基準とした場合、私立の自宅外は2.00倍となっている。
- 【博士課程】 自宅外の学生生活費は、自宅に比べ49万円高くなっている。設置者別に見ると、国立の自宅を基準とした場合、私立の自宅外は1.50倍となっている。
- 【専門職学位課程】 自宅外の学生生活費は、自宅に比べ41万円高くなっている。設置者別に見ると、国立の自宅を基準とした場合、私立の自宅外は2.02倍となっている。



[単位：円]

区 分		自 宅		下宿、アパート等	
大学 (昼間部)	国立	1,090,100	(1.00)	1,743,500	(1.60)
	公立	1,101,100	(1.01)	1,674,600	(1.54)
	私立	1,759,400	(1.61)	2,492,500	(2.29)
	平均	1,667,200		2,201,000	
短期大学 (昼間部)	国立
	公立	876,100	(1.00)	1,346,200	(1.54)
	私立	1,501,100	(1.71)	1,992,200	(2.27)
	平均	1,481,000		1,909,900	
修士課程	国立	1,198,600	(1.00)	1,865,600	(1.56)
	公立	1,374,500	(1.15)	1,890,100	(1.58)
	私立	1,726,000	(1.44)	2,401,300	(2.00)
	平均	1,457,900		1,991,000	
博士課程	国立	1,888,800	(1.00)	2,323,300	(1.23)
	公立	2,123,900	(1.12)	2,665,700	(1.41)
	私立	2,020,000	(1.07)	2,826,100	(1.50)
	平均	1,949,100		2,441,300	
専門職 学位課程	国立	1,475,800	(1.00)	2,135,500	(1.45)
	公立	1,817,300	(1.23)	2,523,700	(1.71)
	私立	2,483,900	(1.68)	2,988,000	(2.02)
	平均	2,154,700		2,563,900	

※ ()は、国立(短期大学では公立)の自宅を基準(1.00)とした場合の比率である。

4. 学生の収入状況

学生の収入状況について、収入総額では、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）、及び修士課程については前回調査に比べて減少しており、博士課程、専門職学位課程については、増加している。

内訳を見たところ、すべての学校区分において、金額及び収入総額に占める割合のともに、アルバイトが増加している一方、奨学金が減少しており、修士課程以外においては、家庭からの給付についても減少している。

[収入総額]

- 【大学（昼間部）】 前回調査より、0.6万円減の197万円となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、1.2万円減の167万円となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、1.9万円減の190万円となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、11.4万円増の294万円となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、12.7万円増の278万円となっている。

[単位：円]

区 分		家庭からの給付	奨学金	アルバイト	定職・その他	合計
大学 （昼間部）	平成26年度	(60.6) 1,193,800	(20.3) 400,000	(16.3) 321,800	(2.8) 55,800	(100.0) 1,971,400
	平成28年度	(60.1) 1,180,700	(19.6) 385,300	(18.1) 356,100	(2.2) 43,800	(100.0) 1,965,900
短期大学 （昼間部）	平成26年度	(55.4) 931,300	(24.0) 402,500	(15.6) 261,900	(5.0) 84,100	(100.0) 1,679,800
	平成28年度	(54.8) 913,900	(23.2) 387,500	(17.8) 297,200	(4.1) 69,200	(100.0) 1,667,800
修士課程	平成26年度	(47.8) 914,800	(25.7) 491,600	(14.5) 276,900	(12.1) 231,300	(100.0) 1,914,600
	平成28年度	(49.1) 930,100	(24.2) 458,700	(15.1) 286,900	(11.6) 219,900	(100.0) 1,895,600
博士課程	平成26年度	(13.8) 388,500	(33.7) 953,400	(22.2) 626,000	(30.3) 857,400	(100.0) 2,825,300
	平成28年度	(12.7) 373,100	(30.7) 901,100	(24.2) 711,500	(32.4) 953,500	(100.0) 2,939,200
専門職 学位課程	平成26年度	(34.5) 914,900	(25.6) 679,000	(4.4) 117,300	(35.4) 937,700	(100.0) 2,648,900
	平成28年度	(31.1) 862,300	(19.0) 527,300	(5.1) 141,600	(44.8) 1,244,300	(100.0) 2,775,500

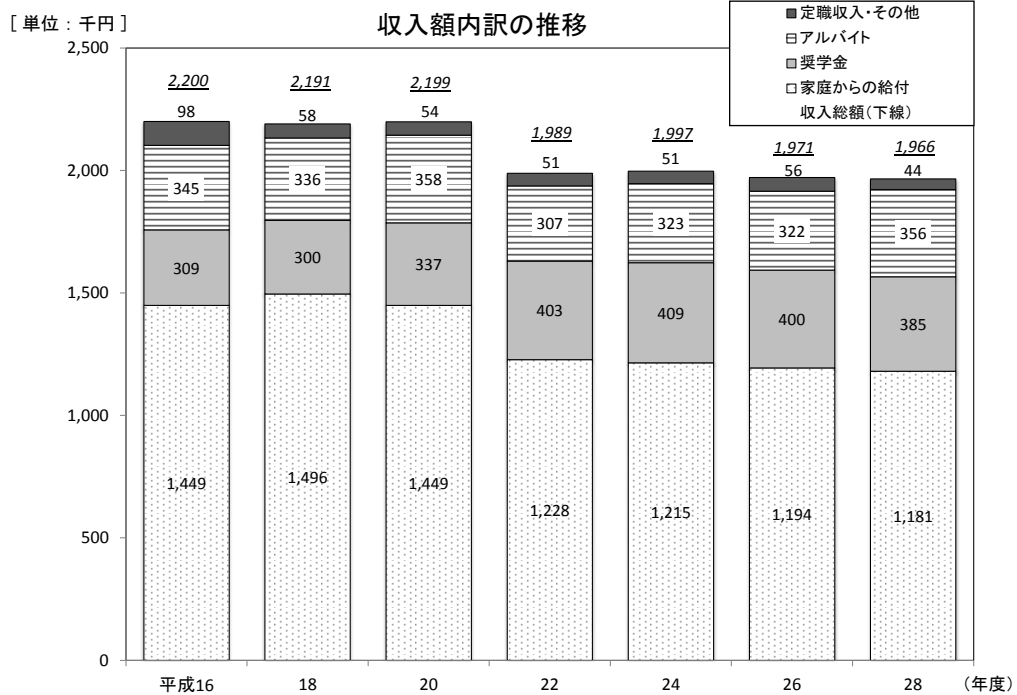
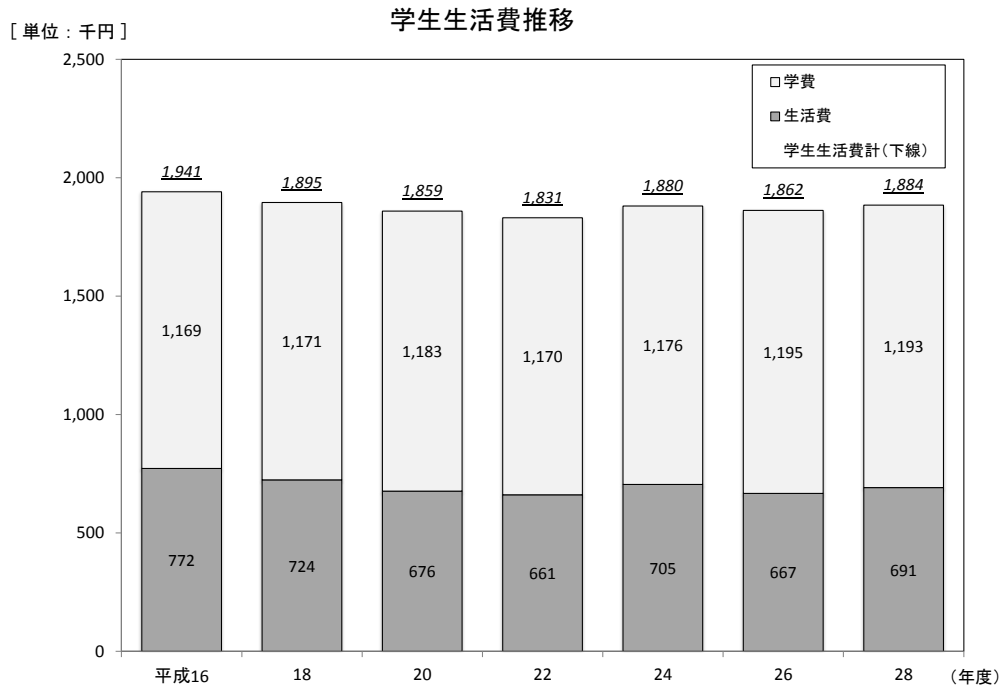
※ () は、合計に占める割合（単位：％）である。

※ 大学院の「アルバイト」にはTA（ティーチング・アシスタント）、RA（リサーチ・アシスタント）を含む。

収入に関する直前調査からの増減率

区 分	平成22年度 →平成24年度	平成24年度 →平成26年度	平成26年度 →平成28年度
大学（昼間部）	0.4%	▲1.3%	▲0.3%
短期大学（昼間部）	0.7%	▲4.7%	▲0.7%
修士課程	▲3.1%	0.5%	▲1.0%
博士課程	1.3%	4.0%	4.0%
専門職学位課程	▲5.8%	8.5%	4.8%

参考 学生生活費及び収入額内訳の推移(大学(昼間部))



5. 家庭の年間平均収入額

学生の家庭の年間平均収入額では、前回調査の金額を基準として、短期大学（昼間部）で 5.9%減、修士課程で 5.6%増となっているが、その他の学校区分では僅かな増減となっている。各学校区分での金額比較では、前回調査と同様に、短期大学（昼間部）での家庭の年間平均収入額が最も低く、619 万円となっている。

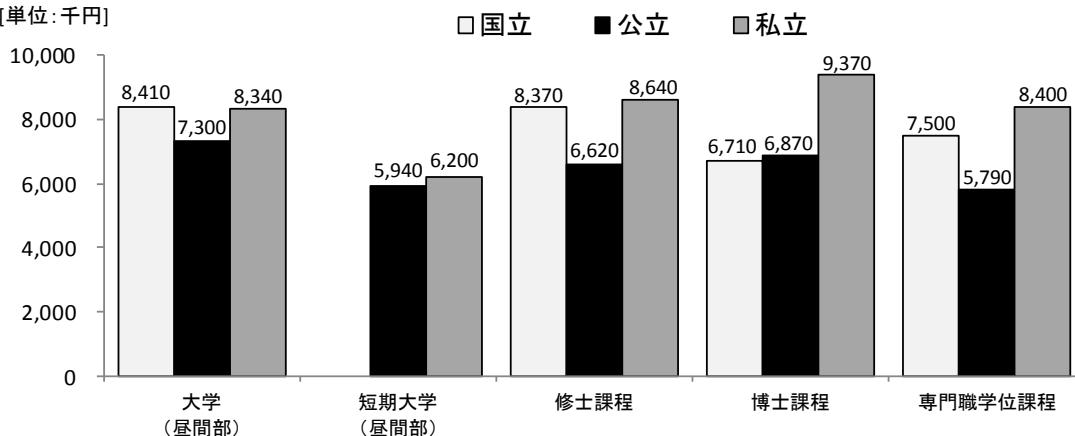
- 【大学（昼間部）】 前回調査より、0.7%増の 830 万円となっている。
設置者別では、国立が 841 万円と最も高くなっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、5.9%減の 619 万円となっている。
設置者別では、私立が 620 万円と最も高くなっている。
- 【修士課程】 前回調査より、5.6%増の 835 万円となっている。
設置者別では、私立が 864 万円と最も高くなっている。
- 【博士課程】 前回調査より、0.4%増の 737 万円となっている。
設置者別では、私立が 937 万円と最も高くなっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、0.6%減の 794 万円となっている。
設置者別では、私立が 840 万円と最も高くなっている。

[単位：千円]

区 分		大学 (昼間部)	短期大学 (昼間部)	修士課程	博士課程	専門職 学位課程
平成28年度	国立	(0.2) 8,410	…	(6.4) 8,370	(▲ 1.9) 6,710	(▲ 3.4) 7,500
	公立	(▲ 0.4) 7,300	(2.6) 5,940	(2.3) 6,620	(13.2) 6,870	(7.8) 5,790
	私立	(1.0) 8,340	(▲ 6.3) 6,200	(4.7) 8,640	(2.5) 9,370	(0.8) 8,400
	平均	(0.7) 8,300	(▲ 5.9) 6,190	(5.6) 8,350	(0.4) 7,370	(▲ 0.6) 7,940
平成26年度平均		(1.5) 8,240	(3.9) 6,580	(1.5) 7,910	(6.4) 7,340	(▲ 22.1) 7,990
平成24年度平均		(1.9) 8,120	(0.0) 6,330	(▲ 2.0) 7,790	(▲ 7.4) 6,900	(17.5) 10,260

※（ ）は、直前の調査との比較である（単位：％）。

[単位：千円]



6. アルバイト従事状況

アルバイト従事者の割合は、すべての学校区分において前回調査より増加している。内訳を見ると、「家庭からの給付のみで修学可能」の割合が全体として増加しているだけでなく、「家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し」についても増加傾向となっている。

前回調査時に平成24年度調査との割合の増減を比較した際は、「家庭からの給付のみで修学可能」の割合が増加する一方、「家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し」はすべての学校区分において減少していたが、今回調査では、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）、専門職学位課程において増加している。

[アルバイト従事者の割合]

- 【大学（昼間部）】 前回調査より、10.4ポイント増の83.6%となっている。
- 【短期大学（昼間部）】 前回調査より、12.4ポイント増の82.9%となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、4.7ポイント増の82.3%となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、2.4ポイント増の71.0%となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、12.0ポイント増の43.9%となっている。

[単位: %]

区 分		平成 24年度	平成 26年度	平成 28年度
大学 (昼間部)	アルバイト従事者	74.0	73.2 (▲0.8)	83.6 (10.4)
	家庭からの給付のみで修学可能	33.7	38.3 (4.6)	47.5 (9.2)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	40.3	35.0 (▲5.3)	36.0 (1.0)
	アルバイト非従事者	26.0	26.8 (0.8)	16.4 (▲10.4)
短期大学 (昼間部)	アルバイト従事者	64.7	70.5 (5.8)	82.9 (12.4)
	家庭からの給付のみで修学可能	27.7	36.8 (9.1)	45.8 (9.0)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	37.0	33.7 (▲3.3)	37.0 (3.3)
	アルバイト非従事者	35.3	29.5 (▲5.8)	17.1 (▲12.4)
修士課程	アルバイト従事者	78.3	77.6 (▲0.7)	82.3 (4.7)
	家庭からの給付のみで修学可能	28.2	34.0 (5.8)	39.8 (5.8)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	50.1	43.6 (▲6.5)	42.5 (▲1.1)
	アルバイト非従事者	21.7	22.4 (0.7)	17.7 (▲4.7)
博士課程	アルバイト従事者	70.0	68.6 (▲1.4)	71.0 (2.4)
	家庭からの給付のみで修学可能	10.8	14.7 (3.9)	17.8 (3.1)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	59.1	53.9 (▲5.2)	53.1 (▲0.8)
	アルバイト非従事者	30.0	31.4 (1.4)	29.0 (▲2.4)
専門職 学位課程	アルバイト従事者	32.8	31.9 (▲0.9)	43.9 (12.0)
	家庭からの給付のみで修学可能	10.8	12.7 (1.9)	19.5 (6.8)
	家庭からの給付のみでは修学不自由・困難及び給付無し	22.1	19.3 (▲2.8)	24.4 (5.1)
	アルバイト非従事者	67.2	68.1 (0.9)	56.1 (▲12.0)

※ ()は、直前の調査との増減である。(単位: %)

※ 大学院の「アルバイト従事者」には、TA(ティーチング・アシスタント)、RA(リサーチ・アシスタント)を含む。

7. 奨学金の受給状況

日本学生支援機構の奨学金など何らかの奨学金を受給している者の割合は、前回調査と同様に、すべての学校区分において減少している。

[奨学金受給状況]

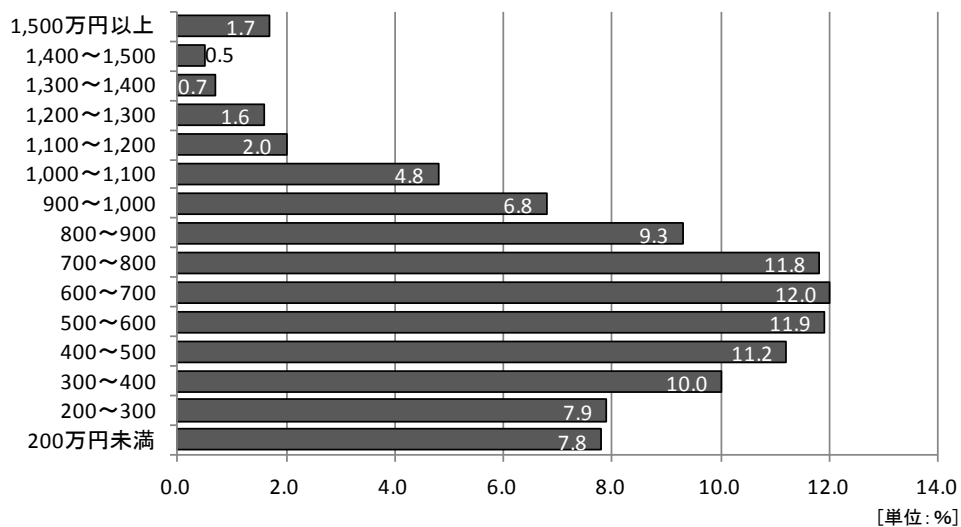
- 【大学(昼間部)】 前回調査より、2.4ポイント減の48.9%となっている。
- 【短期大学(昼間部)】 前回調査より、0.7ポイント減の52.2%となっている。
- 【修士課程】 前回調査より、3.6ポイント減の51.8%となっている。
- 【博士課程】 前回調査より、5.8ポイント減の56.9%となっている。
- 【専門職学位課程】 前回調査より、7.4ポイント減の44.4%となっている。

[単位: %]

区 分	平成24年度	平成26年度	平成28年度
大学(昼間部)	52.5	51.3	48.9
短期大学(昼間部)	53.4	52.9	52.2
修士課程	60.5	55.4	51.8
博士課程	66.2	62.7	56.9
専門職学位課程	60.7	51.8	44.4

※ 調査時点(平成28年11月)における最近1年間に「日本学生支援機構の奨学金」と「日本学生支援機構以外の奨学金(給付・貸与等)」のいずれか、または両方を受給した学生の割合。

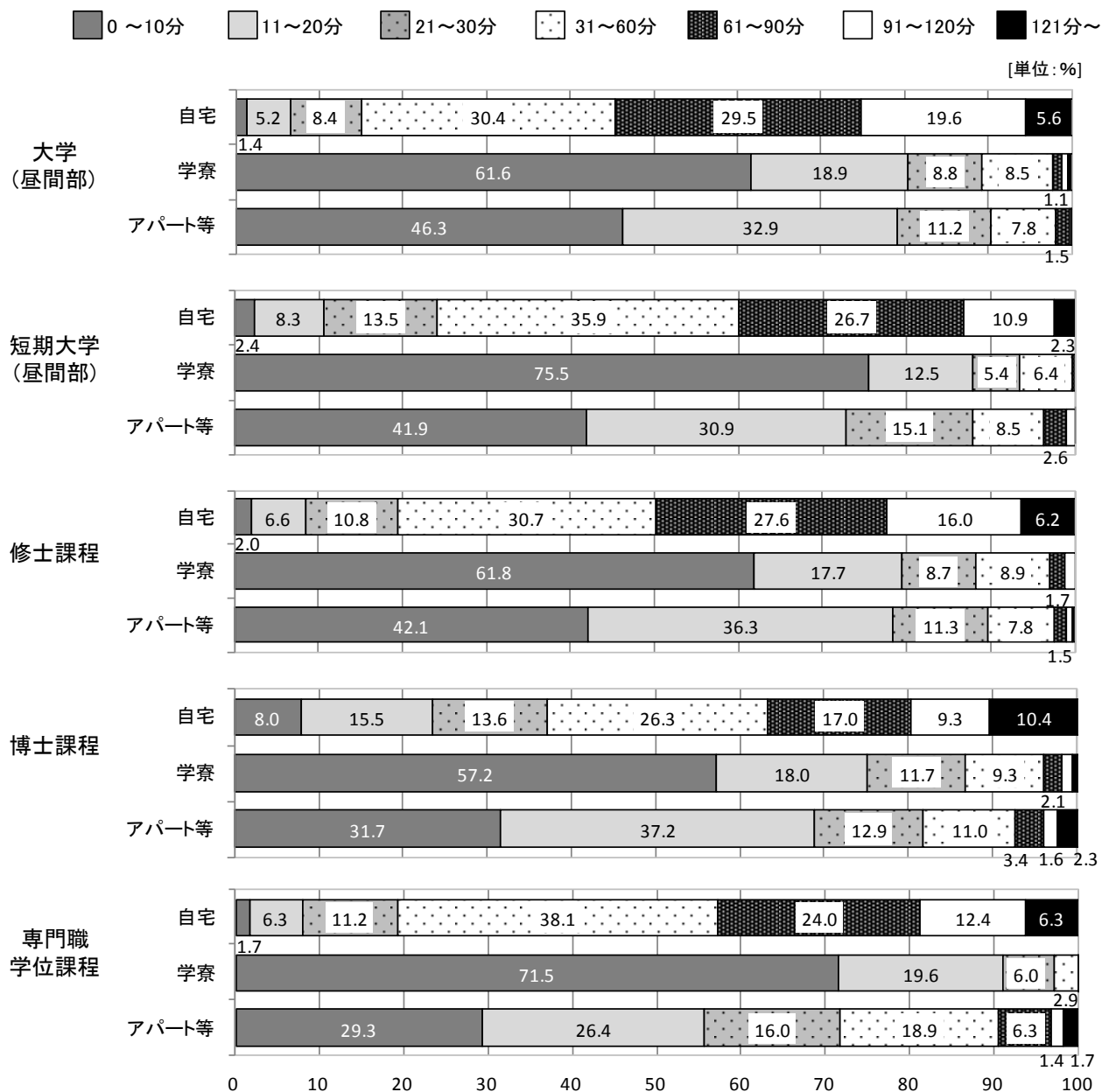
(参考) 家庭の年収区分別の奨学金受給者の割合(大学(昼間部))



8. 片道通学時間

片道通学時間について居住形態別に見ると、すべての学校区分において、自宅からの通学者では「31～60分」と回答した割合が最も高くなっているが、学寮からの通学者では「0～10分」と回答した割合が最も高くなっており、いずれも半数を超えている。アパート等からの通学者についても、「0～10分」と「11～20分」を合わせればいずれも半数を超えている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考)平成26年度調査」参照）、概ねどの区分も大きな変化は見られなかった。



[単位：％]

区分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
大学 (昼間部)	自宅	1.4	5.2	8.4	30.4	29.5	19.6	5.6
	学寮	61.6	18.9	8.8	8.5	1.1	0.7	0.5
	アパート等	46.3	32.9	11.2	7.8	1.5	0.3	0.1
短期大学 (昼間部)	自宅	2.4	8.3	13.5	35.9	26.7	10.9	2.3
	学寮	75.5	12.5	5.4	6.4	0.2	—	—
	アパート等	41.9	30.9	15.1	8.5	2.6	1.0	—
修士課程	自宅	2.0	6.6	10.8	30.7	27.6	16.0	6.2
	学寮	61.8	17.7	8.7	8.9	1.7	1.2	—
	アパート等	42.1	36.3	11.3	7.8	1.5	0.7	0.3
博士課程	自宅	8.0	15.5	13.6	26.3	17.0	9.3	10.4
	学寮	57.2	18.0	11.7	9.3	2.1	1.2	0.6
	アパート等	31.7	37.2	12.9	11.0	3.4	1.6	2.3
専門職 学位課程	自宅	1.7	6.3	11.2	38.1	24.0	12.4	6.3
	学寮	71.5	19.6	6.0	2.9	—	—	—
	アパート等	29.3	26.4	16.0	18.9	6.3	1.4	1.7

(参考)平成26年度調査

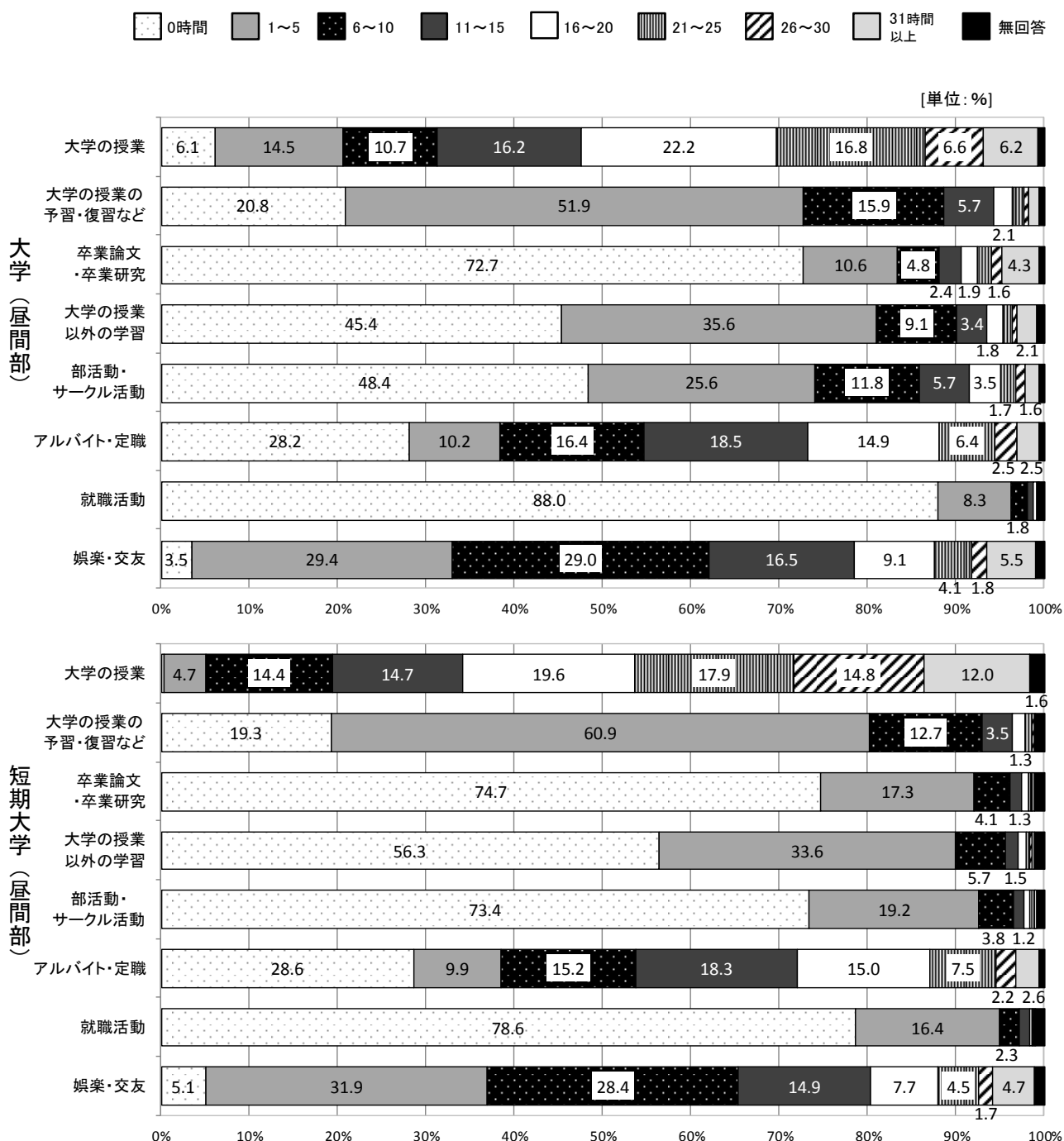
[単位：％]

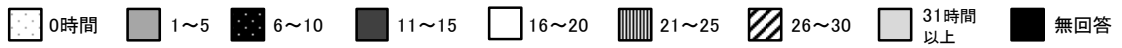
区分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上
大学 (昼間部)	自宅	1.5	5.0	9.0	29.8	29.1	19.5	6.0
	学寮	58.3	20.2	10.3	8.6	1.5	0.6	0.4
	アパート等	45.7	32.8	10.8	8.2	1.5	0.7	0.2

9. 週間平均生活時間

調査時点（平成 28 年 11 月）における一週間の生活時間は、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）では、「大学の授業の予習・復習など」で「1～5 時間」と回答した割合が半数を超えている。また、「0 時間」と回答した割合については、「卒業論文・卒業研究」「就職活動」は学年による違いが出るが、「大学の授業以外の学習」「部活動・サークル活動」で半数近く、または半数を超える状況となっている。

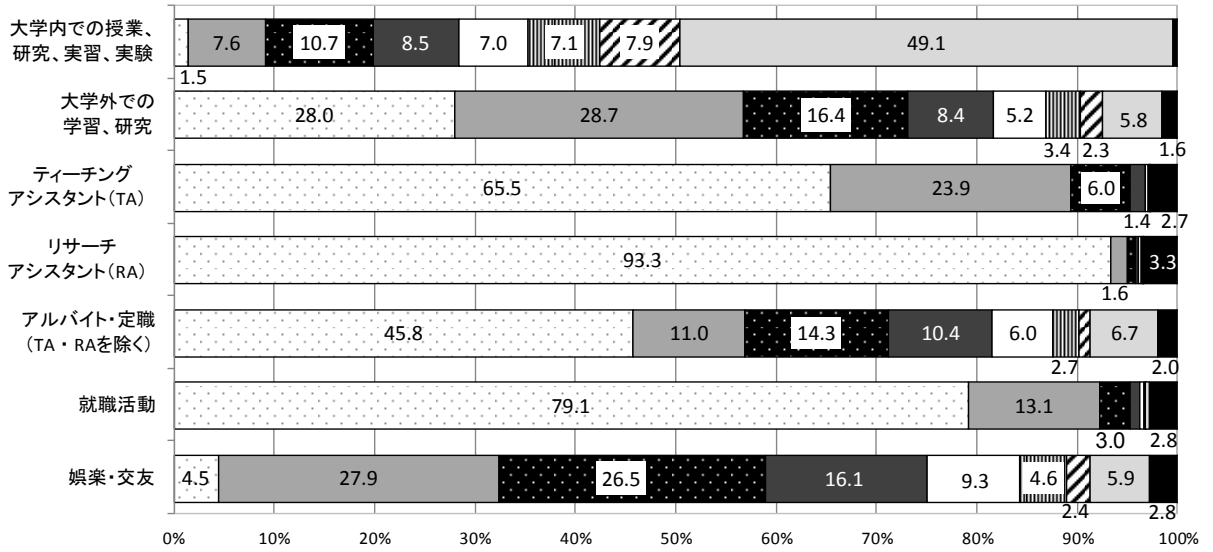
前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考) 平成 26 年度調査」参照)、「アルバイト・定職」を「0 時間」と回答した割合は 4.1 ポイント減少している一方で、1～20 時間までで回答した割合を合わせると、前回より 5.0 ポイント増加している。他の区分については、概ねどの区分も大きな変化は見られなかった。



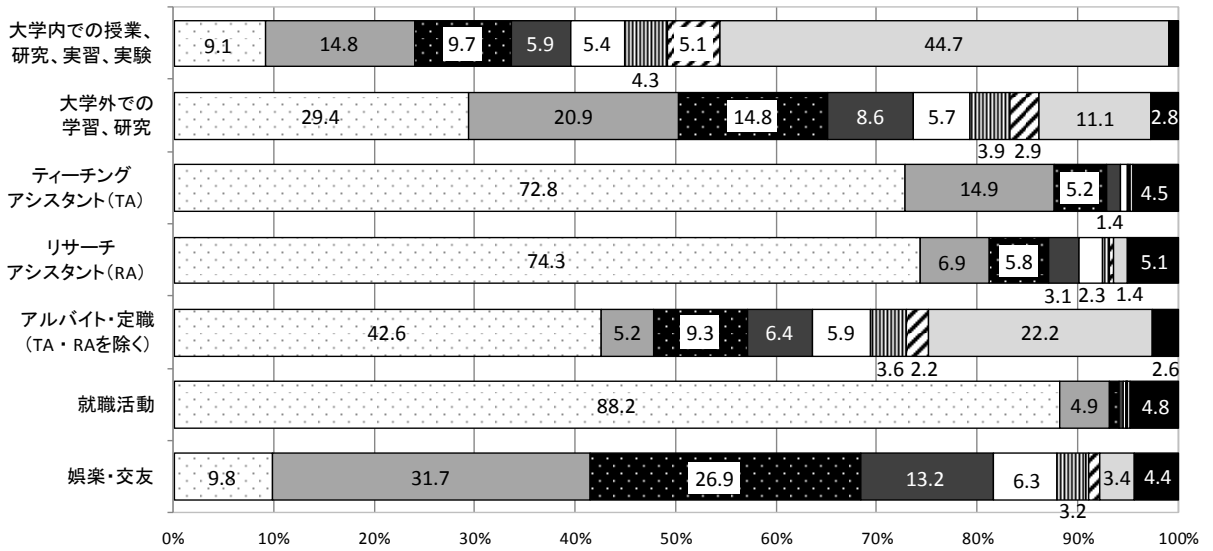


[単位: %]

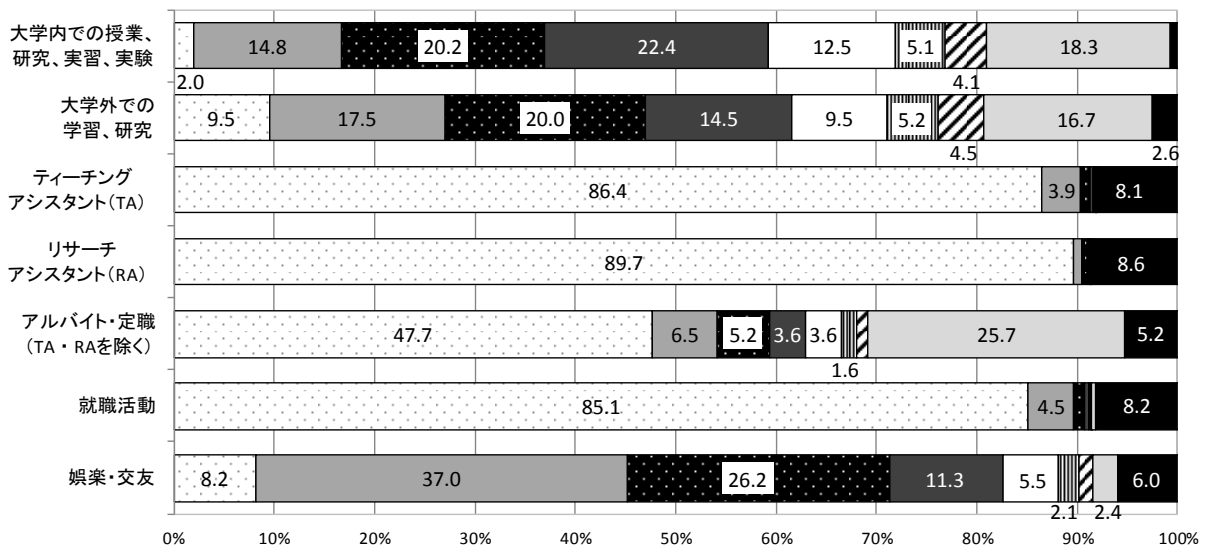
修士課程



博士課程



専門職学位課程



[単位: %]

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学 (昼間部)	大学の授業	6.1	14.5	10.7	16.2	22.2	16.8	6.6	6.2	0.7	100.0
	大学の授業の予習・復習など	20.8	51.9	15.9	5.7	2.1	1.2	0.6	1.1	0.6	100.0
	卒業論文・卒業研究	72.7	10.6	4.8	2.4	1.9	1.6	1.2	4.3	0.6	100.0
	大学の授業以外の学習	45.4	35.6	9.1	3.4	1.8	1.1	0.6	2.1	0.9	100.0
	部活動・サークル活動	48.4	25.6	11.8	5.7	3.5	1.7	1.0	1.6	0.6	100.0
	アルバイト・定職	28.2	10.2	16.4	18.5	14.9	6.4	2.5	2.5	0.6	100.0
	就職活動	88.0	8.3	1.8	0.8	0.3	0.1	0.0	0.1	0.6	100.0
	娯楽・交友	3.5	29.4	29.0	16.5	9.1	4.1	1.8	5.5	1.0	100.0
短期大学 (昼間部)	大学の授業	0.4	4.7	14.4	14.7	19.6	17.9	14.8	12.0	1.6	100.0
	大学の授業の予習・復習など	19.3	60.9	12.7	3.5	1.3	0.8	0.3	0.2	0.9	100.0
	卒業論文・卒業研究	74.7	17.3	4.1	1.3	0.7	0.3	0.1	0.3	1.1	100.0
	大学の授業以外の学習	56.3	33.6	5.7	1.5	0.9	0.4	0.2	0.3	1.2	100.0
	部活動・サークル活動	73.4	19.2	3.8	1.2	0.7	0.5	0.1	0.3	0.8	100.0
	アルバイト・定職	28.6	9.9	15.2	18.3	15.0	7.5	2.2	2.6	0.6	100.0
	就職活動	78.6	16.4	2.3	1.1	0.2	0.2	0.1	0.1	1.0	100.0
	娯楽・交友	5.1	31.9	28.4	14.9	7.7	4.5	1.7	4.7	1.2	100.0
修士課程	大学内での授業、研究、実習、実験	1.5	7.6	10.7	8.5	7.0	7.1	7.9	49.1	0.5	100.0
	大学外での学習、研究	28.0	28.7	16.4	8.4	5.2	3.4	2.3	5.8	1.6	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	65.5	23.9	6.0	1.4	0.4	0.0	0.0	0.1	2.7	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	93.3	1.6	0.8	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	3.3	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	45.8	11.0	14.3	10.4	6.0	2.7	1.1	6.7	2.0	100.0
	就職活動	79.1	13.1	3.0	0.9	0.4	0.2	0.1	0.3	2.8	100.0
	娯楽・交友	4.5	27.9	26.5	16.1	9.3	4.6	2.4	5.9	2.8	100.0
博士課程	大学内での授業、研究、実習、実験	9.1	14.8	9.7	5.9	5.4	4.3	5.1	44.7	1.0	100.0
	大学外での学習、研究	29.4	20.9	14.8	8.6	5.7	3.9	2.9	11.1	2.8	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	72.8	14.9	5.2	1.4	0.6	0.2	0.1	0.3	4.5	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	74.3	6.9	5.8	3.1	2.3	0.7	0.4	1.4	5.1	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	42.6	5.2	9.3	6.4	5.9	3.6	2.2	22.2	2.6	100.0
	就職活動	88.2	4.9	1.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	4.8	100.0
	娯楽・交友	9.8	31.7	26.9	13.2	6.3	3.2	1.1	3.4	4.4	100.0
専門職学位課程	大学内での授業、研究、実習、実験	2.0	14.8	20.2	22.4	12.5	5.1	4.1	18.3	0.7	100.0
	大学外での学習、研究	9.5	17.5	20.0	14.5	9.5	5.2	4.5	16.7	2.6	100.0
	ティーチングアシスタント(TA)	86.4	3.9	0.9	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	8.1	100.0
	リサーチアシスタント(RA)	89.7	0.7	0.6	0.2	0.0	0.1	-	0.1	8.6	100.0
	アルバイト・定職(TA・RAを除く)	47.7	6.5	5.2	3.6	3.6	1.6	1.1	25.7	5.2	100.0
	就職活動	85.1	4.5	1.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.4	8.2	100.0
	娯楽・交友	8.2	37.0	26.2	11.3	5.5	2.1	1.4	2.4	6.0	100.0

(参考)平成26年度調査

[単位: %]

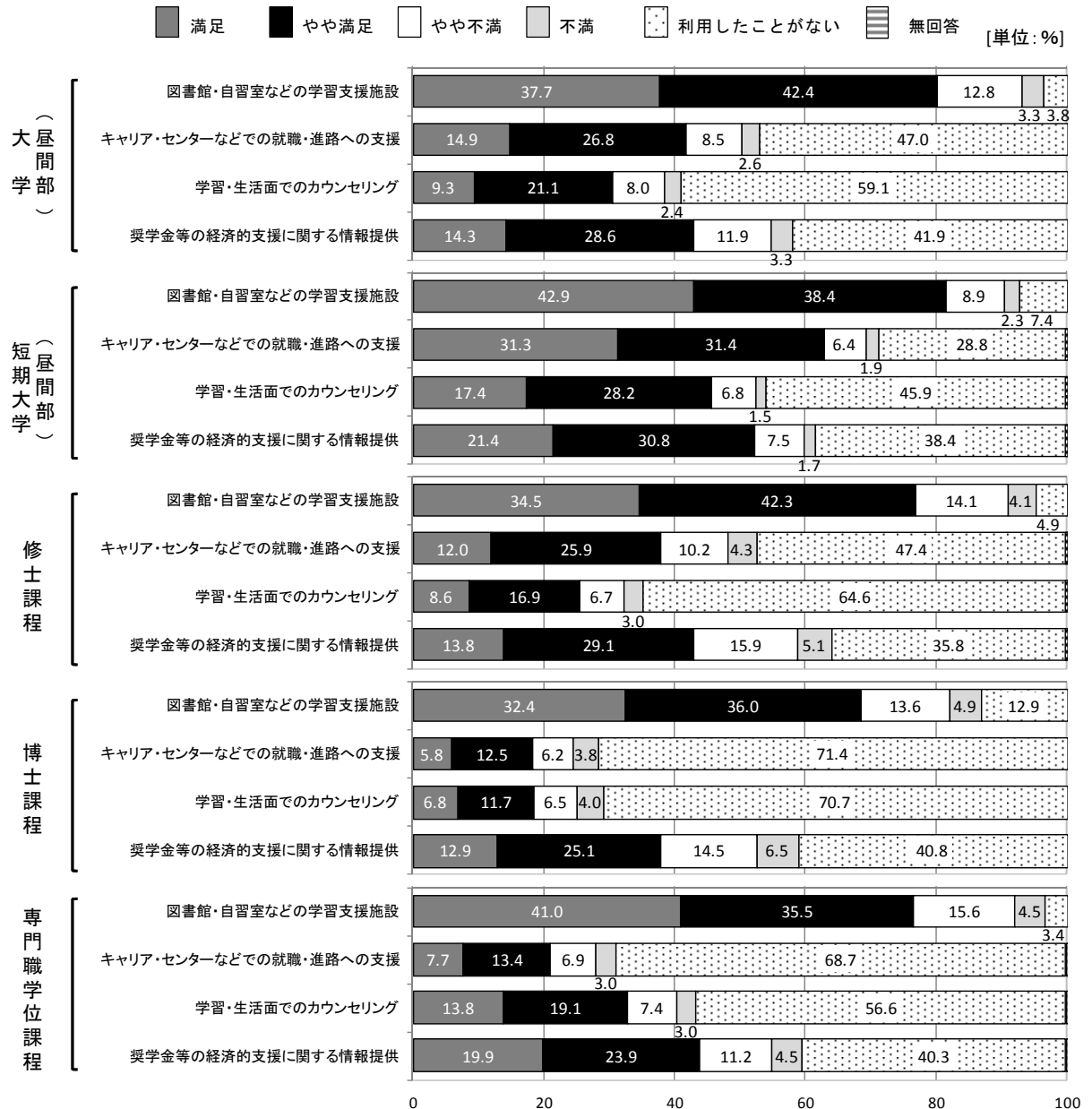
区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学 (昼間部)	大学の授業	6.1	14.2	10.5	15.7	22.1	17.9	7.1	5.8	0.6	100.0
	大学の授業の予習・復習など	21.1	51.9	15.8	5.7	2.2	1.1	0.5	0.9	0.7	100.0
	卒業論文・卒業研究	72.5	9.8	4.6	2.7	2.1	1.5	1.2	4.8	0.7	100.0
	大学の授業以外の学習	44.7	35.7	9.2	3.7	1.9	1.2	0.7	2.0	1.0	100.0
	部活動・サークル活動	47.5	26.4	12.2	6.0	2.9	1.8	1.0	1.4	0.7	100.0
	アルバイト・定職	32.3	8.8	14.7	17.6	13.9	6.6	2.6	2.7	0.7	100.0
	就職活動	87.6	8.3	1.8	0.7	0.4	0.2	0.1	0.1	0.8	100.0
	娯楽・交友	3.3	28.8	29.5	16.7	8.4	4.1	2.1	6.2	0.8	100.0

10. 大学の学生支援体制への満足度

大学の学生支援体制への満足度について、まず「利用したことがない」と回答した割合を見たところ、「図書館・自習室などの学習支援施設」は、すべての学校区分で 3.4～12.9%と低い、「図書館・自習室などの学習支援施設」以外の選択肢では、短期大学（昼間部）の「キャリア・センターなどでの就職・進路への支援」を除いては、いずれも「利用したことがない」と回答した割合が最も高くなっている。

「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」と回答した割合では、すべての学校区分、すべての選択肢において、「やや不満」「不満」より、「満足」「やや満足」と回答した割合が上回っている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考)平成26年度調査」参照)、「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」で「利用したことがない」と回答した割合は 2.2ポイント増加しているが、それ以外は、概ねどの区分も大きな変化は見られなかった。



(参考)平成26年度調査

[単位:%]

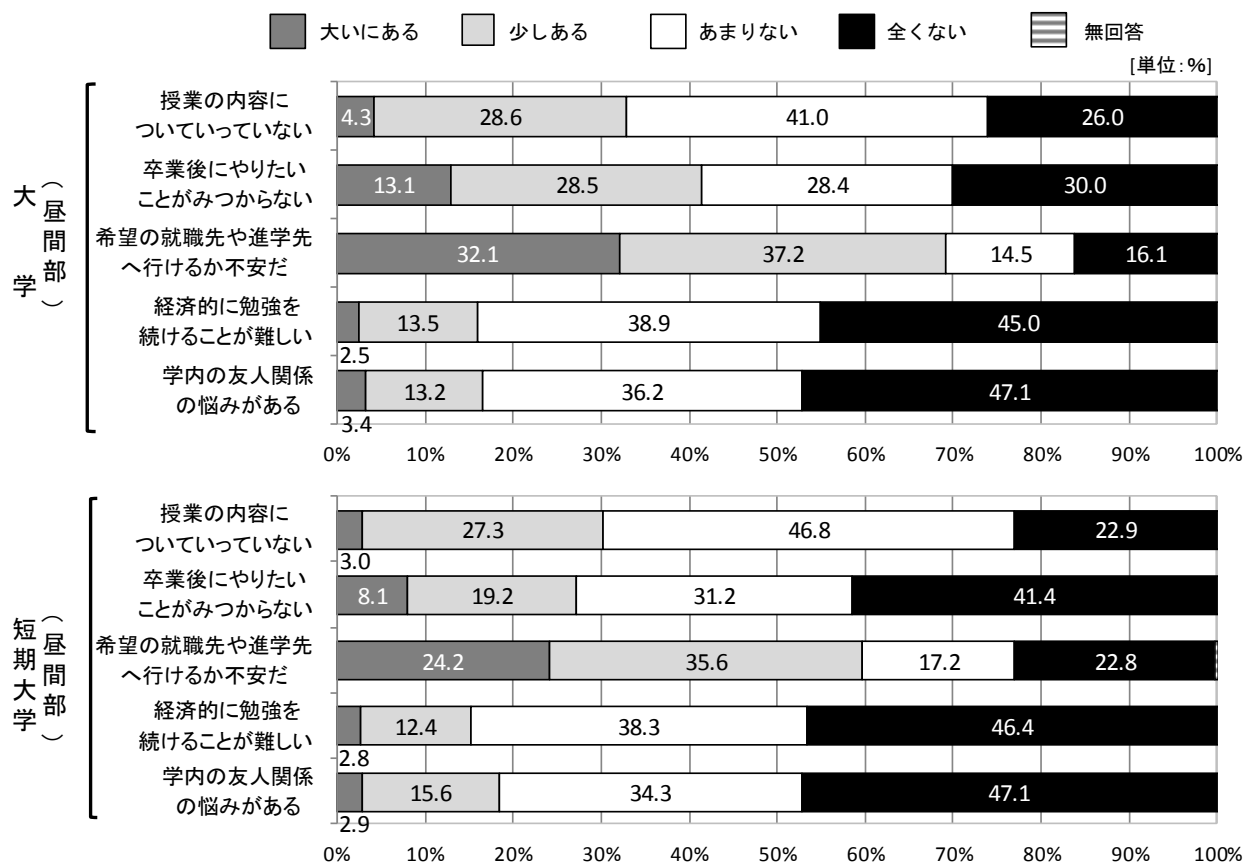
区 分		満足	やや満足	やや不満	不満	利用したことがない	無回答	計
大学 (昼間部)	図書館・自習室などの学習支援施設	35.8	43.1	13.4	4.1	3.5	0.1	100.0
	キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	14.4	27.3	8.7	2.9	46.6	0.1	100.0
	学習・生活面でのカウンセリング	9.2	20.6	8.1	3.0	59.0	0.1	100.0
	奨学金等の経済的支援に関する情報提供	14.9	29.8	11.9	3.5	39.7	0.2	100.0

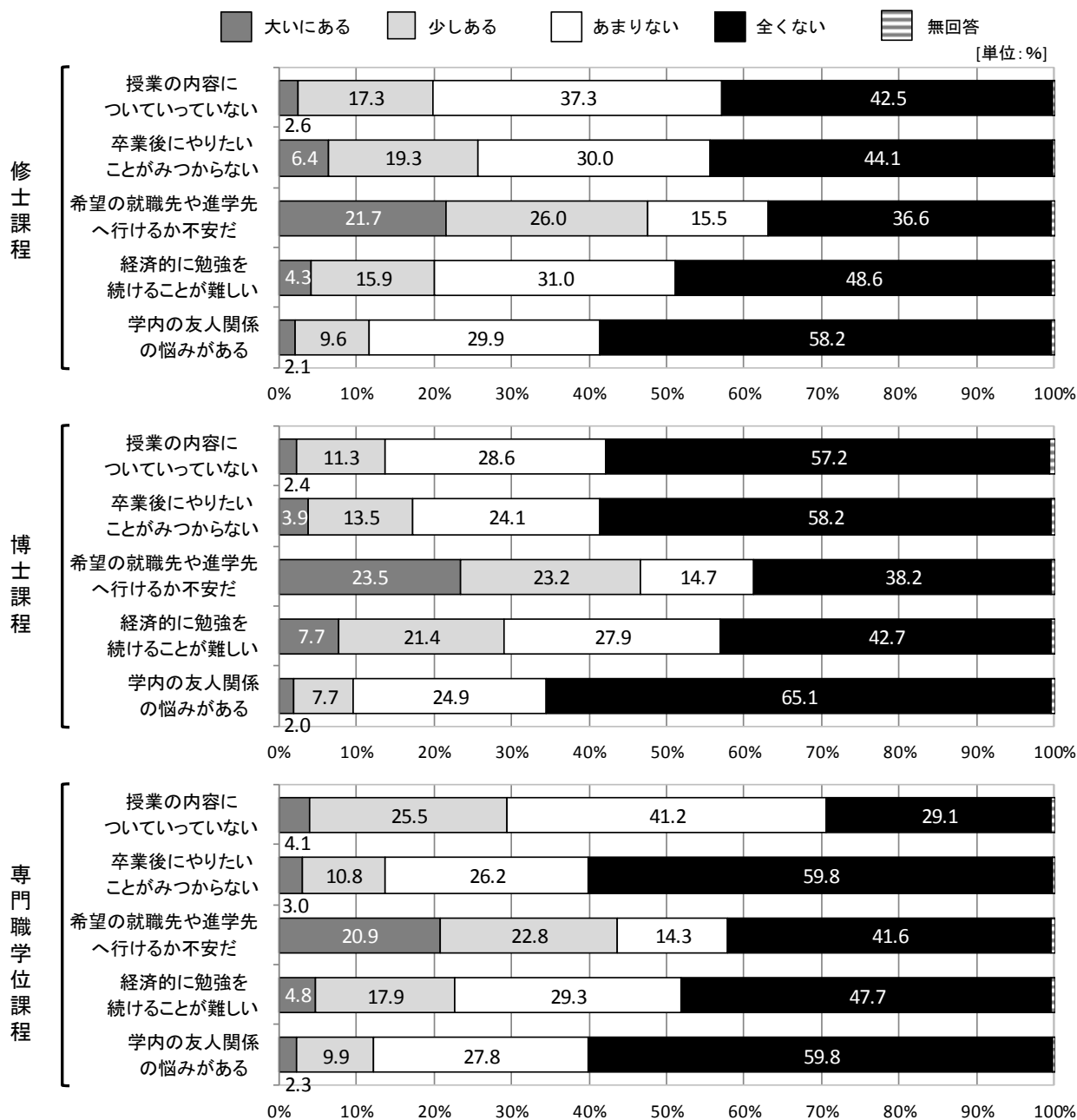
11. 学生の不安や悩み

学生の不安や悩みについて、「大いにある」「少しある」と回答した割合を見たところ、すべての学校区分において「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が最も高く、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）では半数を超え、特に大学（昼間部）では69.3%となっている。

一方、「あまりない」「全くない」と回答した割合では、大学（昼間部）、短期大学（昼間部）では「経済的に勉強を続けることが難しい」が85%程度、大学院では「学内の友人関係の悩みがある」が90%程度と最も高くなっている。

前回調査との比較について、大学（昼間部）で見たところ（下表「(参考)平成26年度調査」参照）、「経済的に勉強を続けることが難しい」を「全くない」と回答した割合は2.2ポイント増加しているが、それ以外は、概ねどの区分も大きな変化は見られなかった。





(参考) 平成26年度調査

[単位: %]

区 分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
大学 (昼間部)	授業の内容についていけない	4.6	30.6	39.8	24.9	0.1	100.0
	卒業後にやりたいことがみつからない	12.6	28.2	29.7	29.4	0.1	100.0
	希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	33.7	36.2	14.6	15.4	0.1	100.0
	経済的に勉強を続けることが難しい	2.6	14.7	39.7	42.8	0.1	100.0
	学内の友人関係の悩みがある	3.5	14.4	36.2	45.8	0.1	100.0

Ⅲ. 識者所見

- ※ 所見には、所見執筆者による独自集計が含まれます。
著作権は各所見執筆者に帰属します。

学生に対する経済的支援の現状と課題

濱中 義隆（国立教育政策研究所）

学生生活調査の結果は、長らく、概要版に相当する『学生生活調査結果』（以下『結果』と表記）、より詳細な調査報告としての『学生生活調査報告』¹（以下『報告』と表記）の2種類の形式で公表されてきた。しかし奨学金の受給状況に関しては、学生の経済的支援策としてきわめて重要な項目であるにもかかわらず、これまで『結果』、『報告』ともに、奨学金の種類を細かく区分することなく、何らかの奨学金を受給しているか（希望・申請したか）についての集計結果が公表されているのみであった²。平成18年度調査より、日本学生支援機構の奨学金については、第一種奨学金（無利子貸与）、第二種奨学金（有利子貸与）、第一種と第二種の併用のいずれを利用しているか、地方公共団体、民間奨学団体、大学独自の奨学金など「日本学生支援機構以外」の奨学金については、給付型、貸与型のいずれを利用しているか、さらに授業料減免制度の利用の有無についても尋ねているのだが、公式な集計結果としては公表されていない。本稿では『結果』、『報告』には掲載されていない、奨学金の受給希望および受給状況に関する集計結果を報告する。

1. 奨学金等の受給状況の変化

28年度調査の『結果』6-1表（大学昼間部）における奨学金受給者の比率は設置者計で48.9%である。26年度調査の『結果』では51.3%だったので、この2年間で奨学金の受給率が2.4ポイント低下したことになる。さらに『結果』7表より、奨学金受給者のうち、日本学生支援機構の奨学金利用者は89.5%、その他の奨学金利用者は19.2%であるから、28年度における日本学生支援機構奨学金の受給率は43.8%、その他の奨学金受給率は9.4%となる。26年度調査の『結果』では、それぞれ46.8%、9.7%であったので、奨学金受給率の低下はほぼ日本学生支援機構奨学金の受給率の低下による。以下では、26年度調査から28年度調査にかけての奨学金等の受給率の変化について、日本学生支援機構の奨学金、その他の奨学金、さらには授業料減免の状況ごとにより詳しく検討する。

(1)日本学生支援機構の奨学金

28年度調査では、第一種奨学金（無利子貸与）のみの受給者が14.0%、第二種奨学金（有利子貸与）のみの受給者が22.8%、第一種と第二種の併用者が5.5%となり、これらを合計した42.3%が日本学生支援機構奨学金の受給率ということになる³。26年度調査の結果と比較すると、全体の受給率は45.5%から42.3%へと3.2ポイント低下した。奨学金の種類別に比較すると、第一種奨学金の受給率が18.3%から19.5%（いずれも併用者を含む）へとやや増加しているのに対して、第二種奨学金の受給率は31.5%から28.3%（同上）へ3.2ポイント低下している。日本学生支援機構奨学金の受給率の低下は、第二種奨学金の利用が減少したことによるところが大きい。この傾向は国公立大学において顕著であり、国立、公立ともに第二種奨学金の受給率は前回調査時より約5ポイント低下している（私立は2.8ポイント）。また国立大学では、奨学金が「必要なかった」と回答した者が47.0%から54.0%へと大きく増加している。

なお、「申請したが不採用になった」、「希望したが申請しなかった」者の比率はいずれも、26年度調査と比べてほとんど変化はなかった。このうち「希望したが申請しなかった」とした者に対しては、その主な理由を尋ねている。最も多い理由は、「貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた」（35.9%）

であり、以下、「収入基準が合わなかった」(18.3%)、「申請手続きが複雑なのでやめた」(15.1%)と続く点は26年度調査と変わらない。ただし「貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた」は26年度調査の32.2%から3ポイント以上増加している。一方で「成績基準が合わなかった」は10.5%から7.6%へと3ポイント程度低下した。近年、第一種奨学金の採用枠が拡大したことにより、収入基準、成績基準ともに適格であっても第一種奨学金に採用されない者(結果的に有利子貸与の第二種奨学金を利用せざるを得なかった)が減少したことによるものと考えられる。

表 1 日本学生支援機構の奨学金の申請・受給状況(％、括弧内は26年度調査)

	第一種奨学金を受けた	第二種奨学金を受けた	第一種と第二種の併用を受けた	申請したが不採用になった	希望したが申請しなかった	必要なかった	計
国立	17.5 (18.8)	15.7 (21.0)	4.7 (4.4)	1.0 (1.0)	7.2 (7.7)	54.0 (47.0)	100
公立	23.3 (21.7)	19.8 (25.2)	5.0 (4.5)	1.1 (0.9)	6.1 (5.9)	44.6 (41.9)	100
私立	12.6 (12.4)	24.6 (28.8)	5.7 (4.3)	1.4 (1.2)	7.0 (6.9)	48.7 (46.5)	100
平均	14.0 (14.0)	22.8 (27.2)	5.5 (4.3)	1.3 (1.1)	7.0 (7.0)	49.4 (46.4)	100

(2) 日本学生支援機構以外の奨学金

地方公共団体、民間奨学団体、大学等からの奨学金については、給付奨学金のみ6.3%、貸与奨学金のみ3.1%、給付と貸与の両方が0.3%の受給率となった。これらを合計した受給率は9.7%となり、26年度調査の9.5%とほとんど変わっていない。

日本学生支援機構以外の奨学金の受給率は全般的にそれほど高いとはいえないが、日本学生支援機構の奨学金が貸与型のみであるのに対して(調査時点⁴⁾、給付型が2/3を占めるなど、独自の役割を果たしている。設置者別では、私立大学において給付型奨学金の受給率がやや高い(図2も参照)、年間受給額の平均を比較すると国立48万円、公立37万円に対して私立は21万円であり、私立大学の方が給付型奨学金を受ける上で有利だというわけではない。

表 2 日本学生支援機構以外の奨学金の申請・受給状況(％、括弧内は26年度調査)

	給付奨学金を受けた	貸与奨学金を受けた	給付・貸与の両方を受けた	申請したが不採用になった	希望したが申請しなかった	必要なかった	計
国立	4.3 (4.7)	2.8 (2.6)	0.2 (0.1)	0.8 (0.9)	9.8 (11.0)	82.1 (80.7)	100
公立	4.4 (4.5)	3.3 (3.7)	0.2 (0.3)	1.3 (1.0)	9.4 (9.2)	81.4 (81.3)	100
私立	6.9 (7.1)	3.2 (2.5)	0.4 (0.4)	2.0 (1.7)	10.7 (10.4)	76.8 (77.9)	100
平均	6.3 (6.6)	3.1 (2.6)	0.3 (0.3)	1.8 (1.5)	10.5 (10.4)	78.0 (78.5)	100

(3) 授業料減免

授業料の減免を受けることは、学生にとって大学独自の給付奨学金を受給することと実質的に同じである。全額、半額以上全額未満、半額未満いずれかの授業料減免を受けた学生の比率は、国立11.2%、公立7.3%、私立6.9%であり、国立大学において高くなっている。表2において、日本学生支援機

構以外の奨学金、とくに給付奨学金について、私立大学でその受給率がやや高いことを示したが、国立大学では授業料減免措置が給付型奨学金の役割を果たしているといえる。授業料減免を認められた学生の比率は 26 年度調査とほとんど変わらないが、28 年度では全額免除の割合が高くなっている。特に国立大学において前回調査より 2.5 ポイント増加しており、その傾向が顕著である。

表 3 授業料減免の申請・許可状況（%、括弧内は 26 年度調査）

	全額を受けた	半額以上全額未満を受けた	半額未満を受けた	申請したが不許可になった	申請しなかった	大学に減免制度がなかった	計
国立	6.3 (3.8)	4.2 (6.1)	0.7 (0.6)	3.3 (3.4)	84.8 (85.5)	0.7 (0.6)	100
公立	2.8 (1.7)	3.6 (4.2)	0.9 (1.3)	4.0 (4.1)	84.0 (85.3)	4.7 (3.4)	100
私立	1.9 (1.0)	2.9 (2.8)	2.1 (2.6)	3.2 (2.8)	79.4 (80.6)	10.5 (10.2)	100
平均	2.8 (1.6)	3.2 (3.5)	1.8 (2.2)	3.3 (3.0)	80.6 (81.8)	8.4 (8.1)	100

2. 家庭の収入階級別の奨学金等受給状況

ところで、表 1 より日本学生支援機構の奨学金受給率は、第一種奨学金 19.5%、第二種奨学金 28.3%（いずれも併用者を含む）であることを述べたが、実をいうとこの数値は母集団に比して明らかに過大である。日本学生支援機構が、実際の奨学金貸与人員と学校基本調査における学生数から算出した受給率は、第一種 14.1%、第二種 23.7%（平成 28 年度）であった⁵。第一種、第二種ともに学生生活調査の方が 5 ポイント程度高くなっている。母集団における受給率は、37.8%（=14.1%+23.7%）から 4%前後（学生生活調査における第一種と第二種の併用者の比率も同様にやや高めであると仮定して母集団における併用者の比率を設定）を引いた 34%程度ではないかと推測される。大学生の 3 分の 1 が日本学生支援機構奨学金の利用者であるというのがおよその実態であろう。

利用に際して所得制限が設けられている日本学生支援機構奨学金の受給率が過大であるならば、学生生活調査における家庭収入に対する回答も低所得側に偏っていることも想定される。『結果』3-1 表における家庭の年間収入 400 万円未満の学生の割合は、国立 16.2%、公立 20.1%、私立 17.7%、平均 17.5%である。一方、総務省の「家計調査」における年間収入階級別世帯分布（第 5-6 表）に掲載されている学校種別在学者数から算出した、世帯年収 400 万円未満の世帯に属する大学生の割合は、国公立大学 13.1%、私立大学 8.1%、平均 9.1%となり、明らかに学生生活調査の方が 400 万円未満の比率が高く（=低所得層に偏っている）、とくに私立大学において乖離が大きい。

ただし、学生生活調査に家庭年収の分布を上記の家計調査における在学者数分布と等しくなるように補正した場合にも、日本学生支援機構の奨学金受給率は若干低下するものの依然として母集団における受給率よりはかなり高い値となった。学生生活調査の実施主体が日本学生支援機構であることから、同機構による奨学金受給者の方が調査に協力的であり（回答拒否が少ない）、その結果、受給率が高めに現れると考えられるのである。

このように奨学金受給率の数値が高めに現れているという制約はあるものの、各種の経済的支援の受給状況は、家庭の経済状況との関連を検討しなければその性格を捉えることはできないので、以下、奨学金等の種類ごとに、家庭の年収階級別受給状況を検討する。

(1)日本学生支援機構の奨学金

図1は日本学生支援機構の奨学金について、設置者別・家庭の年収階級別に受給率を示したグラフである。なお、家庭の年収階級は、学生生活調査の回答を用いて、おおよそ五分位階級となるように設定してある。利用に際して所得制限が設けられている日本学生支援機構の奨学金の受給率は、当然の事ながら家庭の年収と強く関連している。図1から家庭の年収が650万円を超えると、第二種奨学金（有利子貸与）の受給率が第一種奨学金（無利子貸与）の受給率を上回ることが読み取れる。家庭の年収についての回答が学生の自己申告であるため必ずしも正確とは言えないこと、前述のとおり奨学金の受給率が過大であることに留意しなければならないが、傾向としてはそれほど不合理な集計結果になっているわけではない。

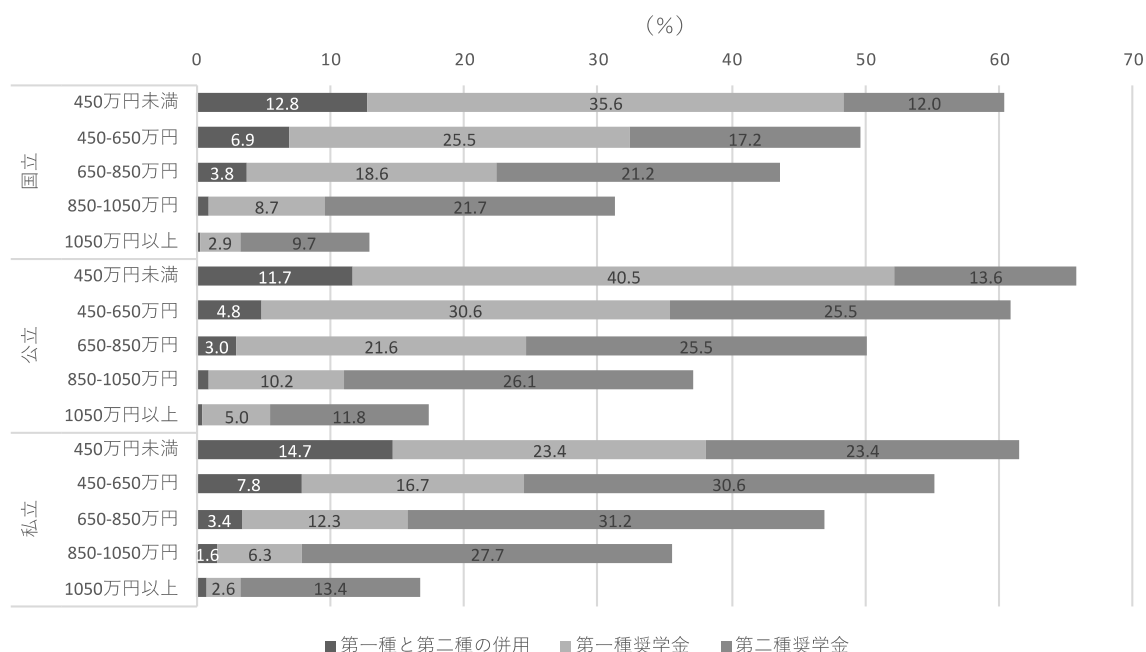


図1 家庭の年間収入階級別 日本学生支援機構奨学金の受給率 (%)

また、すでに表1においても私立大学では第一種奨学金の受給率が国公立大学に比べて低い（第二種奨学金の受給率が高い）ことを示したところであるが、家庭の年収をコントロールしてもこの傾向は変わらない。家庭の年収水準が同一であれば授業料が高い私立大学の方が学費負担は大きいにもかかわらず、返還の負担が大きい有利子貸与（現在、利率はきわめて低いとはいえ）を利用せざるを得ない状況にあることを示している。これは第一種奨学金の方が、学力基準が厳格であることによると考えられるが、奨学金が機会均等のための施策とするならば、現状がその目的に適うものであるのか要検討である。平成29年度進学者より、住民税非課税世帯の学生については、第一種奨学金の学力基準が実質的に撤廃されたので、低所得層の第一種奨学金受給率は今後やや増加すると見込まれる。次回以降の調査において動向を確認する必要があるだろう。

(2)日本学生支援機構以外の奨学金

日本学生支援機構以外の奨学金（図2）についても、年収階級が低くなるほど受給率は高くなっていることから、家計所得を基準としたニードベースの奨学金が主流であるといっていよう。ただ

し、日本学生支援機構の奨学金と異なり、年収 450 万円未満の低所得層のみ受給率が突出して高くなっていることから、経済的にきわめて厳しい状況にある者のみを対象とした奨学金が多いことがうかがわれる。他方で、給付型奨学金に限定すると、中所得層以上では年収に応じて受給率がそれほど変わるわけではない。受給率自体はそれほど高いわけではないが、給付型の場合は所得基準とは無関係な、メリットベースの奨学金も少なくないものとみられる。

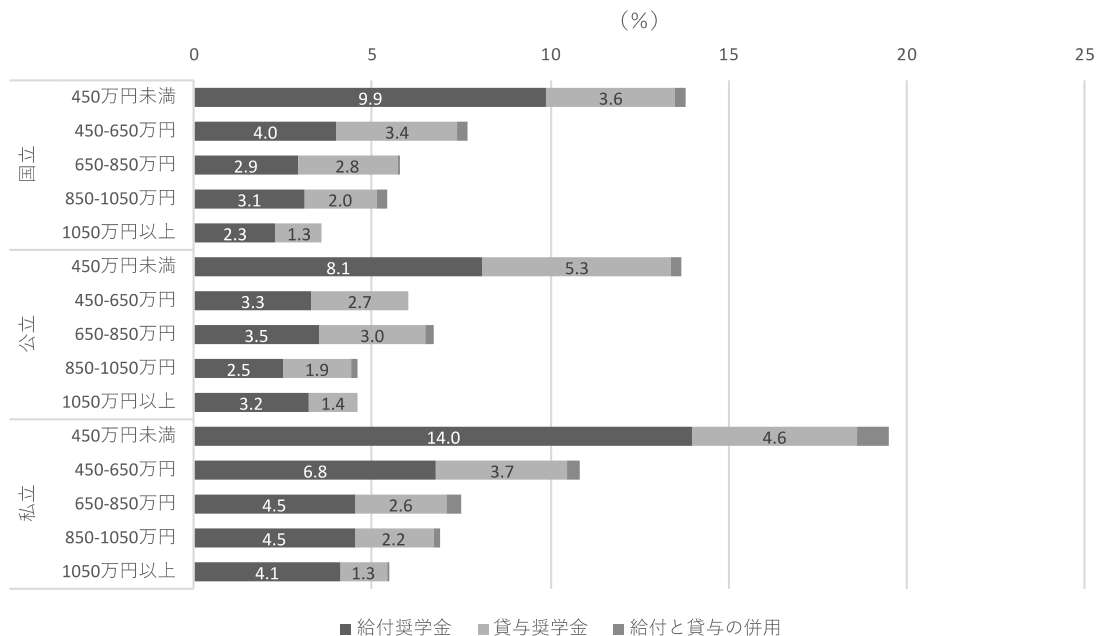


図2 家庭の年間収入階級別 日本学生支援機構以外の奨学金の受給率 (%)

(3) 授業料減免

授業料減免の許可状況 (図3) も家庭の年収階級と関連しているといえるが、ここではむしろ、設置者間での授業料減免の実施状況の差の方が注目される。国立大学では、年収 450 万円未満の学生では4割近い学生が授業料減免の対象となっており、全額が免除されている学生も多い。先に図1で示したように、同じ低所得層であっても国立大学の方が、公立、私立より日本学生支援機構の奨学金受給率が低いのは、授業料減免制度が充実していることによるとも考えられる。

公立大学でも低所得層では2割強の学生が授業料減免の対象となっているが、国立大学と比較すればその割合は低く、全額免除よりも「半額以上全額未満」の方がやや多い。対して私立大学では、授業料減免を認められた学生は少なく、減免された場合も「半額以上全額未満」、「半額以下」の減免である者が多い。また、日本学生支援機構以外の奨学金と同様に、中所得層以上で減免を認められている者の比率は、決して多いわけではないけれども国公立大学より高くなっており、私立大学における授業料減免はメリットベースで決定されているものが少なくないといえよう。

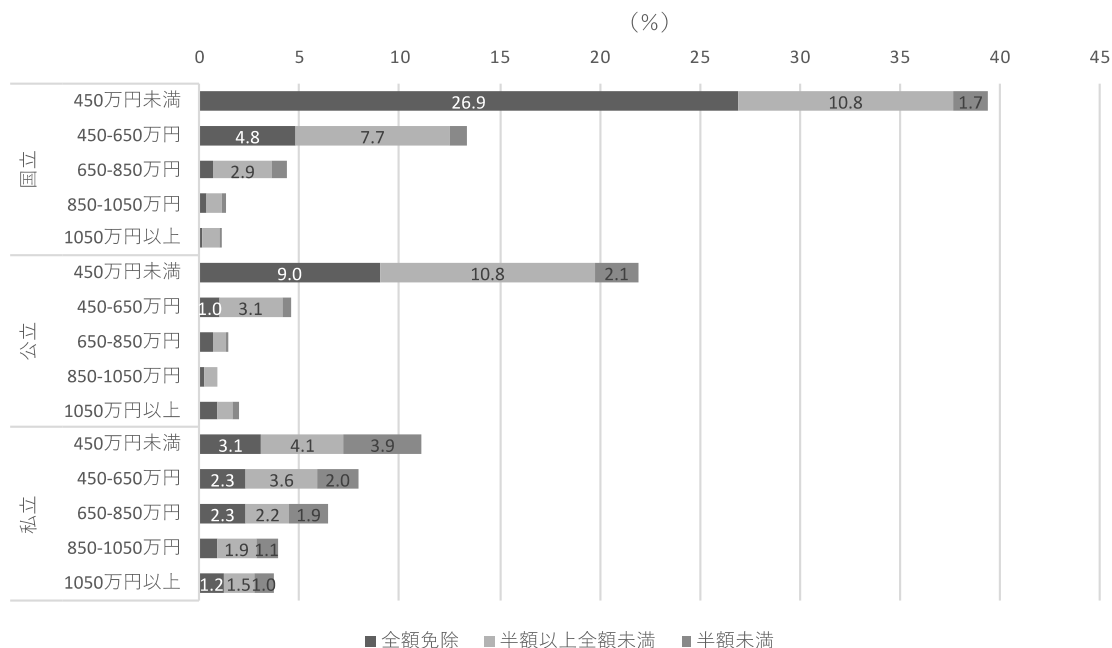


図3 家庭の年間収入階級別 授業料減免の許可状況 (%)

3. 家庭の年間収入と進学機会

ここまでの集計結果からは、国立大学の方が、学費に対する経済的支援を受ける上で、有利であるように見える。国立大学は、もともと授業料自体が低く設定されていることに加えて、各種の経済的支援を受けやすくすることにより、大学進学機会均等に貢献しているというわけである。

しかし次の表4の結果をみるかぎり、こうした解釈には留保が必要である。表4は学生の入学前の居住地別に（保護者の居住地とほぼ一致すると考えてよいだろう）、国立、公立、私立それぞれの家庭の年収階級分布を示したものである。入学前の居住地は便宜的に「首都圏」（東京、神奈川、埼玉、千葉）、「京阪神」（大阪、京都、兵庫）、「その他」（左記以外の道県）に分類した。地域によってそもそも所得水準が異なるため、大都市圏出身の学生の方が相対的に年収の高い層に属する可能性が高いと考えられる⁶。実際、表4より家庭の年間収入は、首都圏出身者において高く、京阪神、その他の地域では低くなっていることが確認できる。

表4 学生の出身地域別 家庭の年間収入階級の分布 (%)

		家庭の年間収入階級					合計
		450万未満	450-650万	650-850万	850-1050万	1050万以上	
首都圏	国立	17.2	14.0	16.1	22.5	30.2	100
	公立	19.2	17.5	18.6	24.3	20.3	100
	私立	18.0	18.6	18.8	18.9	25.7	100
	平均	18.0	18.2	18.6	19.2	26.0	100
京阪神	国立	16.2	16.7	19.6	20.1	27.3	100
	公立	24.7	20.3	22.3	16.4	16.4	100
	私立	29.8	20.5	19.5	15.2	15.0	100
	平均	27.2	19.8	19.7	16.1	17.2	100
その他	国立	21.1	18.7	21.7	18.5	20.1	100
	公立	26.3	22.1	23.1	14.3	14.2	100
	私立	23.4	21.7	22.2	16.5	16.1	100
	平均	23.1	21.1	22.2	16.8	16.9	100
全国	国立	20.1	17.9	20.8	19.1	22.0	100
	公立	25.8	21.7	22.8	15.0	14.7	100
	私立	22.5	20.6	20.8	17.1	19.1	100
	平均	22.2	20.1	20.9	17.4	19.4	100

さて、同一の出身地域内では、国立、公立、私立のいずれに進学するかの確率が家庭の収入状況によらず等しいとすれば、いずれの地域ともに国立、公立、私立の家庭の年収階級の分布は等しくなるはずである。ところが、表4をみると、出身地域を問わず国立大学の方が公立、私立よりも、「1050万円以上」、「850-1050万円」の占める比率が高い。すなわち高所得層の方が国立大学に進学しやすい傾向にあることを示している。その背景としては、家庭の経済状況と学力の間に相関があることが想定できよう。個別大学の入学難易度はともかくとして、平均的には国立大学の方が入学者の選抜性は高い。高所得層ほど高い学力を獲得する上で有利であるとすれば、結果的に高所得層の方が国立大学に進学しやすくなるのである。とりわけ大学進学希望者に比して近隣の国立大学の定員が少ない大都市圏において、こうした傾向が強くなると考えられる⁷。

国立大学が各地に分散して設置されていることは、大都市圏に比べて所得水準の低い地方出身者の進学機会を提供する上で重要な意味を持つ。全国的にみれば、国立大学は進学機会の均等化に寄与していると言って差し支えないだろう。一方で、学力を媒介として高所得層の方が学費の低い国立大学に進学する上で有利という事態が同時に生じているのである⁸。

4. 学生に対する経済的支援制度の課題

本稿で示したように国立大学において学生への経済的支援が充実していることは、国立大学に進学可能な学力を有する者に限れば、家庭の経済力による進学機会格差を解消する上で有効である。しかしそもそも国立大学への進学可能性に家庭の経済力が影響しているならば、私立大学に進学せざるを得ない学生に対してより大きな学費負担を課すことは社会的に公正であるとは言えないだろう。大学進学率が50%を超えた今日、奨学金等の学生への経済的支援は、経済的に困難な者に対する費用の補助を通じて機会均等を図るだけでなく、費用負担の公正性にも焦点化せざるを得ないという困難な課題を抱えている。

進学先の設置者間での学生支援制度の充実度の違い、さらには家庭年収の違いは機会均等と経済的支援の在り方を検討する上で極めて重要である。残念ながら、先にも指摘したように、学生生活調査における家庭年収、奨学金の受給状況に対する回答は母集団を適切に反映しているのか疑わしい。し

かも『結果』、『報告』に掲載されている以外の集計についてはこれまでほとんど情報がなく、データの問題点が十分に知られているわけでもない。それゆえ、本稿における指摘もあくまで暫定的なものに止まらざるを得ない。とりわけ設置者間での家庭年収分布の違いについては、インプリケーションが大きいだけに、他の信頼性の高いデータとの整合性の検証も含めてより慎重な検討を要する。

¹ 平成 20 年度調査までは『大学と学生』（平成 15 年度以前は文部科学省、16～22 年度まで日本学生支援機構が刊行）の増刊号に掲載されていた。

² 受給している奨学金の種類を「日本学生支援機構」、「その他の奨学金」、「両方」の 3 つのカテゴリに分けてその内訳を提示している（『結果』7 表）、日本学生支援機構の奨学金、その他の奨学金それぞれの受給率を算出することはできる。ただし、各奨学金の受給状況を家庭の年収階級別に把握することなどはできない。

³ 『結果』6-1 表における奨学金受給率は、家庭の年間収入を回答した者のみが集計対象となっている。年間収入の設問は無回答者がきわめて多いこと、また奨学金の受給の有無によって年間収入の無回答率がかなり異なることから無回答者を集計対象から除外すると結果は微妙に異なる

⁴ 日本学生支援機構による給付型奨学金制度は、平成 30 年度入学者から本格実施される（29 年度進学者は私立大学に在籍する自宅外通学者に対してのみ先行実施）。

⁵ 日本学生支援機構『JASSO 年報 平成 28 年版』資料 第 14 表（p. 95）より。

⁶ 現実には、近隣に大学進学機会の少ない地域出身の方が、生活費を含めた学費が高くなるため、家庭の所得水準が同一であっても進学しにくいことが想定できる。この場合、現に大学に進学した者のみに限定すれば、「その他」地域出身の方が所得水準は高くなっていることもありうる、という意味で大都市圏出身の方が高所得層に属する「可能性が高い」としている。

⁷ 「首都圏」出身者のうち国立大学に在籍する学生の割合は 6.9%であるのに対して、「京阪神」出身者では 15.4%、「その他」出身者で 22.7%である。国立大学は全国に分散して設置されているため、大都市圏よりも地方の方が、国立大学に進学する割合は高い。

⁸ 公立大学では「その他」地域出身者において、低所得層の割合が高い。大都市圏以外の地方において国立大学と公立大学は進学機会として異なる機能を果たしていると考えられる。

アルバイト状況

岩田 弘三（武蔵野大学）

ここでは以下、4年制大学昼間部の学生に限定して、そのアルバイト状況についてみていく。

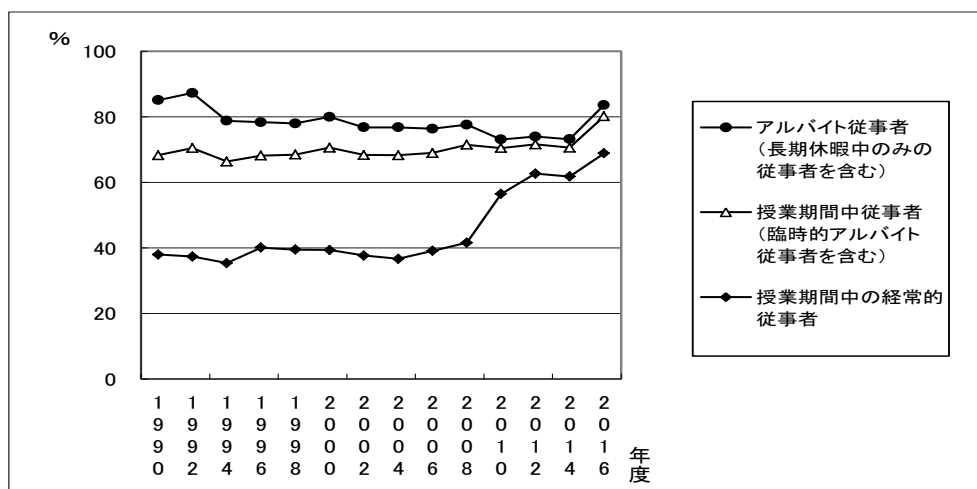
まず、図@.1で、アルバイト従事状況について確認しておこう。ここでは、経常的・臨時的なアルバイトを含めて、1年間に何らの形でアルバイトに従事した学生の比率を、「アルバイト従事率」と呼ぶことにする。また、臨時的なものを含めて授業期間中にアルバイトをしている学生の比率を、「授業期間中のアルバイト従事率」は呼ぶことにする。さらに、授業期間中に経常的にアルバイトをしている学生の比率を、「授業期間中の経常的アルバイト従事率」と呼ぶことにする。

図@.1をみると、アルバイト従事率は、1992年度以降、2010年度まで、トレンドとしては減少傾向にあった。それが10年度には底を打ち、その後、14年度までは横バイ状態に落ち着いていた。それが、14年度から16年度にかけて、73.2%から83.6%へと、10.4ポイントも増加した。

また、アルバイトの従事時期についていえば、1992年度以降、2010年度まで、アルバイト従事率が減少をみせるなか、授業期間中のアルバイト従事率は、増加傾向をみせている。つまり、長期休暇中のみのアルバイトが減少し、授業期間中に行うアルバイトが一般的になっていった。そして、ここでも14年度から16年度にかけて、70.6%から80.2%へと、9.6ポイントの増加がみられる。

さらに、データの連続性が確保できている2010年度以降についていえば、授業期間中のアルバイトのなかでも、授業期間中の経常的アルバイト従事率が、14年度における多少の落ち込みを例外とすると、トレンドとしては急増していることも明らかである。とくに、14年度から16年度にかけては、61.8%から68.9%へと7.1%ポイントの上昇がみられ、この増加が、授業期間中のアルバイト従事率を、さらにはアルバイト従事率を、ほぼそのまま押し上げる結果をもたらしていることは明らかである。

そして、2016年度には、アルバイト学生を母数にとれば、その82.4%が授業期間中の経常的アルバイト従事者であり、アルバイトの日常化の波が、学生をほぼ覆い尽くす状態にまで浸透したといえる。



図@.1 アルバイト従事状況

図注) 1968～2008年については、「長期休暇中のみ従事」、「授業期間中に臨時的に従事」、「授業期間中に経常的に従事」、「長期休暇中にも授業期間中にも従事」の4つの選択肢を設定した集計がなされている。そこで、「授業期間中の恒常的従事者」については、「長期休暇中にも授業期間中にも従事した」学生の授業期間中のアルバイト勤務形態が、「授業期間中に臨時的に従事」した学生と、「授業期間中に経常的に従事」した学生の比率を反映しているものとして推計している。

ところで、全国大学生生活協同組合連合『キャンパスライフデータ（学生生活実態調査報告書）』（以下、『生協調査』）をみても、授業期間中のアルバイト従事率（平均的な1ヵ月をめやすにして、アルバイト収入があった学生の比率）には2009年以降、ほぼ一貫した上昇傾向がみられる。のみならず、15年から16年にかけては、それまでに比べ幾分大きな増加が観察できる。

ただし、『生協調査』における15年から16年にかけての授業期間中のアルバイト従事率の上昇規模は、それ以前にみられた増加の範囲内に収まっている。これに対し、『学生生活調査』の場合は、1968～2014年度における増減は、最大でも4.4%にすぎない。よって、14年度から16年度にかけての10.4ポイントの増加は、異常な規模での変化だといえる。

このように、2014年度の動向を除けば、『学生生活調査』と『生協調査』とも、授業期間中のアルバイト従事率は、つぎの2点において一致した推移動向がみられる。第1に、09年以降、増加傾向にあること。第2に、16年度にはその前の年度に比べて、幾分大きな増加がみられること。以上2点である。ここで問題になるのは、14年度の動向である。『生協調査』では、12年あるいは13年から14年にかけて、授業期間中のアルバイト従事率は、上昇している。これに対し、『学生生活調査』では、授業期間中のアルバイト従事率には、12年度の71.6%から14年度の70.6%へと減少がみられる。

『学生生活調査』における14年度から16年度にかけての増加の規模の異常なほどの大きさ、さらに『生協調査』の動向も勘案すれば、『学生生活調査』における14年度の数値は、何らかの理由によって、一時的に低目の値を示したとみなせる。その影響によって、14年度から16年度にかけての、授業期間中のアルバイト従事率の変化は、大きな規模になったものと考えられる。授業期間中の経常的アルバイト従事率についても、同様だと推測される。

その点はさておき、14年度から16年度にかけて、「授業期間中に経常的にアルバイトをしている学生」の比率には、他の年度変化に比べて、幾分の急上昇がみられることだけは確かである。だとすれば、その原因はどこに求められるのだろうか。この年度間に「パートタイムの有効求人倍率」（以下、単に「有効求人倍率」）は、1.41倍から1.73倍へと増加している。その影響でアルバイト従事率が上昇した可能性が、まず考えられる。しかし、以下の点を考慮すると、その影響は限定的だとみなせる。

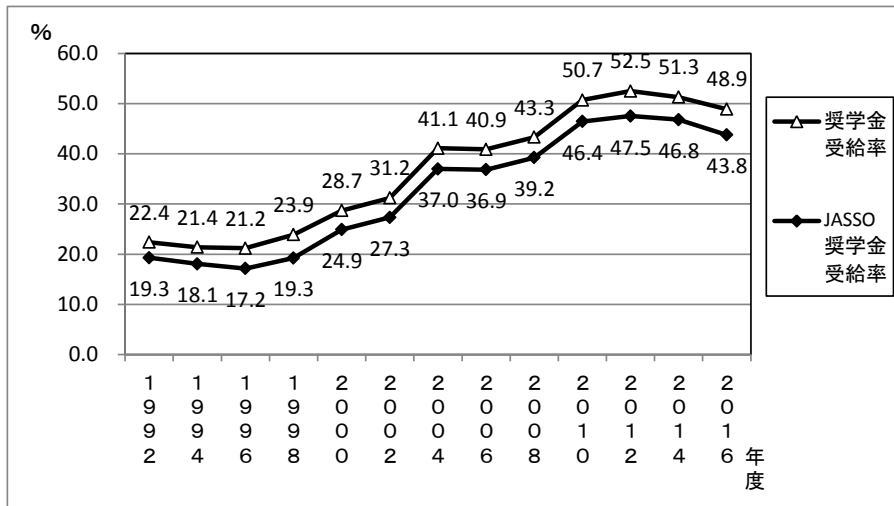
第1に、有効求人倍率には、09年度の0.73倍を起点として、それ以降、16年度の1.73倍までへと、一貫した上昇傾向がみられる。この間の授業期間中の経常的アルバイト従事率にも、先述したように14年度の落ち込みが異常傾向であったとみなせば、基本的には増加傾向がみられる。つまり、10～16年度の期間については、それら2つの動向は一致している。しかし、06年度から09年度にかけて、有効求人倍率は1.46倍から0.73倍にまで、一貫して減少傾向にあった。にもかかわらず、この間にも授業期間中の経常的にアルバイト従事率は、増加しつづけている。

第2に、データに連続性がある、授業中のアルバイト従事率や、アルバイト従事率との関係でみても、06年度以降の有効求人倍率の動向とは、一致していないからである。

このように、14年度から16年度にかけての授業期間中の経常的にアルバイト従事率の急増をもたらした主要な要因は、雇用状況の好転とは考えられない。その主要要因になったと推測されるのは、収入源の構成の変化である。

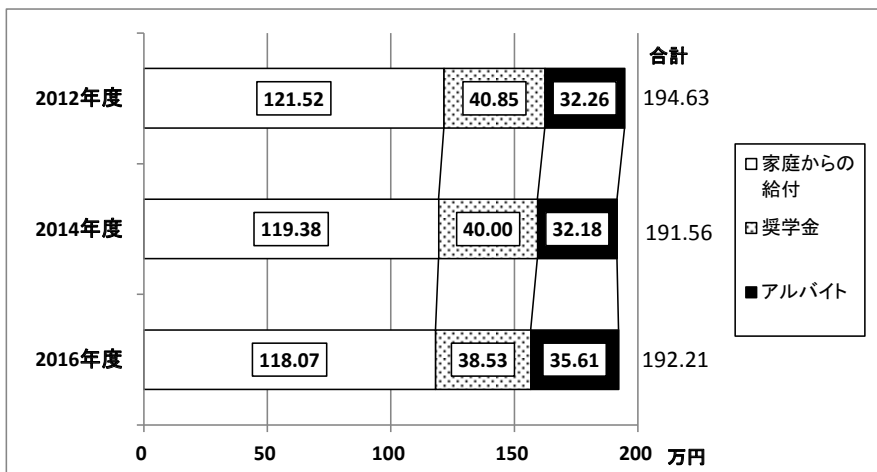
図②.2に示したように、JASSO以外の奨学金も含めた、奨学金受給率（以下、単に「奨学金受給率」）は、JASSO奨学金受給率より、どの年度についても、約5%高い状態で、JASSO奨学金受給率と、同じトレンドをみせている。そこで、JASSO奨学金受給率に絞っていえば、1996年度にはその受給率は17.2%であった。それがその後、2006年度における0.1%規模の微減を唯一の例外として、12年度ま

で急激に増加し、47.5%に達した。しかし、14年度には46.8%と減少に転じ、16年度には43.8%にまで低下している。JASSO 奨学金滞納問題が、マスコミなどで本格的に騒がれ始めたのは、14年度初めの時期である。その影響のもとで、大学へのインタビュー調査の結果をもとにすれば、多くの大学で、遅くとも15年度には、「貸与奨学金（JASSO 奨学金）離れ」の指摘が相次いだ¹。その指摘が、データでも確認できることになる。



図@.2 奨学金受給率

このような「貸与奨学金（JASSO 奨学金）離れ」を反映して、図@.3 に示したように、JASSO 以外の奨学金も含めた、奨学金収入は、2012年度以降、16年度まで減少している。同様に、家庭からの給付も、これらの年度間で減少がみられる。とくにこれらの収入減少を反映して、12年度から14年度にかけては、これら3つの合計収入総額にも、年額3.07万円の低下がみられる。しかし、14年度から16年度にかけては、合計収入総額には、ほとんど差みられない。つまり、奨学金については1.47万円、家庭からの給付については1.31万円、合計して2.78万円の収入の減少分を、アルバイト収入を3.43万円増加させることによって補っている傾向がみられる。正確にいえば、むしろ0.65万円分だけ合計収入総額を押し上げるだけの、収入増をアルバイトによって確保しているといえる。

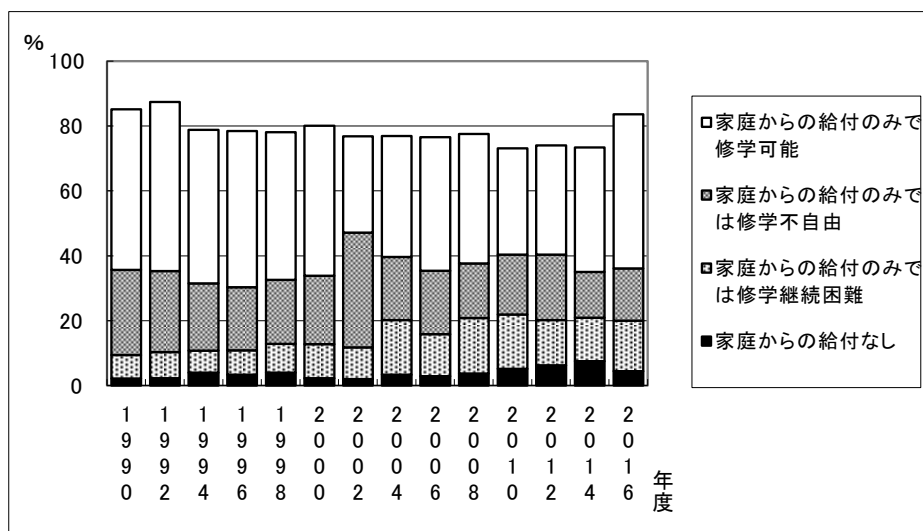


図@.3 収入構成

なお、図@.3の奨学金収入額は、奨学金を受給していない学生を含めた、実額平均値である。奨学金受給者のみに限った奨学金受給額、つまり有額平均値でみると、12年度から14年度にかけては、778,095円から779,727円へと、横ばいであったものが、16年度には819,787円と、むしろ年額約3万円の増加がみられる。つまり、実額平均をもとにした奨学金収入における、14年度から16年度にかけての低下は、奨学金受給率の減少が主要因になっていることは明らかである。なぜなら、奨学金収入額が0円となる、奨学金非受給者が増加すれば、学生全体の平均値は当然低下するからである。

こうしてみると、「貸与奨学金（JASSO奨学金）離れ」によって、奨学金の貸与を受けずに、アルバイトで収入を確保しようとする学生の増加したことが、授業期間中の経常的アルバイト従事率増加の主要因になったものと思われる。

それでは、14年度から16年度にかけては、どのような経済状況にある学生のなかで、アルバイトが増加したのであろうか。図@.4は、アルバイトと家庭からの給付状況の関係をみたものである。この図は、全学生を母数とした比率で表示している。よって、各年度の棒グラフの最上端は、学生全体のなかでのアルバイト従事率を示している。



図@.4 アルバイトの必要度

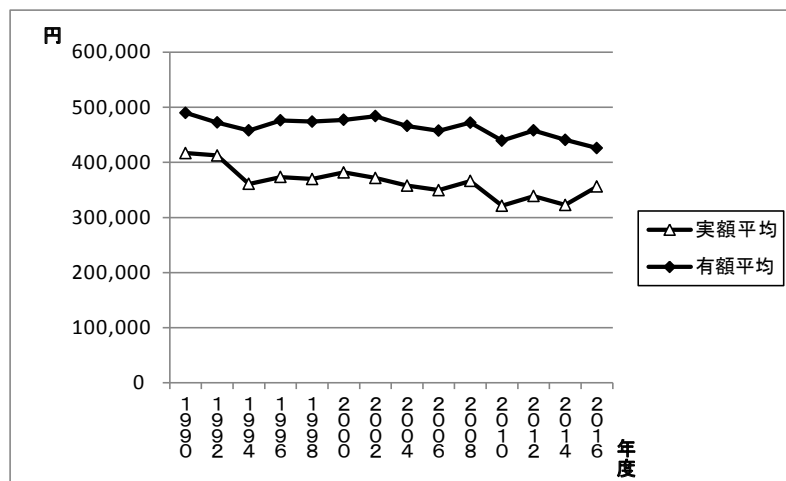
学生全体を母数とすれば、そのなかでも、「家庭からの給付なし」であるがゆえのアルバイトに限ってみれば、2002年度には2.0%にすぎなかったものが、その後増加をつづけ、14年度には7.5%へと3.75倍にまで拡大している。しかし、16年度には、4.4%へと急激に減少している。ただし、「家庭からの給付なし」+「家庭からの給付のみでは修学継続困難」といった学生を、「経済的にきわめて恵まれない学生層」とみなせば、そのような状況ゆえにアルバイトをせざるをえない学生の比率は、2006年度の数字が異常に低い点を例外として、04年度以降、16年度まではほぼ2割の水準を維持している。つまり、14年度から16年度にかけて、これら「経済的にきわめて恵まれない学生層」での、アルバイト従事率が増加しているわけではない。14年度から16年度にかけての数字だけを問題としても、20.9%から20.0%へと、ごくわずかの減少がみられるにすぎない。

また、「家庭からの給付なし」+「家庭からの給付のみでは修学継続困難」+「家庭からの給付のみでは修学不自由」なためのアルバイトを、「経済的事情によるアルバイト」とみなせば、そのようなアルバイト学生の比率は、2006年度以降についてみると、10・12年度に一時的に高まり、4割を超え

る時期はあったものの、それらの年度を除くと、35～36%の水準で安定している。ここでも、14年度から16年度にかけての時期だけを問題とすれば、35.0%から36.0%へと、逆にごくわずかの増加がみられるにすぎない。

これに対し、「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイト学生は、2004年度以降についてみると、10・12年度における「経済的事情によるアルバイト」の一時的な上昇とは裏腹の関係で、これら両年度には、32～34%へと低下するものの、14年度までは、37.3%～41.4%のあいだで推移していた。しかし、14年度から16年度にかけては、38.3%から47.5%にまで、9.2ポイントも急増している。こうしてみると、これら両年度間におけるアルバイト従事率の上昇のほとんどの部分は、「家庭からの給付のみで修学可能」なアルバイトによって、もたらされたことは明らかである。

先に、図③.3でみてきたように、アルバイトに従事していない学生を含めたアルバイト収入額（実額平均）には、2014年度から16年度にかけて、約3万円の増加がみられた。しかし、図③.5から明らかのように、アルバイトに従事している学生だけを取り出した場合のアルバイト収入額（有額平均）は、むしろ減少している。この年度間における最低賃金は、時給で780円から823円へと増加しているにもかかわらず、である。つまり、アルバイト収入額の実額平均の上昇は、時給単価の上昇によるものではなく、アルバイト従事率の増加を原因とするものであることは、明らかである。



図③.5 アルバイト収入

図注) ①有額平均については、全学生の平均アルバイト収入額を、アルバイト従事率で除して計算。
 ②各年度の数値は、2015年の消費者物価指数をもとに現在の円価格に換算してある。

アルバイト収入額の有額平均について、その1990年度以降のトレンドをみれば、2002年度までは、ほぼ横ばい状態にあった。ところが、04年度以降は、08年度の上昇、および10年度の落ち込みの振れ幅が異常に大きかったとみなせば、低下に転じているとみなせる。16年度もそのトレンドの延長線上に位置づけられる。

14年度からの（最近1週間の）生活時間のデータは、質問方法が変わったので²、それ以前とのデータと連続性をもたない。そこでまず、06年度と12年度を比較すると、アルバイト時間（定職を除く）の平均値は、9.93時間から10.09時間へと、0.16時間の増加がみられるだけで、ほとんど差は認められない。同様に、14年度と16年度を比較しても、アルバイト時間は、9.17時間から9.32時間へと、むしろ増加してさえいる。にもかかわらず、04年度以降の一貫したトレンドとして、アルバイト収入額の有額平均の減少がみられるのである。ここからも、アルバイト学生全体での時給が低下

していることは明らかである。

そのような時給低下傾向の最大要因としては、時給の低いアルバイト職種への従事率の増加による影響が大きいと推測される。アルバイト職種についていえば、戦後一貫して増加の一途をたどってきたのが軽労働である。2008年度以降には、その比率は7割を超えるまでに増加している。12年度の77.7%という数字が、例外的に高かったとみなせば、10年度の72.1%と比べて、14年度には72.8%、16年度には73.0%へと、増加しており、トレンドとしてはいまだ拡大傾向がつづいている。そして、アルバイト職種別に時給を算出すれば、「軽労働」は「重労働・危険作業」とともに、もともと時給の低いアルバイト職種である。このように、他の職種に比べて、時給の低い軽労働従事者の著しい増加によって、アルバイト学生全体での時給が低下してきたことは、確かであるとみなせる。

なお、図④.5に戻って、アルバイト収入額の実額平均のトレンドに目を移せば、1990～2014年度の動きは、傾向としては有額平均のそれと一致している。つまり、この時期にみられる実額平均の低下傾向は、基本的にはアルバイト学生全体での時給の減少が大きな要因となってもたらされたものである。ただし、正確に言えば、有額平均に比べて実額平均の落ち込み具合は、大きい傾向もみられる。よって、アルバイト従事率の低下も、実額平均の低下に影響を与えたことは確かである。これに対し、2016年度の実額平均の増加現象に限っていえば、先に指摘したように、アルバイト従事率の大幅な上昇が、時給低下の効果を上回った結果であることは明らかである。

(数値の一部には分析者による集計値が含まれる)

¹ 岩田弘三「大学における中退の実態とその防止に向けた取り組み—大学へのヒアリング調査をもとにした事例分析」、『武蔵野大学教養教育リサーチセンター紀要 The Basis』第7号、2017年。

² 2012年度までは、「アルバイトの就労時間」を数値でそのまま記入する方式であった。これに対し、2014年度以降は、1＝「0時間」、2＝「1-5時間」、3＝「6-10時間」、4＝「11-15時間」、5＝「16-20時間」、6＝「21-25時間」、7＝「26-30時間」、8＝「31時間以上」の8つの選択肢を用いた質問になっている。本稿での、2014年度以降のアルバイト平均時間に関しては、2～7選択者については、その範囲の中間値、8については33時間の数値を与えて、平均を算出。

大学3年生のキャリア形成と「家庭からの給付状況」の関連

望月 由起（昭和女子大学）

本稿では、卒業後の進路に向けて具体的な行動をしはじめる学生の多い「大学（昼間部）3年生¹⁾」を分析対象とし、彼らのキャリア形成に関わるような要素、具体的には「キャリア・センターの利用や満足の数度」「進路に関する不安」「卒業後の進路希望」と「家庭からの給付状況」の関連についてみていく。

1. 学科系統による「家庭からの給付状況」

大学生のキャリア形成に関わる分析を行う際には、彼らの所属する学科系統にも目を向けておく必要があるだろう。本稿においても、本題の分析に入る前に、学科系統による「家庭からの給付状況」を確認しておく。

表1は、「家庭からの給付のみで修学可能ですか（最近1年間の経験から）」という問いに対する回答（4件法）を学科系統別に示したものである（ $\chi^2=96.031$, $df=36$, $p<.001$ ）。

表1. 学科系統別にみた「家庭からの給付状況」

	修学可能	修学不自由	修学継続困難	家庭からの給付はない
文・外国語・国際・文化系(N=699)	56.2%	17.7%	18.5%	7.6%
法・政・経・商・社系(N=960)	56.3%	18.2%	18.0%	7.5%
理・工系(N=980)	59.2%	17.3%	19.3%	4.2%
農系(N=185)	66.5%	16.8%	15.1%	1.6%
薬系(N=97)	60.8%	18.6%	18.6%	2.1%
医・歯系(N=155)	72.3%	11.0%	11.0%	5.8%
看護・保健系(N=404)	55.7%	19.3%	20.3%	4.7%
教育・教員養成系(N=344)	57.8%	19.8%	16.3%	6.1%
福祉系(N=138)	39.1%	24.6%	25.4%	10.9%
家政・生活系(N=121)	62.8%	13.2%	21.5%	2.5%
芸術系(N=140)	51.4%	27.9%	17.1%	3.6%
スポーツ系(N=85)	48.2%	15.3%	31.8%	4.7%
その他(N=154)	54.5%	16.9%	18.2%	10.4%
全体(N=4,462)	57.3%	18.1%	18.6%	5.9%

全体でみれば、「修学可能」が6割弱を占めており、「修学不自由」「修学困難」がそれぞれ2割弱、「家庭からの給付はない」は6%程度であった。

着目すべきは、「医・歯系」である。私立大学の「医・歯系」の学費は他の系統に比べて高額であるが、「修学可能」が全体よりもさらに10ポイント以上高い一方で、「修学継続困難」「家庭からの給付はない」は両者を合わせても2割に満たない。それに対し「福祉系」では「修学可能」が4割にも満たない一方で、「家庭からの給付はない」が1割を超えるなど、家庭からの給付のみでは修学が難しい恐れのある学生が少なからずいることがわかる。ともに国家資格に基づく専門職に繋がる学科系統であるが、対照的な傾向が示されている。

2. 「家庭からの給付状況」によるキャリア・センターの利用や満足の数度

では「家庭からの給付状況」により、大学のキャリア・センターなどでの就職・進路への支援の利用や満足の程度にどのような相違があるのだろうか。

(1) 「家庭からの給付状況」によるキャリア・センターの利用状況

表2は、「家庭からの給付状況」別に、現在通っている大学における学生支援の非利用率（「利用したことがない」と回答した率）を示したものである。

表2. 「家庭からの給付状況」別にみた大学学生支援の非利用率

	キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	奨学金等の経済的支援に関する情報提供	学習・生活面でのカウンセリング	図書館・自習室などの学習支援施設
修学可能	38.3%	60.2%	59.8%	2.3%
修学不自由	32.6%	15.7%	52.7%	2.8%
修学継続困難	30.1%	11.8%	49.2%	2.8%
家庭からの給付はない	34.6%	13.3%	57.4%	2.3%
全体	35.5%	40.4%	56.4%	2.5%

「キャリア・センターなどでの就職・進路への支援」では、「家庭からの給付状況」による大きな差異はみられず、大学3年生全体の35%が「利用したことがない」状況にある。

「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」も、全体でみれば「キャリア・センターなどでの就職・進路への支援」の利用状況と大きな違いはない。しかし「修学可能」では6割を超えているがⁱⁱ、「修学不自由」「修学継続困難」「家庭からの給付はない」では1~2割に過ぎず、「家庭からの給付状況」による差異が大きいことがわかる。

(2) 「家庭からの給付状況」によるキャリア・センターの満足度

では、大学のキャリア・センターを利用している学生の満足の程度は、「家庭からの給付状況」により違いがあるのだろうか。

表3は、現在通っている大学におけるキャリア・センターなどでの就職・進路への支援を利用したことがある学生を対象にして、「家庭からの給付状況」別に、その満足の程度を尋ねた結果である（ $\chi^2=25.341$, $df=9$, $p<.01$ ）。

表3. 「家庭からの給付状況」別にみたキャリア・センターの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満
修学可能(N=1,585)	23.0%	55.8%	17.0%	4.2%
修学不自由(N=547)	23.8%	56.9%	16.3%	3.1%
修学継続困難(N=583)	22.8%	53.7%	17.8%	5.7%
家庭からの給付はない(N=172)	27.9%	45.9%	15.1%	11.0%
全体(N=2,887)	23.4%	55.0%	16.9%	4.7%

全体でみると、およそ8割が「満足」「やや満足」と回答しており、「不満」は5%に満たないことから、多くの学生はキャリア・センターなどでの就職・進路への支援に満足していると思われる。ただし両者の関連性には、有意差が示されている。他の状況に比べ、「家庭からの給付はない」では満足の程度にバラつきがみられ、「不満」が1割を超えている状況は特筆すべき点である。

3. 「家庭からの給付状況」による進路に関する不安

では「家庭からの給付状況」により、進路に関する不安にどのような相違があるのだろうか。

以下にて、進路に関する不安として「卒業後にやりたいことがみつからない」「希望の就職先や進学先に行けるか」「経済的に勉強を続けることが難しい」を取り上げ、「家庭からの給付状況」との関連

をみていく。

まず「家庭からの給付状況」別に、「卒業後にやりたいことがみつからない」ことへの不安の程度を示したものが表4である ($\chi^2=7.282$, $df=9$, $N.S.$)。

表4. 「家庭からの給付状況」×「卒業後にやりたいことがみつからない」

	大いにある	少しある	あまりない	全くない
修学可能(N=2,570)	15.1%	33.1%	28.1%	23.7%
修学不自由(N=813)	15.6%	33.1%	29.2%	22.1%
修学継続困難(N=835)	13.3%	32.6%	30.3%	23.8%
家庭からの給付はない(N=263)	14.1%	28.9%	28.9%	28.1%
全体(N=4,481)	14.8%	32.7%	28.8%	23.7%

両者の関連性に有意差は示されておらず、全体でみれば、「大いにある」「少しある」と「あまりない」「全くない」がそれぞれおよそ半数となっている。

続いて表5は、「希望の就職先や進学先へ行けるか」といった不安の程度を示したものである ($\chi^2=11.306$, $df=9$, $N.S.$)。

表5. 「家庭からの給付状況」×「希望の就職先や進学先へ行けるか」

	大いにある	少しある	あまりない	全くない
修学可能(N=2,569)	40.8%	41.3%	11.9%	6.0%
修学不自由(N=813)	42.8%	41.3%	11.3%	4.6%
修学継続困難(N=835)	42.6%	37.5%	13.1%	6.8%
家庭からの給付はない(N=263)	43.3%	36.1%	12.5%	8.0%
全体(N=4,480)	41.7%	40.3%	12.1%	6.0%

両者の関連性に有意差は示されておらず、全体でみれば、「大いにある」「少しある」がそれぞれ4割を超えている。先の分析では、卒業後にやりたいことがみつからないことへの不安を持つ学生は半数程度であったが、「希望の就職先や進学先へ行けるか」といった具体的な進路に対する不安は8割を超える学生が抱えていることがわかる。

最後に、「経済的に勉強を続けることが難しい」といった不安の程度を示したものが表6である ($\chi^2=631.440$, $df=9$, $p<.001$)。

表6. 「家庭からの給付状況」×「経済的に勉強を続けることが難しい」

	大いにある	少しある	あまりない	全くない
修学可能(N=2,569)	1.2%	6.5%	34.7%	57.6%
修学不自由(N=812)	2.7%	17.5%	46.3%	33.5%
修学継続困難(N=834)	6.1%	25.3%	45.1%	23.5%
家庭からの給付はない(N=263)	9.9%	34.2%	31.6%	24.3%
全体(N=4,478)	2.9%	13.6%	38.6%	44.9%

全体でみれば、「大いにある」「少しある」を合わせても15%程度であり、「修学可能」では「全くない」が6割弱を占めている。この結果からは、多くの学生にとって、経済的に勉強を続けることに対する不安はさほどないようにも思われる。

ただし両者の関連性には、明らかに有意差が示されている。分析対象者の半数以上を占める「修学可能」と「修学不自由」「修学継続困難」「家庭からの給付はない」では状況が異なっており、「家庭からの給付がない」では、「大いにある」がおよそ1割、「少しある」を合わせると4割を超えている。

4. 「家庭からの給付状況」による卒業後の進路希望ⁱⁱⁱ

先の分析から、経済的に勉強を続けることへの不安には「家庭からの給付状況」との関連性が示されたが、大学卒業後の進路希望、特に大学院などへの進学希望との関連もみられるのではなかろうか。

以下では、「家庭からの給付状況」と現在（大学3年生の11月）の進路希望の関連性を確認した上で、「進学希望」からの変更状況とともに、「進学希望」への変更状況との関連性についても目を向けてみたい。

(1) 「家庭からの給付状況」による現在の進路希望

表7は、「家庭からの給付状況」別に現在の進路希望を示したものである ($\chi^2=24.151, df=18, N.S.$)。

表7. 「家庭からの給付状況」×現在の進路希望

	民間企業に就職	公務員になる	教師、医師、弁護士 などの専門職につく	その他の形で就業 (自営など)	進学する (大学院など)	その他	決めていない (いなかった)
修学可能(N=2,487)	39.6%	14.8%	21.2%	0.8%	13.8%	2.6%	7.2%
修学不自由(N=780)	39.9%	16.8%	22.1%	1.3%	11.3%	1.8%	6.9%
修学継続困難(N=805)	41.2%	13.5%	23.2%	1.7%	9.9%	2.9%	7.5%
家庭からの給付はない(N=251)	42.2%	13.1%	23.5%	1.6%	10.8%	3.2%	5.6%
全体(N=4,323)	40.1%	14.8%	21.9%	1.1%	12.5%	2.5%	7.1%

両者の関連性に有意差は示されておらず、全体でみれば、「民間企業に就職」が4割、「教師、医師、弁護士などの専門職につく」がおおよそ2割、「公務員になる」がおおよそ15%といった就職希望状況に対し、「進学する（大学院など）」は1割強であり、「決めていない」も7%程度いることがわかる。

(2) 「家庭からの給付状況」による「大学院などへの進学」希望からの変更

表8は、大学入学時に「進学する（大学院など）」を希望していた学生を分析対象とし、現在の進路希望を「就職希望」「進学希望」「未定」に区分して^{iv}、「家庭からの給付状況」別に示したものである ($\chi^2=6.984, df=6, N.S.$)。

表8. 「家庭からの給付状況」×「進学」を希望していた学生の現在の進路希望

	就職希望	進学希望	未定
修学可能(N=296)	22.0%	74.0%	4.1%
修学不自由(N=68)	27.9%	66.2%	5.9%
修学継続困難(N=63)	34.9%	63.5%	1.6%
家庭からの給付はない(N=22)	31.8%	63.6%	4.5%
全体(N=449)	25.2%	70.8%	4.0%

全体でみれば、大学入学時に「進学希望」であった学生の7割は進路希望を変更していない一方で、25%の学生は「進学希望」から「就職希望」に変更している。

両者の関連性に有意差は示されていないものの、「修学可能」では「進学希望」のまま変更していない学生が74%に及んでおり、他の状況に比べて目立っている。その一方で、「修学継続困難」「家庭からの給付はない」ではそれぞれ3割を超える学生が「就職希望」に変更していることがわかる。

(3) 「家庭からの給付状況」による「大学院などへの進学」希望への変更

表9は、現在「進学する（大学院など）」を希望している学生を分析対象とし、入学時の進路希望を先の分析と同様に区分して、「家庭からの給付状況」別に示したものである ($\chi^2=19.167, df=6, p<.01$)。

表9. 「家庭からの給付状況」×「進学」を希望している学生の入学時の進路希望

	就職希望	進学希望	未定
修学可能(N=342)	19.9%	64.0%	16.1%
修学不自由(N=87)	34.5%	51.7%	13.8%
修学継続困難(N=78)	34.6%	51.3%	14.1%
家庭からの給付はない(N=27)	44.4%	51.9%	3.7%
全体(N=534)	25.7%	59.6%	14.8%

全体で見れば、現在「進学希望」の学生の6割は進路希望を変更していない一方で、25%の学生は「就職希望」から「進学希望」に変更している。

ただし両者の関連性には有意差が示されており、「修学可能」では「進学希望」のまま変更していない学生が64%であるが、他はいずれも半数程度に留まっている。その一方で、「修学継続困難」「修学不自由」ではそれぞれ3割、「家庭からの給付はない」では4割を超える学生が「就職希望」から「進学希望」に変更している。

5. おわりに

本稿の分析の結果、「家庭からの給付状況」と大学卒業後の「やりたいことの気づき」「希望する就職先や進学先の実現」の不安には関連がさほどみられない一方で、大学在学中や卒業後の「学びの継続」の不安とは関連が示唆されていた。いわゆる「手に職系」の学科系統でも、「職業に就く」ことだけでなく、「学ぶ（学び続ける）」ことは学生のキャリア形成にとって重要な要素である。いずれの進路を希望しようとも、「家庭からの給付状況」による不安を抱えたり、諦めざるをえない学生が少しでも減少するような施策が必要である。

キャリア・センターなどでの就職・進路への支援に対して、1割を超える「家庭からの給付はない」学生が不満を持ち、彼らには学び続けることへの不安を持つ学生も少なくないことが示されている。個々の大学でも、キャリア・センターの機能を卒業後の就職支援だけに特化するのではなく、経済支援に関わる部署などとの連携を通して、学生の多様なキャリアを支援できるような方策を検討すべきである。修学の継続が困難であったり不自由であっても、卒業後の進路を「就職希望」から「進学希望」に変更している学生も少なからずおり、彼らのような学生にはキャリア支援と経済的支援の両側からの支援がより一層求められるだろう。

ⁱ日本経済団体連合会による「採用選考に関する指針」に基づき、原則として、学生側は3年次（卒業年次の前学年）の3月1日以降に合同説明会などに参加しはじめ、4年次（卒業年次）の6月1日以降に試験や面接などの選考を受けている。3年次の夏期を中心に行われているインターンシップが実質的には広報・選考活動にもなっているとの指摘もある。

ⁱⁱ本稿の主題とは逸れるが、およそ4割の学生が、「修学可能」でありながらも「奨学金等の経済的支援に関する情報提供」を利用している状況は看過できない結果である。

ⁱⁱⁱ「卒業後の進路希望」については、平成28年度学生生活調査と同時に国立教育政策研究所が実施した「大学生等の学習状況に関する調査」の設問項目。（設問36：卒業後に最も希望する進路は次のどれですか（入学時の希望、現在の希望それぞれについて回答））

^{iv}「民間企業に就職」「公務員になる」「教師、医師、弁護士などの専門職につく」「その他の形で就業（自営など）」を「就職希望」とし、「進学する（大学院など）」を「進学希望」とし、「決めていない（いなかった）」を「未定」とし、「その他」は分析から外している。

IV. 集計表

1-1表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学昼間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	627,900	557,100	1,020,100	963,400	746,600	842,600	1,440,600	1,273,900	1,177,000	982,600	1,727,800	1,501,900	976,100	806,800	1,255,200	1,180,700
	奨学金	202,000	259,200	376,700	354,700	434,900	353,000	576,400	538,500	334,200	420,200	447,500	411,200	297,900	353,300	408,200	385,300
	アルバイト	330,200	377,100	400,600	392,600	280,000	203,700	178,100	200,200	291,700	348,200	332,600	321,600	303,300	354,500	368,700	356,100
	定職収入・その他	37,000	28,100	42,800	41,600	20,400	32,000	35,600	32,300	39,400	34,800	55,000	48,700	37,500	32,000	46,100	43,800
	計	1,197,100	1,221,500	1,840,200	1,752,300	1,481,900	1,431,300	2,230,700	2,044,900	1,842,300	1,785,800	2,562,900	2,283,400	1,614,800	1,546,600	2,078,200	1,965,900
支 出	授業料	500,400	518,800	1,022,200	950,900	419,700	515,600	1,035,400	887,900	503,100	521,400	1,115,900	883,500	497,300	520,200	1,051,200	922,400
	その他の 学校納付金	11,300	14,300	146,200	127,700	14,400	31,300	177,600	138,200	8,000	18,000	182,500	116,700	9,400	17,000	158,800	124,100
	修学費	46,000	51,500	44,200	44,600	45,600	34,200	49,400	48,000	49,800	43,200	47,800	48,000	48,300	46,200	45,500	46,100
	課外活動費	45,500	27,700	30,100	31,600	48,800	19,000	61,500	57,300	52,300	28,300	35,100	39,700	49,900	27,800	33,200	36,000
	通学費	96,400	98,700	100,100	99,600	10,800	9,300	16,600	15,200	10,000	18,100	21,900	18,000	37,600	50,100	72,200	64,800
	小計（学費）	699,600	711,000	1,342,800	1,254,400	539,300	609,400	1,340,500	1,146,600	623,200	629,000	1,403,200	1,105,900	642,500	661,300	1,360,900	1,193,400
	食費	105,500	88,500	102,200	102,000	269,400	196,200	231,800	238,200	295,400	257,200	269,000	276,000	233,200	187,300	159,200	174,100
	住居・光熱費	232,200	241,200	340,700	314,400	492,900	445,100	455,500	466,000	320,100	259,100	154,900	190,400
	保健衛生費	32,400	38,300	36,500	36,100	28,300	30,400	35,700	33,900	34,100	37,600	38,100	36,800	33,200	37,600	36,900	36,300
	娯楽・嗜好費	122,900	131,000	135,700	134,200	128,500	107,400	111,200	114,700	141,100	144,400	156,800	151,100	134,500	137,600	140,800	139,500
	その他の日常費	129,700	132,300	142,200	140,500	158,500	129,700	155,600	155,300	156,800	161,300	169,900	165,200	148,200	148,500	151,200	150,500
	小計（生活費）	390,500	390,100	416,600	412,800	816,900	704,900	875,000	856,500	1,120,300	1,045,600	1,089,300	1,095,100	869,200	770,100	643,000	690,800
	計	1,090,100	1,101,100	1,759,400	1,667,200	1,356,200	1,314,300	2,215,500	2,003,100	1,743,500	1,674,600	2,492,500	2,201,000	1,511,700	1,431,400	2,003,900	1,884,200

1 - 2 表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学夜間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	233,800	312,400	449,700	389,300	313,000	-	605,400	536,600	541,400	458,600	704,800	634,500	385,800	373,400	549,900	494,600
	奨学金	209,700	218,400	336,200	299,400	517,100	-	450,600	466,300	420,900	530,700	514,300	480,200	328,900	348,700	406,700	381,400
	アルバイト	477,100	414,000	446,500	453,100	386,100	-	195,300	240,100	449,400	411,400	464,200	456,700	458,500	412,900	431,000	438,600
	定職収入・その他	449,800	562,200	396,100	416,100	50,500	-	79,100	72,300	218,000	182,300	517,800	393,200	315,300	403,700	410,300	381,600
	計	1,370,400	1,507,000	1,628,500	1,557,900	1,266,700	-	1,330,400	1,315,300	1,629,700	1,583,000	2,201,100	1,964,600	1,488,500	1,538,700	1,797,900	1,696,200
支 出	授業料	243,100	278,300	600,400	496,800	191,100	-	430,900	374,500	246,300	261,200	578,800	442,800	241,600	271,200	578,500	466,900
	その他の 学校納付金	7,000	18,600	52,300	39,500	9,900	-	27,500	23,400	4,600	4,900	54,700	34,100	6,000	12,900	51,000	36,200
	修学費	43,300	49,500	50,000	48,300	32,200	-	34,700	34,100	37,900	40,600	34,800	36,200	40,100	45,800	43,500	42,600
	課外活動費	24,200	21,600	26,100	25,400	36,200	-	49,000	46,000	36,700	14,100	31,400	32,700	30,900	18,400	29,900	29,800
	通学費	90,000	102,000	105,000	101,000	3,500	-	14,800	12,100	16,900	30,200	47,100	35,200	49,900	72,000	77,600	69,100
	小計（学費）	407,600	470,000	833,800	711,000	272,900	-	556,900	490,100	342,400	351,000	746,800	581,000	368,500	420,300	780,500	644,600
	食費	138,600	166,900	133,100	135,800	268,100	-	196,100	213,000	278,200	217,600	300,000	288,700	213,100	188,100	195,300	200,400
	住居・光熱費	212,600	-	302,100	281,000	473,700	431,200	541,300	511,900	239,500	179,900	210,200	217,900
	保健衛生費	45,800	54,100	41,600	43,200	46,900	-	39,700	41,400	35,100	29,000	41,000	38,300	40,700	43,600	41,200	41,200
	娯楽・嗜好費	168,900	169,800	135,800	145,500	119,400	-	119,200	119,200	146,700	127,100	147,700	146,500	155,400	152,000	138,400	144,000
	その他の日常費	335,600	331,900	296,000	307,500	187,100	-	112,300	129,900	210,100	166,300	213,100	210,200	266,800	262,800	252,000	256,800
	小計（生活費）	688,900	722,700	606,500	632,000	834,100	-	769,400	784,500	1,143,800	971,200	1,243,100	1,195,600	915,500	826,400	837,100	860,300
	計	1,096,500	1,192,700	1,440,300	1,343,000	1,107,000	-	1,326,300	1,274,600	1,486,200	1,322,200	1,989,900	1,776,600	1,284,000	1,246,700	1,617,600	1,504,900

1-3表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（短期大学昼間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	…	431,800	836,700	823,700	…	456,300	1,262,900	1,213,700	…	738,000	1,221,800	1,160,000	…	575,800	932,500	913,900
	奨学金	…	250,300	356,200	352,800	…	516,600	488,300	490,000	…	465,500	490,000	486,800	…	371,200	388,400	387,500
	アルバイト	…	250,600	321,700	319,400	…	167,300	144,800	146,100	…	197,700	274,100	264,300	…	219,500	301,500	297,200
	定職収入・その他	…	33,600	61,000	60,200	…	30,900	50,000	48,800	…	35,300	122,600	111,400	…	34,100	71,000	69,200
	計	…	966,300	1,575,600	1,556,100	…	1,171,100	1,946,000	1,898,600	…	1,436,500	2,108,500	2,022,500	…	1,200,600	1,693,400	1,667,800
支 出	授業料	…	379,300	811,500	797,600	…	357,300	805,500	778,100	…	378,100	808,600	753,700	…	377,000	810,600	787,900
	その他の 学校納付金	…	45,800	178,300	174,000	…	54,600	205,800	196,600	…	50,400	155,000	141,600	…	48,600	176,000	169,400
	修学費	…	44,500	49,300	49,100	…	37,700	64,900	63,200	…	39,300	49,900	48,500	…	41,500	50,400	50,000
	課外活動費	…	10,100	7,200	7,300	…	10,600	9,000	9,100	…	7,900	8,700	8,600	…	9,200	7,600	7,600
	通学費	…	84,000	93,400	93,100	…	10,100	14,200	14,000	…	7,900	24,700	22,600	…	42,900	76,100	74,400
	小計（学費）	…	563,700	1,139,700	1,121,100	…	470,300	1,099,400	1,061,000	…	483,600	1,046,900	975,000	…	519,200	1,120,700	1,089,300
	食費	…	52,700	70,500	69,900	…	164,400	207,100	204,500	…	190,500	201,900	200,500	…	125,500	102,600	103,800
	住居・光熱費	…	…	…	…	…	160,400	282,900	275,400	…	394,900	421,900	418,500	…	195,900	92,700	98,000
	保健衛生費	…	32,000	35,200	35,100	…	25,300	29,400	29,200	…	28,000	34,400	33,600	…	29,600	34,700	34,400
	娯楽・し好費	…	96,200	116,000	115,400	…	103,900	122,200	121,100	…	107,800	125,900	123,600	…	102,200	118,200	117,300
	その他の日常費	…	131,500	139,700	139,500	…	128,300	162,600	160,500	…	141,400	161,200	158,700	…	135,900	145,000	144,500
	小計（生活費）	…	312,400	361,400	359,900	…	582,300	804,200	790,700	…	862,600	945,300	934,900	…	589,100	493,200	498,000
	計	…	876,100	1,501,100	1,481,000	…	1,052,600	1,903,600	1,851,700	…	1,346,200	1,992,200	1,909,900	…	1,108,300	1,613,900	1,587,300

1-4表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（短期大学夜間部）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	...	110,600	417,700	353,700	...	-	497,500	497,500	...	359,500	633,700	542,900	...	217,300	480,000	416,700
	奨学金	...	116,300	349,100	300,600	...	-	175,000	175,000	...	221,500	503,700	410,200	...	161,300	385,000	331,200
	アルバイト	...	274,500	528,500	475,600	...	-	278,800	278,800	...	488,400	518,600	508,600	...	366,200	516,500	480,300
	定職収入・その他	...	770,700	128,300	262,200	...	-	393,500	393,500	...	117,400	223,100	188,100	...	490,700	164,200	242,800
	計	...	1,272,100	1,423,600	1,392,100	...	-	1,344,800	1,344,800	...	1,186,800	1,879,100	1,649,800	...	1,235,500	1,545,700	1,471,000
支 出	授業料	...	168,000	612,300	519,700	...	-	676,300	676,300	...	141,500	642,800	476,800	...	156,600	623,100	510,800
	その他の 学校納付金	...	13,900	48,600	41,400	...	-	110,000	110,000	...	10,600	60,600	44,100	...	12,500	54,200	44,100
	修学費	...	29,900	50,900	46,500	...	-	7,500	7,500	...	36,000	29,000	31,300	...	32,500	43,300	40,700
	課外活動費	...	2,200	8,700	7,400	...	-	-	-	...	5,800	7,700	7,100	...	3,700	8,100	7,100
	通学費	...	56,900	114,600	102,600	...	-	12,000	12,000	...	10,000	27,300	21,600	...	36,800	86,800	74,800
	小計（学費）	...	270,900	835,100	717,600	...	-	805,800	805,800	...	203,900	767,400	580,900	...	242,100	815,500	677,500
	食費	...	161,800	91,800	106,400	...	-	111,300	111,300	...	239,800	188,000	205,200	...	195,200	118,900	137,300
	住居・光熱費	-	167,500	167,500	...	362,300	341,300	348,300	...	155,300	99,900	113,200
	保健衛生費	...	63,100	33,800	39,900	...	-	18,400	18,400	...	31,700	27,900	29,100	...	49,700	31,600	35,900
	娯楽・し好費	...	95,600	130,000	122,900	...	-	49,800	49,800	...	91,000	138,200	122,600	...	93,600	129,300	120,700
	その他の日常費	...	449,600	182,800	238,400	...	-	56,500	56,500	...	125,000	186,000	165,800	...	310,500	178,900	210,600
	小計（生活費）	...	770,100	438,400	507,600	...	-	403,500	403,500	...	849,800	881,400	871,000	...	804,300	558,600	617,700
	計	...	1,041,000	1,273,500	1,225,200	...	-	1,209,300	1,209,300	...	1,053,700	1,648,800	1,451,900	...	1,046,400	1,374,100	1,295,200

1-5表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院修士課程）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	526,600	396,100	758,800	627,400	651,300	603,300	1,181,300	744,500	1,114,600	860,900	1,362,500	1,157,300	915,400	653,800	1,009,800	930,100
	奨学金	332,600	411,600	462,200	398,600	554,700	499,100	621,000	563,000	485,800	555,900	505,200	494,300	442,500	492,600	482,800	458,700
	アルバイト	295,300	263,900	335,900	312,300	216,700	150,600	254,000	218,900	257,800	295,800	315,500	273,400	267,300	276,100	326,000	286,900
	定職収入・その他	206,300	555,500	358,300	300,300	186,700	224,500	185,300	189,100	90,100	311,000	358,000	165,000	129,700	410,400	354,600	219,900
	計	1,360,800	1,627,100	1,915,200	1,638,600	1,609,400	1,477,500	2,241,600	1,715,500	1,948,300	2,023,600	2,541,200	2,090,000	1,754,900	1,832,900	2,173,200	1,895,600
支 出	授業料	489,400	525,300	889,800	680,000	424,200	430,600	890,400	509,600	488,500	500,500	871,800	577,900	485,800	508,000	882,600	616,100
	その他の 学校納付金	9,700	15,200	70,100	38,500	8,300	22,000	36,000	14,300	10,700	10,700	70,600	24,600	10,300	13,100	69,600	29,700
	修学費	49,200	53,800	60,100	54,600	62,100	74,600	79,200	66,000	40,200	50,800	58,900	45,200	43,900	53,100	60,000	49,700
	課外活動費	21,400	16,300	17,600	19,300	19,200	14,200	13,900	17,900	19,100	19,200	20,400	19,400	19,800	17,800	18,600	19,300
	通学費	106,100	116,200	115,000	110,900	16,700	13,000	31,100	19,100	18,800	35,300	30,700	22,500	45,100	68,500	79,400	57,700
	小計（学費）	675,800	726,800	1,152,600	903,300	530,500	554,400	1,050,600	626,900	577,300	616,500	1,052,400	689,600	604,900	660,500	1,110,200	772,500
	食費	155,100	152,900	163,100	158,700	353,000	262,800	317,700	340,200	356,000	331,400	348,200	352,700	295,000	253,100	240,600	274,800
	住居・光熱費	214,500	190,700	514,300	267,400	576,200	530,900	583,900	575,400	385,200	292,400	245,000	334,000
	保健衛生費	39,500	46,900	45,300	42,700	40,400	35,900	48,200	41,500	37,500	43,900	42,600	39,000	38,200	44,800	44,300	40,600
	娯楽・嗜好費	144,000	154,000	146,100	145,600	145,000	99,200	132,500	139,600	143,700	137,100	154,800	145,900	143,900	142,600	149,300	145,600
	その他の日常費	184,200	293,900	218,900	207,600	187,600	182,300	180,900	186,000	174,900	230,300	219,400	188,400	178,300	255,100	218,300	196,000
	小計（生活費）	522,800	647,700	573,400	554,600	940,500	770,900	1,193,600	974,700	1,288,300	1,273,600	1,348,900	1,301,400	1,040,600	988,000	897,500	991,000
	計	1,198,600	1,374,500	1,726,000	1,457,900	1,471,000	1,325,300	2,244,200	1,601,600	1,865,600	1,890,100	2,401,300	1,991,000	1,645,500	1,648,500	2,007,700	1,763,500

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

1-6表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院博士課程）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	228,300	161,400	294,000	248,000	166,100	374,500	590,400	226,800	410,700	393,400	603,000	447,700	348,800	313,700	454,800	373,100
	奨学金	752,400	470,200	618,700	688,500	1,157,500	638,900	481,000	1,051,100	1,096,600	831,200	698,500	1,003,400	1,003,900	701,400	656,300	901,100
	アルバイト	779,600	656,500	696,800	742,900	423,700	217,700	687,000	444,200	639,500	1,004,100	903,100	711,500	668,300	857,400	800,400	711,500
	定職収入・その他	1,146,100	2,263,900	1,340,600	1,279,600	201,000	611,500	1,338,000	356,100	644,900	1,201,200	1,373,600	819,200	763,400	1,541,900	1,357,100	953,500
	計	2,906,400	3,552,000	2,950,100	2,959,000	1,948,300	1,842,600	3,096,400	2,078,200	2,791,700	3,429,900	3,578,200	2,981,800	2,784,400	3,414,400	3,268,600	2,939,200
支 出	授業料	452,100	495,300	624,700	516,400	318,800	394,000	533,700	348,000	389,000	470,400	610,900	437,300	403,200	476,100	616,100	459,900
	その他の 学校納付金	7,800	4,100	47,200	21,700	400	100	47,200	5,900	4,300	7,200	43,600	12,200	5,100	5,900	45,400	15,100
	修学費	140,100	148,500	136,300	139,200	119,200	111,400	71,000	113,200	108,700	97,400	115,000	109,300	117,900	115,300	124,400	119,400
	課外活動費	20,100	32,000	30,400	24,500	18,600	13,300	8,600	17,100	24,800	19,000	26,300	24,800	23,200	23,200	28,000	24,400
	通学費	111,900	97,700	114,700	112,100	31,700	15,500	39,000	31,800	32,700	45,500	64,500	39,700	54,600	62,200	88,100	63,300
	小計（学費）	732,000	777,600	953,300	813,900	488,700	534,300	699,500	516,000	559,500	639,500	860,300	623,300	604,000	682,700	902,000	682,100
	食費	301,900	318,600	289,300	298,300	458,500	316,500	392,800	443,500	446,100	499,800	479,600	455,600	406,600	431,500	386,900	403,100
	住居・光熱費	244,600	184,200	387,500	258,300	688,100	735,100	744,400	701,800	476,700	464,900	381,400	452,400
	保健衛生費	71,000	92,600	70,200	71,900	56,000	41,800	48,200	54,300	62,000	73,600	69,700	64,200	64,200	78,900	69,600	66,400
	娯楽・嗜好費	280,800	222,500	234,700	260,900	166,500	136,700	181,400	166,800	206,000	276,100	264,200	221,300	224,900	252,800	248,500	232,300
	その他の日常費	503,100	712,600	472,500	504,100	273,600	216,400	427,400	288,800	361,600	441,600	407,900	375,100	396,800	525,700	439,200	414,400
	小計（生活費）	1,156,800	1,346,300	1,066,700	1,135,200	1,199,200	895,600	1,437,300	1,211,700	1,763,800	2,026,200	1,965,800	1,818,000	1,569,200	1,753,800	1,525,600	1,568,600
	計	1,888,800	2,123,900	2,020,000	1,949,100	1,687,900	1,429,900	2,136,800	1,727,700	2,323,300	2,665,700	2,826,100	2,441,300	2,173,200	2,436,500	2,427,600	2,250,700

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

1-7表 居住形態別・収入平均額及び学生生活費の内訳（大学院専門職学位課程）

（単位：円）

区分	自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	国 立	公 立	私 立	平 均	
収 入	家庭からの給付	587,300	232,100	688,900	639,800	359,900	685,100	874,200	576,900	1,107,100	708,700	1,176,600	1,129,100	861,200	456,400	890,200	862,300
	奨学金	257,400	462,200	492,000	420,500	619,800	278,900	1,605,000	960,600	488,100	483,700	693,800	588,600	413,600	449,700	612,200	527,300
	アルバイト	178,500	248,100	113,500	138,500	92,400	140,100	143,600	115,200	142,100	203,500	150,500	148,000	151,700	219,800	129,300	141,600
	定職収入・その他	921,300	2,180,900	1,873,000	1,600,600	831,300	239,600	5,900	477,400	595,600	1,614,200	1,278,600	960,100	732,200	1,758,300	1,569,200	1,244,300
	計	1,944,500	3,123,300	3,167,400	2,799,400	1,903,400	1,343,700	2,628,700	2,130,100	2,332,900	3,010,100	3,299,500	2,825,800	2,158,700	2,884,200	3,200,900	2,775,500
支 出	授業料	556,000	483,800	1,112,600	920,200	358,800	494,000	1,086,800	640,700	560,300	481,700	1,051,400	798,100	543,600	484,200	1,087,200	848,700
	その他の 学校納付金	15,800	37,700	76,300	56,600	21,300	-	113,400	54,000	16,900	600	81,200	47,800	16,800	20,000	79,600	52,400
	修学費	85,100	113,200	104,200	98,800	108,100	45,700	127,600	110,500	88,700	111,100	88,500	89,300	88,800	105,000	98,700	95,000
	課外活動費	10,800	16,700	15,300	14,000	24,200	12,900	1,700	14,900	14,600	63,000	15,600	16,500	14,000	33,200	14,900	15,200
	通学費	113,200	134,800	108,500	111,000	22,800	28,600	24,300	23,800	28,300	100,200	55,400	43,700	58,900	110,400	84,300	75,200
	小計（学費）	780,900	786,200	1,416,900	1,200,600	535,200	581,200	1,353,800	843,900	708,800	756,600	1,292,100	995,400	722,100	752,800	1,364,700	1,086,500
	食費	195,100	232,400	288,400	258,200	376,900	268,600	354,100	360,000	370,200	353,300	418,100	393,100	306,700	280,600	342,500	326,000
	住居・光熱費	192,900	130,900	414,100	270,600	595,700	775,800	694,500	649,400	347,900	297,800	292,000	314,400
	保健衛生費	49,500	58,100	63,200	58,900	51,100	37,000	45,200	47,800	48,000	107,900	61,300	56,300	48,800	74,000	61,800	57,100
	娯楽・嗜好費	156,300	112,800	225,300	200,000	164,500	117,100	94,700	134,800	136,700	161,000	181,500	159,300	145,900	130,900	203,100	177,700
	その他の日常費	294,000	627,800	490,100	437,000	353,200	189,700	180,700	276,200	276,100	369,100	340,500	310,400	288,400	484,700	419,400	369,900
	小計（生活費）	694,900	1,031,100	1,067,000	954,100	1,138,600	743,300	1,088,800	1,089,400	1,426,700	1,767,100	1,695,900	1,568,500	1,137,700	1,268,000	1,318,800	1,245,100
	計	1,475,800	1,817,300	2,483,900	2,154,700	1,673,800	1,324,500	2,442,600	1,933,300	2,135,500	2,523,700	2,988,000	2,563,900	1,859,800	2,020,800	2,683,500	2,331,600

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

2表 居住形態別・地域別学生生活費の内訳

(単位：円)

区分		自 宅				学 寮				下宿、アパート、その他				平 均				
		国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	国立	公立	私立	平均	
大学	昼間部	東京圏	1,157,300	1,142,900	1,847,300	1,820,100	1,709,700	1,545,000	2,189,200	2,160,200	1,938,400	1,925,900	2,657,900	2,595,200	1,564,000	1,457,200	2,089,000	2,059,900
		京阪神	1,092,400	1,128,700	1,728,000	1,651,700	1,506,500	1,273,300	1,777,300	1,708,500	1,920,900	1,812,800	2,336,700	2,217,800	1,521,300	1,391,300	1,883,100	1,816,600
		その他	1,077,100	1,091,400	1,661,800	1,519,800	1,293,700	1,320,700	2,375,900	1,970,900	1,710,100	1,653,200	2,388,900	2,018,200	1,504,500	1,434,800	1,956,500	1,775,400
		全 国	1,090,100	1,101,100	1,759,400	1,667,200	1,356,200	1,314,300	2,215,500	2,003,100	1,743,500	1,674,600	2,492,500	2,201,000	1,511,700	1,431,400	2,003,900	1,884,200
短期大学	昼間部	東京圏	...	897,700	1,592,600	1,588,400	...	-	2,212,000	2,212,000	...	1,747,000	2,191,400	2,187,900	...	1,088,800	1,733,500	1,729,600
		京阪神	...	-	1,552,700	1,552,700	...	-	1,792,800	1,792,800	...	-	2,012,700	2,012,700	...	-	1,634,200	1,634,200
		その他	...	875,300	1,453,100	1,424,500	...	1,052,600	1,838,300	1,772,200	...	1,341,100	1,914,800	1,808,800	...	1,108,900	1,564,900	1,528,600
		全 国	...	876,100	1,501,100	1,481,000	...	1,052,600	1,903,600	1,851,700	...	1,346,200	1,992,200	1,909,900	...	1,108,300	1,613,900	1,587,300
大学院	修士課程	東京圏	1,253,900	1,389,700	1,743,600	1,614,000	1,562,700	1,864,000	2,377,700	1,863,200	2,130,100	2,311,500	2,513,000	2,357,800	1,727,800	1,761,700	2,047,500	1,938,900
		京阪神	1,204,900	1,334,100	1,744,300	1,407,800	1,582,900	1,222,700	1,874,000	1,522,200	1,948,300	1,921,900	2,289,500	1,998,900	1,705,500	1,579,500	1,956,800	1,752,200
		その他	1,173,900	1,390,300	1,660,000	1,316,600	1,415,600	1,453,400	2,158,500	1,510,500	1,788,000	1,848,400	2,213,300	1,840,100	1,605,300	1,661,300	1,931,800	1,660,800
		全 国	1,198,600	1,374,500	1,726,000	1,457,900	1,471,000	1,325,300	2,244,200	1,601,600	1,865,600	1,890,100	2,401,300	1,991,000	1,645,500	1,648,500	2,007,700	1,763,500
	博士課程	東京圏	1,621,000	1,790,500	2,020,700	1,858,600	1,925,500	1,100,000	2,335,900	2,025,300	2,345,100	2,781,100	2,875,000	2,580,500	2,075,000	2,260,500	2,427,500	2,252,000
		京阪神	1,898,700	1,923,100	1,951,500	1,912,700	1,531,400	1,509,000	1,689,800	1,545,900	2,338,700	3,020,200	2,517,700	2,406,200	2,208,200	2,552,800	2,247,900	2,241,700
		その他	2,043,900	2,349,900	2,061,700	2,070,700	1,633,300	1,411,900	1,917,900	1,639,500	2,307,700	2,488,000	2,862,100	2,376,400	2,200,900	2,411,200	2,527,100	2,254,000
		全 国	1,888,800	2,123,900	2,020,000	1,949,100	1,687,900	1,429,900	2,136,800	1,727,700	2,323,300	2,665,700	2,826,100	2,441,300	2,173,200	2,436,500	2,427,600	2,250,700
	専門職学位課程	東京圏	1,530,100	1,633,700	2,552,300	2,380,800	1,494,600	-	2,422,800	2,303,300	2,483,000	2,859,000	3,177,700	3,010,800	2,081,400	2,164,800	2,806,000	2,657,400
		京阪神	1,442,400	1,632,400	2,214,900	1,920,700	1,540,000	1,210,000	3,000,000	1,541,700	2,176,400	1,783,300	2,489,600	2,275,800	1,888,200	1,584,500	2,326,300	2,070,600
		その他	1,470,300	2,646,300	2,567,000	1,942,500	1,799,600	1,610,500	-	1,786,400	1,949,100	2,797,700	2,689,800	2,112,400	1,750,400	2,499,200	2,608,400	2,012,600
		全 国	1,475,800	1,817,300	2,483,900	2,154,700	1,673,800	1,324,500	2,442,600	1,933,300	2,135,500	2,523,700	2,988,000	2,563,900	1,859,800	2,020,800	2,683,500	2,331,600

(注) 「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

大学院については、「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-1表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学昼間部）

（単位：％）

区分	家庭の年間収入																計	平均年間 収入額 千円
	200 万円 未満	200 ～ 300	300 ～ 400	400 ～ 500	500 ～ 600	600 ～ 700	700 ～ 800	800 ～ 900	900 ～ 1,000	1,000 ～ 1,100	1,100 ～ 1,200	1,200 ～ 1,300	1,300 ～ 1,400	1,400 ～ 1,500	1,500 万円 以上			
男	国立	5.6	4.4	6.2	6.9	8.9	10.3	9.7	10.6	8.0	9.4	4.1	3.8	2.4	1.6	8.1	100.0	8,320
	公立	7.8	5.0	8.8	10.0	9.9	12.3	10.3	10.1	6.0	7.4	3.2	2.2	1.6	1.1	4.4	100.0	7,160
	私立	5.6	5.2	7.1	8.1	10.3	11.6	10.7	9.3	6.9	8.2	3.2	3.1	1.9	1.3	7.3	100.0	8,490
女	国立	5.4	5.0	5.8	6.8	8.3	8.6	10.8	11.6	9.0	8.5	3.8	4.0	2.4	1.9	8.1	100.0	8,540
	公立	6.3	5.3	7.5	9.1	11.0	11.4	12.2	9.5	7.2	7.2	3.3	2.6	1.9	1.1	4.4	100.0	7,380
	私立	5.2	5.2	7.0	8.2	9.3	10.0	11.1	10.0	7.7	8.6	3.8	3.4	2.1	1.6	7.1	100.0	8,200
平均	国立	5.5	(10.1) 4.6	(16.1) 6.0	(23.0) 6.9	(31.7) 8.7	(41.3) 9.6	(51.4) 10.1	(62.4) 11.0	(70.8) 8.4	(79.9) 9.1	(83.9) 4.0	(87.8) 3.9	(90.2) 2.4	(91.9) 1.7	(100.0) 8.1	100.0	8,410
	公立	6.9	(12.1) 5.2	(20.1) 8.0	(29.5) 9.4	(40.1) 10.6	(51.8) 11.7	(63.2) 11.4	(72.9) 9.7	(79.7) 6.8	(87.0) 7.3	(90.2) 3.2	(92.7) 2.5	(94.5) 1.8	(95.6) 1.1	(100.0) 4.4	100.0	7,300
	私立	5.4	(10.6) 5.2	(17.7) 7.1	(25.8) 8.1	(35.6) 9.8	(46.4) 10.8	(57.3) 10.9	(67.0) 9.7	(74.3) 7.3	(82.7) 8.4	(86.2) 3.5	(89.4) 3.2	(91.4) 2.0	(92.8) 1.4	(100.0) 7.2	100.0	8,340
	平均	5.5	(10.6) 5.1	(17.5) 6.9	(25.5) 8.0	(35.1) 9.6	(45.7) 10.6	(56.5) 10.8	(66.4) 9.9	(73.9) 7.5	(82.3) 8.4	(85.9) 3.6	(89.2) 3.3	(91.3) 2.1	(92.8) 1.5	(100.0) 7.2	100.0	8,300

（注）（ ）は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

3-2表 家庭の年間収入別学生数の割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分	家庭の年間収入																計	平均年間 収入額 千円
	200 万円 未満	200 ～ 300	300 ～ 400	400 ～ 500	500 ～ 600	600 ～ 700	700 ～ 800	800 ～ 900	900 ～ 1,000	1,000 ～ 1,100	1,100 ～ 1,200	1,200 ～ 1,300	1,300 ～ 1,400	1,400 ～ 1,500	1,500 万円 以上			
男	国立
	公立	16.3	6.7	11.1	11.1	18.5	14.8	8.1	1.5	3.7	2.2	0.7	-	-	-	5.2	100.0	6,080
	私立	12.6	7.9	11.6	14.4	11.6	11.6	7.2	6.1	6.1	4.3	1.8	1.4	0.7	0.4	2.2	100.0	5,590
女	国立
	公立	8.8	8.2	10.1	12.7	13.2	14.3	11.5	8.1	4.7	3.7	1.8	0.4	0.8	0.2	1.5	100.0	5,920
	私立	8.4	6.7	10.7	12.0	12.1	12.6	10.5	9.3	6.2	4.7	1.9	1.4	1.1	0.4	1.8	100.0	6,270
平均	国立
	公立	9.5	(17.6) 8.1	(27.8) 10.2	(40.3) 12.5	(54.0) 13.7	(68.4) 14.4	(79.6) 11.2	(87.1) 7.5	(91.7) 4.6	(95.3) 3.6	(97.0) 1.7	(97.3) 0.3	(98.0) 0.7	(98.2) 0.2	(100.0) 1.8	100.0	5,940
	私立	8.8	(15.6) 6.8	(26.4) 10.8	(38.7) 12.3	(50.8) 12.1	(63.3) 12.5	(73.5) 10.2	(82.5) 9.0	(88.7) 6.2	(93.4) 4.7	(95.3) 1.9	(96.7) 1.4	(97.8) 1.1	(98.2) 0.4	(100.0) 1.8	100.0	6,200
	平均	8.8	(15.7) 6.9	(26.5) 10.8	(38.8) 12.3	(51.0) 12.2	(63.6) 12.6	(73.9) 10.3	(82.8) 8.9	(88.9) 6.1	(93.5) 4.6	(95.4) 1.9	(96.8) 1.4	(97.8) 1.0	(98.2) 0.4	(100.0) 1.8	100.0	6,190

（注）（ ）は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

3-3表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院修士課程）

(単位：%)

区分	家庭の年間収入																(参考)	
	200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	平均年間収入額	
男	国立	5.5	4.6	5.9	7.3	8.5	9.2	10.1	10.8	8.2	9.7	4.6	4.0	2.3	2.3	7.2	100.0	千円 8,270
	公立	6.4	7.4	8.9	10.0	10.2	10.9	10.9	10.6	6.5	6.8	2.1	2.5	1.8	2.1	2.9	100.0	6,720
	私立	4.9	4.7	5.6	8.6	8.5	9.7	9.3	8.6	7.5	10.2	3.8	4.4	3.4	1.3	9.5	100.0	8,850
女	国立	7.0	5.2	6.8	7.9	6.8	8.7	8.6	10.1	7.4	8.2	5.6	3.9	2.5	1.6	9.9	100.0	8,660
	公立	11.6	6.9	11.3	11.3	9.2	11.1	9.9	5.7	6.1	4.5	2.1	2.1	1.9	0.9	5.2	100.0	6,460
	私立	9.0	6.7	8.1	7.4	7.4	8.7	7.6	8.7	6.5	8.8	4.3	3.2	2.9	1.4	9.4	100.0	8,250
平均	国立		(10.6)	(16.7)	(24.1)	(32.2)	(41.3)	(51.1)	(61.7)	(69.7)	(79.0)	(83.8)	(87.8)	(90.1)	(92.2)	(100.0)		
	公立	5.9	4.7	6.1	7.4	8.1	9.1	9.8	10.6	8.0	9.3	4.8	4.0	2.3	2.1	7.8	100.0	8,370
	私立	8.3	(15.5)	(25.3)	(35.8)	(45.6)	(56.5)	(67.0)	(75.8)	(82.2)	(88.2)	(90.3)	(92.7)	(94.5)	(96.2)	(100.0)		
	平均	6.4	5.4	6.5	8.2	8.1	9.3	8.7	8.6	7.1	9.7	4.0	4.0	3.2	1.4	9.4	100.0	8,640
平均	6.2	(11.3)	(17.7)	(25.6)	(33.8)	(43.1)	(52.5)	(62.4)	(70.0)	(79.2)	(83.6)	(87.5)	(90.1)	(91.9)	(100.0)			
平均	6.2	5.1	6.4	7.9	8.2	9.3	9.4	9.9	7.6	9.2	4.4	3.9	2.6	1.8	8.1	100.0	8,350	

(注) () は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-4表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院博士課程）

(単位：%)

区分	家庭の年間収入																(参考)	
	200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上	計	平均年間収入額	
男	国立	12.6	16.4	8.2	7.4	7.0	8.2	7.1	6.6	4.3	7.2	2.9	2.7	1.4	1.4	6.5	100.0	千円 6,570
	公立	12.2	10.7	8.4	8.4	5.7	9.9	5.7	7.3	4.6	9.5	2.7	4.2	1.1	0.8	8.8	100.0	6,910
	私立	10.7	6.8	8.3	8.0	7.8	8.7	6.1	7.3	3.1	8.9	2.8	3.8	1.8	1.4	14.6	100.0	9,600
女	国立	12.1	14.8	9.0	9.3	7.6	7.5	7.3	5.2	4.1	6.3	1.4	2.8	2.4	1.2	8.9	100.0	7,120
	公立	17.0	7.8	5.9	11.8	13.7	5.9	8.5	4.6	4.6	4.6	1.3	1.3	1.3	0.7	11.1	100.0	6,800
	私立	10.5	8.2	8.9	8.0	8.9	9.7	5.9	6.8	3.3	8.3	2.4	3.8	1.4	0.9	12.9	100.0	8,980
平均	国立		(28.5)	(36.9)	(44.8)	(52.0)	(60.0)	(67.2)	(73.4)	(77.6)	(84.6)	(87.1)	(89.8)	(91.5)	(92.9)	(100.0)		
	公立	12.5	16.0	8.4	7.9	7.2	8.0	7.2	6.2	4.2	7.0	2.5	2.7	1.7	1.4	7.1	100.0	6,710
	私立	14.0	(23.6)	(31.1)	(40.7)	(49.4)	(57.8)	(64.6)	(70.9)	(75.5)	(83.2)	(85.4)	(88.5)	(89.7)	(90.4)	(100.0)		
	平均	10.6	7.3	8.5	8.0	8.2	9.1	6.0	7.1	3.2	8.7	2.7	3.8	1.7	1.2	13.9	100.0	9,370
平均	12.1	13.5	8.4	8.0	7.5	8.3	6.9	6.5	4.0	7.4	2.5	3.0	1.7	1.3	8.9	100.0	7,370	

(注) () は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

3-5表 家庭の年間収入別学生数の割合（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区分	家庭の年間収入																計	平均年間 収入額 千円
	200 万円 未満	200 ～ 300	300 ～ 400	400 ～ 500	500 ～ 600	600 ～ 700	700 ～ 800	800 ～ 900	900 ～ 1,000	1,000 ～ 1,100	1,100 ～ 1,200	1,200 ～ 1,300	1,300 ～ 1,400	1,400 ～ 1,500	1,500 万円 以上			
男	国立	12.6	6.0	7.8	7.8	8.5	8.7	8.1	10.1	5.8	6.4	3.1	4.7	2.1	1.0	7.4	100.0	7,310
	公立	9.5	14.3	14.3	7.1	9.5	2.4	11.9	7.1	4.8	4.8	2.4	7.1	2.4	-	2.4	100.0	6,130
	私立	13.0	4.6	7.9	6.2	9.7	10.1	6.4	8.1	5.8	9.1	2.7	2.5	1.7	1.5	10.6	100.0	8,380
女	国立	12.2	4.7	8.8	7.8	8.4	10.6	4.4	5.9	6.6	8.1	2.2	4.1	2.5	2.5	11.3	100.0	7,820
	公立	15.0	-	15.0	10.0	10.0	30.0	5.0	5.0	5.0	5.0	-	-	-	-	-	100.0	5,080
	私立	12.5	5.4	8.2	7.2	9.0	7.5	10.4	7.2	4.7	8.2	1.4	3.2	1.1	1.4	12.5	100.0	8,440
平均	国立		(17.9)	(26.0)	(33.8)	(42.3)	(51.7)	(58.4)	(66.9)	(73.0)	(80.1)	(82.8)	(87.2)	(89.5)	(91.1)	(100.0)		
	公立	12.4	5.5	8.1	7.8	8.5	9.4	6.7	8.5	6.1	7.1	2.7	4.4	2.3	1.6	8.9	100.0	7,500
	私立	11.3	(21.0)	(35.5)	(43.6)	(53.3)	(64.6)	(74.3)	(80.8)	(85.6)	(90.4)	(92.0)	(96.8)	(98.4)	(98.4)	(100.0)		
	平均	12.8	9.7	14.5	8.1	9.7	11.3	9.7	6.5	4.8	4.8	1.6	4.8	1.6	-	1.6	100.0	5,790
平均	12.6	4.9	8.0	6.5	9.4	9.2	7.8	7.8	5.4	8.8	2.3	2.8	1.5	1.5	11.3	100.0	8,400	
平均	12.6	5.3	8.3	7.1	9.1	9.4	7.4	8.0	5.7	7.9	2.4	3.5	1.8	1.5	10.0	100.0	7,940	

（注）（ ）は、家庭の収入階層別学生数の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

4-1表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	47.8	16.2	11.8	4.1	79.9	20.1	100.0
	女	53.9	15.5	12.9	4.9	87.3	12.7	100.0
	平均	50.2	15.9	12.2	4.4	82.8	17.2	100.0
公立	男	44.8	16.6	16.3	5.4	83.1	16.9	100.0
	女	50.5	17.3	15.7	6.2	89.7	10.3	100.0
	平均	48.3	17.0	16.0	5.9	87.1	12.9	100.0
私立	男	45.1	15.4	16.0	4.3	80.8	19.2	100.0
	女	48.6	16.5	16.6	4.5	86.2	13.8	100.0
	平均	46.9	16.0	16.3	4.4	83.5	16.5	100.0
平均	男	45.7	15.6	15.1	4.3	80.7	19.3	100.0
	女	49.4	16.4	16.1	4.6	86.5	13.5	100.0
	平均	47.5	16.0	15.6	4.4	83.6	16.4	100.0

4-2表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男
	女
	平均
公立	男	35.5	11.9	16.5	7.3	71.1	28.9	100.0
	女	41.2	18.1	12.2	7.2	78.7	21.3	100.0
	平均	40.7	17.5	12.6	7.2	78.0	22.0	100.0
私立	男	36.8	13.2	14.5	6.8	71.3	28.7	100.0
	女	47.1	16.8	14.9	5.6	84.4	15.6	100.0
	平均	46.1	16.4	14.9	5.7	83.1	16.9	100.0
平均	男	36.7	13.2	14.6	6.8	71.3	28.7	100.0
	女	46.8	16.9	14.8	5.7	84.1	15.9	100.0
	平均	45.8	16.5	14.7	5.8	82.9	17.1	100.0

4-3表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院修士課程）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	39.6	19.5	16.6	6.0	81.7	18.3	100.0
	女	41.2	18.5	13.9	10.9	84.5	15.5	100.0
	平均	40.0	19.3	15.9	7.2	82.4	17.6	100.0
公立	男	33.8	17.5	16.6	12.5	80.4	19.6	100.0
	女	29.7	13.4	13.4	16.1	72.6	27.4	100.0
	平均	32.3	16.0	15.4	13.9	77.5	22.5	100.0
私立	男	42.3	18.4	16.8	6.1	83.7	16.3	100.0
	女	38.1	15.6	15.1	12.7	81.4	18.6	100.0
	平均	40.8	17.4	16.2	8.5	82.9	17.1	100.0
平均	男	40.1	19.1	16.6	6.4	82.2	17.8	100.0
	女	39.0	16.9	14.4	12.0	82.3	17.7	100.0
	平均	39.8	18.5	16.0	8.0	82.3	17.7	100.0

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

4-4表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院博士課程）

（単位：％）

区分		家庭からの給付のみで修学可能	家庭からの給付のみでは修学に不自由	家庭からの給付のみでは修学継続困難	家庭からの給付なし	計	アルバイト非従事者	合計
国立	男	17.0	10.0	15.1	28.3	70.4	29.6	100.0
	女	15.5	9.9	12.2	33.8	71.3	28.7	100.0
	平均	16.6	10.0	14.4	29.7	70.7	29.3	100.0
公立	男	14.7	11.3	16.8	31.9	74.7	25.3	100.0
	女	15.3	14.0	9.5	24.2	63.0	37.0	100.0
	平均	14.9	12.3	14.2	29.1	70.4	29.6	100.0
私立	男	23.2	11.2	13.2	26.6	74.2	25.8	100.0
	女	19.3	9.2	11.6	28.1	68.2	31.8	100.0
	平均	21.8	10.5	12.6	27.1	72.0	28.0	100.0
平均	男	18.3	10.4	14.8	28.1	71.5	28.5	100.0
	女	16.7	10.0	11.8	31.3	69.8	30.2	100.0
	平均	17.8	10.2	13.9	29.0	71.0	29.0	100.0

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

4-5表 家庭からの給付程度別・アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区 分		家庭からの給付 のみで修学可能	家庭からの給付 のみでは修学に 不自由	家庭からの給付 のみでは修学 継続困難	家庭からの給付 なし	計	アルバイト 非従事者	合 計
国 立	男	24.4	10.0	10.2	6.0	50.6	49.4	100.0
	女	26.2	9.2	9.8	6.6	51.8	48.2	100.0
	平均	25.1	9.7	10.0	6.3	51.1	48.9	100.0
公 立	男	4.6	11.3	13.5	20.6	50.0	50.0	100.0
	女	9.2	-	-	18.4	27.7	72.3	100.0
	平均	6.1	7.6	9.0	19.9	42.6	57.4	100.0
私 立	男	15.1	7.5	7.2	7.7	37.5	62.5	100.0
	女	18.7	9.5	8.5	4.8	41.5	58.5	100.0
	平均	16.3	8.2	7.6	6.7	38.9	61.1	100.0
平 均	男	18.2	8.6	8.6	7.6	43.0	57.0	100.0
	女	21.6	9.1	8.8	6.0	45.5	54.5	100.0
	平均	19.5	8.8	8.6	7.0	43.9	56.1	100.0

（注）「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。
「アルバイト」に「TA・RA」を含む。

5-1表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学昼間部）

（単位：％）

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	18.2	8.6	9.6	23.5	16.2	4.2	2.0	17.6	100.0	15.3
		週 に 1 ～ 2 日 し た	34.9	3.4	14.6	34.4	4.9	1.0	1.6	5.3	100.0	44.1
		週 に 3 日 以 上 し た	23.9	2.7	21.4	43.3	4.2	0.7	1.0	2.8	100.0	40.6
		平 均	27.9	3.9	16.6	36.3	6.3	1.4	1.4	6.2	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	24.0	8.0	11.9	21.9	14.7	3.0	1.4	15.1	100.0	20.9
		週 に 1 ～ 2 日 し た	36.8	3.8	12.8	33.8	4.2	1.4	2.0	5.2	100.0	24.8
		週 に 3 日 以 上 し た	25.2	2.2	20.2	42.1	5.2	0.9	1.2	3.1	100.0	54.3
		平 均	27.8	3.8	16.6	35.8	6.9	1.5	1.5	6.1	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	12.2	6.6	14.1	30.1	15.9	3.0	2.2	15.9	100.0	14.5
		週 に 1 ～ 2 日 し た	21.7	3.6	20.2	42.7	5.2	0.5	0.7	5.3	100.0	36.9
		週 に 3 日 以 上 し た	11.2	1.7	30.5	47.6	4.9	0.4	0.6	3.1	100.0	48.6
		平 均	15.2	3.1	24.3	43.3	6.6	0.8	0.9	5.8	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	16.2	5.6	14.0	30.7	14.0	3.4	1.4	14.7	100.0	17.6
		週 に 1 ～ 2 日 し た	25.5	3.1	16.7	40.0	6.7	0.5	1.6	5.8	100.0	16.6
		週 に 3 日 以 上 し た	11.8	2.5	29.2	46.6	5.0	0.6	0.5	3.7	100.0	65.8
		平 均	14.9	3.2	24.5	42.7	6.9	1.1	0.9	6.0	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	7.4	5.0	17.0	26.0	16.8	5.1	2.1	20.6	100.0	14.1
		週 に 1 ～ 2 日 し た	13.1	3.7	25.4	41.2	5.4	1.0	1.6	8.5	100.0	36.6
		週 に 3 日 以 上 し た	6.6	2.2	30.5	48.2	5.2	1.2	1.0	5.1	100.0	49.3
		平 均	9.1	3.1	26.7	42.5	6.9	1.7	1.4	8.5	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	8.0	4.6	16.5	27.8	16.3	4.9	2.0	19.9	100.0	17.4
		週 に 1 ～ 2 日 し た	13.9	4.4	24.1	37.9	6.5	1.1	1.8	10.2	100.0	14.7
		週 に 3 日 以 上 し た	7.9	2.3	29.6	46.3	5.5	1.4	1.2	5.7	100.0	67.9
		平 均	8.8	3.0	26.5	41.9	7.6	2.0	1.4	8.8	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	9.6	5.8	15.5	25.8	16.6	4.8	2.1	19.8	100.0	14.3
		週 に 1 ～ 2 日 し た	17.9	3.6	23.0	39.9	5.3	1.0	1.6	7.7	100.0	37.9
		週 に 3 日 以 上 し た	9.4	2.2	29.2	47.5	5.1	1.1	1.0	4.6	100.0	47.8
		平 均	12.7	3.3	24.9	41.5	6.8	1.6	1.4	8.0	100.0	100.0
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	11.6	5.3	15.5	26.8	15.9	4.5	1.8	18.7	100.0	18.0
		週 に 1 ～ 2 日 し た	20.3	4.2	20.9	37.0	5.9	1.2	1.9	8.7	100.0	16.5
		週 に 3 日 以 上 し た	10.6	2.3	28.2	45.8	5.5	1.3	1.2	5.2	100.0	65.5
		平 均	12.4	3.2	24.7	40.9	7.4	1.8	1.4	8.2	100.0	100.0

5-2表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（短期大学昼間部）

（単位：％）

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合	
国立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	
		週 に 3 日 以 上 し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	
		平 均	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
		週 に 1 ～ 2 日 し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
		週 に 3 日 以 上 し た	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
		平 均	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
公立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	4.3	4.3	21.6	34.3	12.2	0.6	2.2	20.7	100.0	15.3	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	4.7	1.2	26.1	57.9	4.4	0.8	-	4.8	100.0	39.8	
		週 に 3 日 以 上 し た	2.0	1.1	35.8	53.5	4.0	0.2	-	3.4	100.0	44.9	
		平 均	3.4	1.6	29.8	52.3	5.4	0.5	0.3	6.6	100.0	100.0	
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	4.6	2.5	19.5	44.4	9.9	1.3	1.3	16.6	100.0	21.4	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	4.1	0.6	24.1	58.1	5.7	1.0	-	6.3	100.0	17.3	
		週 に 3 日 以 上 し た	2.5	1.3	34.4	52.8	4.5	0.3	0.2	4.0	100.0	61.3	
		平 均	3.2	1.5	29.4	51.9	5.8	0.6	0.4	7.1	100.0	100.0	
私立	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	2.6	3.1	21.1	37.3	12.5	1.1	1.4	20.8	100.0	13.7	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	2.2	1.8	27.5	54.8	4.0	0.3	0.5	8.8	100.0	34.0	
		週 に 3 日 以 上 し た	0.8	1.0	30.5	58.6	3.3	0.8	0.7	4.3	100.0	52.3	
		平 均	1.5	1.6	28.2	54.4	4.8	0.7	0.7	8.1	100.0	100.0	
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	3.7	3.7	24.1	37.2	11.4	1.0	1.2	17.6	100.0	16.2	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	4.0	1.5	24.5	53.4	4.3	0.3	0.9	11.0	100.0	13.1	
		週 に 3 日 以 上 し た	0.8	1.1	29.0	58.2	3.9	0.6	0.7	5.8	100.0	70.8	
		平 均	1.7	1.6	27.6	54.2	5.1	0.6	0.8	8.4	100.0	100.0	
平均	授業 期間中	不 定 期 的 に し た	2.7	3.2	21.1	37.2	12.5	1.1	1.5	20.8	100.0	13.8	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	2.3	1.8	27.4	55.0	4.0	0.4	0.4	8.6	100.0	34.3	
		週 に 3 日 以 上 し た	0.9	1.0	30.7	58.4	3.3	0.8	0.6	4.3	100.0	52.0	
		平 均	1.6	1.6	28.3	54.3	4.8	0.7	0.7	8.0	100.0	100.0	
	長期 休暇中	不 定 期 的 に し た	3.8	3.7	23.8	37.6	11.3	1.0	1.2	17.6	100.0	16.4	
		週 に 1 ～ 2 日 し た	4.0	1.5	24.5	53.7	4.4	0.4	0.9	10.8	100.0	13.3	
		週 に 3 日 以 上 し た	0.9	1.1	29.2	58.0	3.9	0.6	0.7	5.8	100.0	70.3	
		平 均	1.8	1.6	27.7	54.1	5.2	0.6	0.8	8.4	100.0	100.0	

5-3表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院修士課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	23.5	10.3	8.0	13.4	14.4	2.7	8.7	18.9	100.0	26.8
		週に1～2日した	31.0	8.0	14.5	25.9	6.6	1.0	4.0	9.0	100.0	51.5
		週に3日以上した	24.0	4.4	19.8	32.7	6.2	1.3	4.2	7.5	100.0	21.7
		平均	27.5	7.8	13.9	24.0	8.6	1.5	5.3	11.3	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	22.2	10.4	9.3	14.6	16.4	2.9	8.0	16.2	100.0	27.6
		週に1～2日した	29.8	8.5	14.2	26.2	7.7	1.1	4.6	7.8	100.0	39.2
		週に3日以上した	27.1	4.2	18.8	31.5	5.3	1.2	3.8	8.0	100.0	33.2
		平均	26.8	7.6	14.4	24.8	9.3	1.7	5.3	10.2	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	15.0	5.4	9.7	13.4	11.3	2.7	11.3	31.2	100.0	24.7
		週に1～2日した	26.8	6.6	16.3	28.5	6.1	1.1	3.9	10.8	100.0	48.1
		週に3日以上した	14.7	5.4	24.0	31.4	5.9	1.5	3.4	13.7	100.0	27.1
		平均	20.6	6.0	16.8	25.5	7.3	1.6	5.6	16.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	14.9	10.6	11.2	12.2	12.8	2.1	10.1	26.1	100.0	26.3
		週に1～2日した	25.6	3.9	16.1	30.7	7.1	1.6	5.6	9.4	100.0	35.6
		週に3日以上した	18.7	5.5	24.3	31.6	5.9	1.1	2.2	10.7	100.0	38.1
		平均	20.2	6.3	17.9	26.2	8.1	1.5	5.5	14.3	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	18.6	9.4	9.0	12.5	9.8	2.8	5.3	32.6	100.0	26.8
		週に1～2日した	21.7	10.0	15.8	25.7	6.3	1.1	4.3	15.1	100.0	50.2
		週に3日以上した	16.0	8.1	21.1	23.9	7.1	0.5	5.3	17.8	100.0	23.0
		平均	19.6	9.4	15.2	21.7	7.4	1.4	4.8	20.4	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	19.1	12.9	8.9	12.3	9.3	3.0	5.4	29.2	100.0	31.2
		週に1～2日した	19.0	9.0	15.9	26.8	6.8	1.0	5.7	15.9	100.0	32.0
		週に3日以上した	17.4	6.5	21.5	27.8	7.7	1.5	3.6	14.1	100.0	36.8
		平均	18.4	9.3	15.7	22.6	7.9	1.8	4.8	19.4	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	21.4	9.8	8.4	13.1	12.8	2.7	7.7	24.1	100.0	26.7
		週に1～2日した	27.8	8.6	15.0	26.0	6.5	1.0	4.1	11.0	100.0	50.9
		週に3日以上した	20.6	5.7	20.5	29.7	6.5	1.1	4.5	11.4	100.0	22.5
		平均	24.5	8.2	14.5	23.4	8.1	1.5	5.2	14.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	20.7	11.3	9.2	13.6	13.7	2.9	7.2	21.3	100.0	28.7
		週に1～2日した	26.5	8.3	14.8	26.7	7.4	1.1	5.0	10.2	100.0	36.7
		週に3日以上した	23.2	5.1	20.1	30.2	6.1	1.3	3.6	10.3	100.0	34.6
		平均	23.7	8.1	15.0	24.2	8.8	1.7	5.1	13.4	100.0	100.0

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。
「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

5-4表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院博士課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	20.4	9.0	1.6	4.9	7.0	2.4	21.6	33.1	100.0	25.4
		週に1～2日した	23.2	6.9	3.0	3.0	1.9	0.4	18.5	43.1	100.0	48.3
		週に3日以上した	20.5	13.0	5.5	1.6	3.1	-	22.1	34.2	100.0	26.3
		平均	21.8	9.0	3.3	3.1	3.5	0.8	20.2	38.2	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	20.2	8.6	1.2	4.9	7.0	3.3	24.7	30.0	100.0	29.4
		週に1～2日した	20.9	7.0	4.1	2.9	1.8	0.6	20.1	42.7	100.0	41.6
		週に3日以上した	22.5	11.2	4.6	3.7	4.2	-	21.7	32.1	100.0	29.0
		平均	21.2	8.7	3.4	3.7	4.0	1.2	21.9	35.9	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	16.6	6.1	10.5	2.0	8.4	2.0	14.5	39.9	100.0	22.0
		週に1～2日した	11.5	3.5	7.1	4.4	3.5	-	23.6	46.4	100.0	52.6
		週に3日以上した	10.9	1.8	5.6	1.8	1.8	-	34.4	43.8	100.0	25.3
		平均	12.4	3.6	7.4	3.2	4.2	0.4	24.3	44.3	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	14.8	4.1	13.1	2.1	6.2	2.1	19.2	38.5	100.0	25.1
		週に1～2日した	9.3	2.2	5.8	3.6	3.6	-	25.6	49.9	100.0	46.1
		週に3日以上した	13.2	3.6	11.1	3.6	1.8	-	29.6	37.1	100.0	28.8
		平均	11.8	3.1	9.1	3.2	3.7	0.5	25.2	43.4	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	15.8	17.6	2.3	3.6	4.5	0.9	16.6	38.7	100.0	22.9
		週に1～2日した	15.7	7.4	2.4	3.0	0.8	0.2	18.9	51.5	100.0	51.3
		週に3日以上した	20.4	8.8	5.2	3.2	1.2	2.0	18.0	41.2	100.0	25.8
		平均	16.9	10.1	3.1	3.2	1.8	0.8	18.2	45.9	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	19.4	16.9	1.7	3.8	4.2	0.9	17.7	35.4	100.0	28.5
		週に1～2日した	8.2	6.8	2.1	3.2	2.1	0.3	22.2	55.2	100.0	40.7
		週に3日以上した	21.8	9.3	7.0	3.9	0.8	1.9	18.6	36.6	100.0	30.9
		平均	15.6	10.4	3.5	3.6	2.3	1.0	19.8	43.8	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	18.8	11.3	2.4	4.3	6.3	2.0	19.7	35.1	100.0	24.4
		週に1～2日した	20.0	6.8	3.1	3.1	1.7	0.3	19.0	46.0	100.0	49.5
		週に3日以上した	19.8	11.0	5.4	2.1	2.5	0.6	21.6	37.0	100.0	26.1
		平均	19.6	9.0	3.5	3.1	3.0	0.8	19.9	41.0	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	19.6	10.9	2.1	4.4	6.1	2.5	22.3	32.2	100.0	28.8
		週に1～2日した	16.2	6.6	3.6	3.1	2.0	0.5	21.1	47.0	100.0	41.6
		週に3日以上した	21.6	10.1	5.8	3.8	2.9	0.6	21.2	33.9	100.0	29.6
		平均	18.8	8.9	3.8	3.7	3.4	1.1	21.5	38.8	100.0	100.0

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。
「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

5-5表 アルバイト従事者の従事時期別・職種別学生数の割合（大学院専門職学位課程）

(単位：%)

区 分			家庭教師	事 務	販 売	飲食業	販売・飲食業を除く 軽労働	重労働・ 危険作業	特殊技能	その他	計	従事日数別 割合
国立	授業 期間中	不定期的にした	25.5	10.9	8.2	7.3	12.8	3.6	2.7	29.1	100.0	30.7
		週に1～2日した	43.6	12.9	8.1	17.8	3.6	-	2.4	11.7	100.0	45.5
		週に3日以上した	24.8	14.3	17.5	18.9	4.6	-	3.4	16.6	100.0	23.8
		平均	33.6	12.6	10.3	14.8	6.7	1.1	2.7	18.2	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	27.8	13.0	6.2	6.9	14.6	4.7	1.5	25.3	100.0	34.5
		週に1～2日した	47.0	14.1	6.1	13.4	2.6	-	3.5	13.4	100.0	29.9
		週に3日以上した	26.8	11.3	16.5	22.4	6.7	-	2.9	13.5	100.0	35.6
		平均	33.1	12.7	9.8	14.4	8.2	1.6	2.6	17.5	100.0	100.0
公立	授業 期間中	不定期的にした	41.3	-	9.5	-	9.5	9.5	9.5	20.6	100.0	43.8
		週に1～2日した	19.4	-	-	61.3	-	-	19.4	-	100.0	21.5
		週に3日以上した	12.0	26.0	-	-	-	12.0	-	50.0	100.0	34.7
		平均	26.4	9.0	4.2	13.2	4.2	8.3	8.3	26.4	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	30.6	-	9.7	9.7	9.7	9.7	21.0	9.7	100.0	47.3
		週に1～2日した	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	4.6
		週に3日以上した	19.0	20.6	-	20.6	-	9.5	-	30.2	100.0	48.1
		平均	23.7	9.9	4.6	19.1	4.6	9.2	9.9	19.1	100.0	100.0
私立	授業 期間中	不定期的にした	19.0	13.2	2.4	11.9	11.9	1.1	10.6	29.8	100.0	30.5
		週に1～2日した	26.2	22.1	7.4	19.7	5.0	-	4.9	14.7	100.0	44.4
		週に3日以上した	11.6	17.5	18.8	27.6	2.9	-	2.7	18.8	100.0	25.1
		平均	20.3	18.2	8.7	19.3	6.6	0.3	6.1	20.3	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	16.2	19.0	6.7	9.5	12.3	1.9	7.7	26.7	100.0	36.4
		週に1～2日した	28.9	24.1	6.0	16.9	3.6	-	6.0	14.5	100.0	28.7
		週に3日以上した	13.9	15.8	16.0	30.7	3.9	-	1.9	17.8	100.0	34.9
		平均	19.1	19.3	9.7	19.0	6.9	0.7	5.2	20.1	100.0	100.0
平均	授業 期間中	不定期的にした	23.1	11.5	5.4	9.2	12.2	2.7	7.0	29.0	100.0	31.1
		週に1～2日した	34.3	17.4	7.6	19.5	4.2	-	4.0	13.0	100.0	44.1
		週に3日以上した	17.4	16.5	17.3	22.4	3.5	0.6	2.9	19.4	100.0	24.8
		平均	26.6	15.3	9.3	17.0	6.5	1.0	4.6	19.6	100.0	100.0
	長期 休暇中	不定期的にした	21.9	15.6	6.6	8.4	13.2	3.5	5.5	25.4	100.0	35.9
		週に1～2日した	37.5	19.1	6.0	15.6	3.1	-	4.8	13.9	100.0	28.5
		週に3日以上した	20.0	13.9	15.5	26.5	5.0	0.4	2.3	16.3	100.0	35.6
		平均	25.7	16.0	9.6	16.9	7.4	1.4	4.1	18.9	100.0	100.0

(注) 「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。
「アルバイト」に「TA・RA」を含まない。

6-1表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学昼間部）

（単位：％）

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上		
国立	受給者	100.0	(16.1)	(25.2)	(35.6)	(46.4)	(57.5)	(69.5)	(80.1)	(87.6)	(93.1)	(95.0)	(96.7)	(97.7)	(98.2)	(100.0)		
	申請したが不採用	43.8	8.4	7.7	9.1	10.4	10.8	11.1	12.0	10.6	7.5	5.5	1.9	1.7	1.0	0.5	1.8	100.0
	希望するが申請しなかった	1.2	3.6	7.1	5.4	3.6	12.5	5.4	7.1	16.1	3.6	5.4	8.9	5.4	1.8	5.4	8.9	100.0
	必要ない	6.1	6.8	5.1	7.8	4.8	8.2	11.3	9.6	8.9	9.6	9.2	5.1	4.1	3.1	0.7	5.8	100.0
公立	受給者	49.0	2.8	1.8	3.0	4.1	6.9	8.4	8.6	11.6	9.2	12.2	5.6	5.8	3.4	2.8	13.7	100.0
	申請したが不採用	100.0	(16.5)	(27.2)	(40.2)	(52.3)	(65.7)	(77.5)	(86.0)	(91.5)	(95.9)	(97.2)	(98.0)	(98.5)	(98.7)	(100.0)		
	希望するが申請しなかった	54.5	8.9	7.6	10.7	13.0	12.1	13.4	11.8	8.5	5.5	4.4	1.3	0.8	0.5	0.2	1.3	100.0
	必要ない	1.2	4.4	2.2	8.9	2.2	2.2	13.3	17.8	4.4	2.2	11.1	8.9	6.7	6.7	-	8.9	100.0
私立	受給者	4.9	8.9	7.2	8.3	9.4	8.3	13.9	11.7	9.4	7.2	6.7	2.2	2.2	0.6	1.7	2.2	100.0
	申請したが不採用	39.4	3.8	2.0	4.3	5.2	8.9	9.1	10.8	11.5	8.4	11.3	5.4	4.6	3.5	2.4	8.8	100.0
	希望するが申請しなかった	100.0	(15.6)	(25.8)	(37.0)	(49.1)	(61.2)	(73.0)	(82.0)	(88.8)	(93.5)	(95.5)	(97.1)	(97.8)	(98.3)	(100.0)		
	必要ない	49.7	7.6	8.0	10.2	11.2	12.1	12.1	11.8	9.0	6.8	4.7	2.0	1.6	0.7	0.5	1.7	100.0
平均	受給者	1.5	3.7	2.8	7.4	5.6	6.5	10.2	12.0	7.4	3.7	12.0	8.3	4.6	2.8	1.9	11.1	100.0
	申請したが不採用	5.8	4.7	6.4	6.8	7.1	10.8	10.4	9.9	10.4	7.3	7.3	3.5	3.5	2.8	2.1	6.8	100.0
	希望するが申請しなかった	43.1	3.0	2.0	3.5	4.9	7.1	9.5	9.9	10.3	8.1	12.7	5.2	5.1	3.3	2.5	12.9	100.0
	必要ない	100.0	(15.7)	(25.7)	(36.9)	(48.8)	(60.8)	(72.6)	(81.9)	(88.7)	(93.5)	(95.5)	(97.1)	(97.8)	(98.3)	(100.0)		
平均	受給者	48.9	7.8	7.9	10.0	11.2	11.9	12.0	11.8	9.3	6.8	4.8	2.0	1.6	0.7	0.5	1.7	100.0
	申請したが不採用	1.4	3.7	3.4	7.2	5.1	7.2	9.6	11.6	8.6	3.6	11.0	8.5	4.8	2.8	2.3	10.7	100.0
	希望するが申請しなかった	5.8	5.3	6.2	7.1	6.7	10.2	10.7	9.9	10.0	7.7	7.7	3.8	3.6	2.8	1.8	6.4	100.0
	必要ない	44.0	3.0	1.9	3.5	4.7	7.1	9.3	9.7	10.7	8.4	12.5	5.3	5.2	3.3	2.5	12.9	100.0

（注）（ ）は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

6-2表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上		
国立	受給者	
	申請したが不採用	
	希望するが申請しなかった	
	必要ない	
公立	受給者	100.0	(21.5)	(33.7)	(48.4)	(63.0)	(76.7)	(87.5)	(92.5)	(96.1)	(98.1)	(99.0)	(99.1)	(99.6)	(99.6)	(100.0)		
	申請したが不採用	61.7	11.0	10.5	12.2	14.7	14.6	13.7	10.8	5.0	3.6	2.0	0.9	0.1	0.5	-	0.4	100.0
	希望するが申請しなかった	1.3	-	5.6	-	5.6	11.1	16.7	27.8	5.6	5.6	11.1	-	-	-	-	11.1	100.0
	必要ない	4.8	13.0	8.7	8.7	15.9	13.0	14.5	8.7	10.1	2.9	1.4	1.4	-	-	-	1.4	100.0
私立	受給者	100.0	(20.7)	(34.0)	(49.9)	(62.5)	(75.3)	(84.3)	(91.5)	(95.9)	(98.1)	(98.8)	(99.2)	(99.6)	(99.7)	(100.0)		
	申請したが不採用	51.7	11.5	9.2	13.3	15.9	12.6	12.8	9.0	7.2	4.4	2.2	0.7	0.4	0.4	0.1	0.3	100.0
	希望するが申請しなかった	1.1	3.4	-	6.9	20.7	6.9	24.1	13.8	6.9	-	10.3	-	-	3.4	3.4	-	100.0
	必要ない	5.7	10.5	7.2	9.9	7.9	17.1	11.8	10.5	5.9	3.9	5.9	3.3	2.0	3.3	-	0.7	100.0
平均	受給者	100.0	(20.7)	(33.9)	(49.7)	(62.4)	(75.3)	(84.4)	(91.5)	(95.9)	(98.1)	(98.8)	(99.2)	(99.6)	(99.7)	(100.0)		
	申請したが不採用	52.2	11.5	9.2	13.2	15.8	12.7	12.9	9.1	7.1	4.4	2.2	0.7	0.4	0.4	0.1	0.3	100.0
	希望するが申請しなかった	1.1	3.2	0.3	6.5	19.8	7.2	23.7	14.6	6.8	0.3	10.4	-	-	3.2	3.2	0.7	100.0
	必要ない	5.7	10.6	7.3	9.8	8.3	16.9	12.0	10.4	6.1	3.9	5.7	3.2	1.9	3.1	-	0.7	100.0
必要ない	41.0	5.2	4.0	7.9	8.5	10.9	12.0	11.4	11.8	8.8	7.4	3.3	2.5	1.6	0.8	3.7	100.0	

（注）（ ）は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

6-3表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院修士課程）

（単位：％）

区 分		希望及び受給の状況	家 庭 の 年 間 収 入														計	
			200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500		1,500万円以上
国立	受給者	100.0		(13.6)	(21.9)	(30.6)	(40.4)	(49.0)	(59.8)	(70.3)	(79.0)	(86.6)	(90.4)	(92.6)	(94.6)	(96.1)	(100.0)	
	申請したが不採用	51.9	7.5	6.1	8.3	8.7	9.8	8.6	10.8	10.5	8.7	7.6	3.8	2.2	2.0	1.5	3.9	100.0
	希望するが申請しなかった	1.5	12.8	2.1	6.4	4.3	6.4	8.5	12.8	14.9	4.3	10.6	8.5	2.1	4.3	-	2.1	100.0
	必要ない	8.5	7.5	6.0	4.9	8.3	4.9	12.5	7.2	9.8	7.9	7.5	8.3	5.3	1.9	1.9	6.0	100.0
公立	受給者	100.0		(18.7)	(28.7)	(39.6)	(49.9)	(61.2)	(72.6)	(80.5)	(85.9)	(91.0)	(93.1)	(95.3)	(96.6)	(98.3)	(100.0)	
	申請したが不採用	56.2	9.4	9.3	10.0	10.9	10.3	11.3	11.4	7.9	5.4	5.1	2.1	2.2	1.3	1.7	1.7	100.0
	希望するが申請しなかった	1.7	10.5	10.5	5.3	15.8	5.3	15.8	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	-	5.3	-	-	100.0
	必要ない	7.4	15.7	3.6	14.5	10.8	7.2	12.0	3.6	4.8	6.0	2.4	3.6	2.4	4.8	2.4	6.0	100.0
私立	受給者	100.0		(15.2)	(23.1)	(32.7)	(40.6)	(52.0)	(61.6)	(71.0)	(77.6)	(85.3)	(89.2)	(91.9)	(94.8)	(95.6)	(100.0)	
	申請したが不採用	50.8	8.1	7.1	7.9	9.6	7.9	11.4	9.6	9.4	6.6	7.7	3.9	2.7	2.9	0.8	4.4	100.0
	希望するが申請しなかった	2.9	6.8	6.8	5.4	9.5	9.5	6.8	6.8	2.7	6.8	12.2	2.7	9.5	4.1	1.4	9.5	100.0
	必要ない	8.0	8.3	5.4	9.8	9.3	7.4	10.3	6.9	8.3	8.3	4.9	4.4	4.9	2.5	2.5	6.9	100.0
平均	受給者	100.0		(14.4)	(22.7)	(31.8)	(41.0)	(50.7)	(61.1)	(71.1)	(79.0)	(86.5)	(90.2)	(92.5)	(94.7)	(96.0)	(100.0)	
	申請したが不採用	51.8	7.8	6.6	8.3	9.1	9.2	9.7	10.4	10.0	7.9	7.5	3.7	2.3	2.2	1.3	4.0	100.0
	希望するが申請しなかった	2.0	9.8	4.8	5.9	7.3	7.8	8.1	9.5	8.6	5.8	11.1	5.6	5.5	4.2	0.6	5.5	100.0
	必要ない	8.3	8.2	5.7	7.0	8.8	5.8	11.8	6.9	9.1	7.9	6.4	6.8	5.0	2.2	2.1	6.3	100.0
必要ない	37.9	3.3	2.7	3.9	6.1	7.2	8.4	8.6	10.0	7.3	12.0	4.8	5.7	3.1	2.6	14.4	100.0	

（注）（ ）は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

6-4表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院博士課程）

(単位：%)

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計	
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上		
国立	受給者	100.0	(35.1)	(44.1)	(50.9)	(58.3)	(66.5)	(72.7)	(78.5)	(82.6)	(87.1)	(89.7)	(91.7)	(93.6)	(95.0)	(100.0)		
	申請したが不採用	60.8	13.3	21.8	9.0	6.8	7.4	8.2	6.2	5.8	4.1	4.5	2.6	2.0	1.9	1.4	5.0	100.0
	希望するが申請しなかった	2.8	7.1	5.7	14.3	14.3	4.3	8.6	5.7	4.3	10.0	5.7	5.7	1.4	1.4	-	11.4	100.0
	必要ない	8.0	20.6	8.5	10.1	7.0	4.5	6.5	8.5	4.5	3.0	5.5	3.0	4.0	2.0	2.0	10.1	100.0
公立	受給者	28.3	9.3	7.0	6.1	9.7	7.8	8.3	9.0	7.7	4.1	12.4	1.7	4.1	1.0	1.3	10.5	100.0
	申請したが不採用	100.0	(31.3)	(41.9)	(52.0)	(58.1)	(68.2)	(73.2)	(80.3)	(85.9)	(89.9)	(92.4)	(93.4)	(93.9)	(94.4)	(100.0)		
	希望するが申請しなかった	48.5	18.7	12.6	10.6	10.1	6.1	10.1	5.0	7.1	5.6	4.0	2.5	1.0	0.5	0.5	5.6	100.0
	必要ない	2.2	11.1	-	-	11.1	-	33.3	-	11.1	-	-	-	11.1	-	-	22.2	100.0
私立	受給者	7.8	15.6	6.3	6.3	-	15.6	9.4	3.1	6.3	3.1	15.6	-	6.3	-	-	12.5	100.0
	申請したが不採用	41.4	8.3	7.1	4.7	10.7	11.2	3.6	9.5	5.3	4.1	11.2	2.4	4.7	2.4	1.2	13.6	100.0
	希望するが申請しなかった	100.0	(24.2)	(34.0)	(42.1)	(50.7)	(59.1)	(65.4)	(72.2)	(75.2)	(81.8)	(84.8)	(88.2)	(90.3)	(91.1)	(100.0)		
	必要ない	47.5	14.6	9.6	9.8	8.1	8.6	8.4	6.3	6.8	3.0	6.6	3.0	3.4	2.1	0.8	8.9	100.0
平均	受給者	2.1	10.8	5.4	8.1	10.8	2.7	2.7	2.7	8.1	5.4	10.8	5.4	10.8	-	-	16.2	100.0
	申請したが不採用	8.5	10.7	10.1	10.1	8.1	11.4	6.0	5.4	8.7	2.0	8.7	1.3	2.0	2.0	2.0	11.4	100.0
	希望するが申請しなかった	41.9	5.7	4.4	6.8	7.4	7.9	10.5	6.0	6.8	3.6	11.1	2.5	4.4	1.4	1.4	20.1	100.0
	必要ない	100.0	(32.8)	(42.1)	(49.3)	(56.9)	(65.2)	(71.3)	(77.3)	(81.3)	(86.2)	(88.9)	(91.1)	(93.0)	(94.2)	(100.0)		
平均	受給者	56.9	13.8	19.0	9.3	7.2	7.6	8.3	6.1	6.0	4.0	4.9	2.7	2.2	1.9	1.2	5.8	100.0
	申請したが不採用	2.6	8.0	5.4	12.4	13.5	3.8	8.6	4.9	5.4	8.6	6.4	5.4	3.7	1.1	-	12.9	100.0
	希望するが申請しなかった	8.1	17.8	8.8	9.9	6.9	6.9	6.6	7.4	5.7	2.8	6.9	2.4	3.6	1.9	1.9	10.5	100.0
	必要ない	32.3	8.1	6.2	6.2	9.0	8.1	8.6	8.1	7.3	4.0	11.9	2.0	4.3	1.2	1.3	13.8	100.0

(注) () は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

6-5表 設置者別・家庭の年間収入別奨学金の希望及び受給の状況（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区分	希望及び受給の状況	家庭の年間収入															計		
		200万円未満	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800～900	900～1,000	1,000～1,100	1,100～1,200	1,200～1,300	1,300～1,400	1,400～1,500	1,500万円以上			
国立	受給者	100.0	(23.9)	(32.7)	(41.2)	(48.6)	(56.9)	(64.9)	(76.1)	(82.6)	(88.8)	(91.7)	(94.4)	(95.3)	(96.2)	(100.0)			
	申請したが不採用	41.3	15.6	8.3	8.8	8.5	7.4	8.3	8.0	11.2	6.5	6.2	2.9	2.7	0.9	0.9	3.8	100.0	
	希望するが申請しなかった	2.2	11.1	5.6	11.1	5.6	16.7	16.7	-	-	5.6	16.7	-	-	-	-	-	11.1	100.0
	必要ない	10.7	14.8	4.5	11.4	5.7	11.4	5.7	5.7	10.2	1.1	3.4	1.1	5.7	4.5	3.4	11.4	100.0	
公立	受給者	100.0	(22.2)	(37.1)	(44.5)	(51.9)	(55.6)	(66.7)	(70.4)	(77.8)	(81.5)	(85.2)	(92.6)	(96.3)	(96.3)	(100.0)			
	申請したが不採用	44.3	7.4	14.8	14.9	7.4	7.4	3.7	11.1	3.7	7.4	3.7	3.7	7.4	3.7	-	3.7	100.0	
	希望するが申請しなかった	4.9	66.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	必要ない	9.8	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
私立	受給者	100.0	(23.1)	(32.6)	(40.4)	(50.4)	(59.3)	(64.9)	(74.9)	(81.9)	(86.6)	(89.4)	(92.2)	(94.1)	(94.7)	(100.0)			
	申請したが不採用	46.6	15.9	7.2	9.5	7.8	10.0	8.9	5.6	10.0	7.0	4.7	2.8	2.8	1.9	0.6	5.3	100.0	
	希望するが申請しなかった	1.7	15.4	-	23.1	-	15.4	-	7.7	-	7.7	15.4	-	7.7	-	-	-	7.7	100.0
	必要ない	9.5	16.4	5.5	5.5	6.8	6.8	9.6	6.8	6.8	2.7	15.1	1.4	2.7	2.7	1.4	9.6	100.0	
平均	受給者	100.0	(23.4)	(32.8)	(40.9)	(49.8)	(58.3)	(65.0)	(75.2)	(82.0)	(87.2)	(90.1)	(93.0)	(94.6)	(95.3)	(100.0)			
	申請したが不採用	44.4	15.5	7.9	9.4	8.1	8.9	8.5	6.7	10.2	6.8	5.2	2.9	2.9	1.6	0.7	4.7	100.0	
	希望するが申請しなかった	2.0	18.2	5.6	15.6	2.5	14.5	7.4	3.6	-	6.0	14.5	-	3.6	-	-	8.5	100.0	
	必要ない	10.0	15.7	4.9	8.5	6.7	9.2	7.5	6.1	9.3	1.9	9.4	1.2	3.9	3.4	2.2	10.0	100.0	
必要ない	43.6	8.4	3.1	6.8	6.4	9.3	10.8	8.2	5.7	5.4	9.9	2.4	4.1	1.7	2.0	15.7	100.0		

（注）（ ）は、奨学金受給者の割合の累計を示す。

「配偶者あり」と回答した者は集計に含まない。

7表 設置者別・奨学金の種類別学生数の割合

(単位：%)

区分			奨 学 金 の 種 類			
			日本学生支援機構	その他の奨学金	両 方	計
大 学	昼 間 部	国 立	83.8	10.1	6.1	100.0
		公 立	85.9	7.9	6.2	100.0
		私 立	79.7	10.8	9.5	100.0
		平 均	80.8	10.5	8.7	100.0
	夜 間 部	国 立	88.1	7.5	4.5	100.0
		公 立	84.8	9.0	6.2	100.0
		私 立	73.8	15.6	10.5	100.0
		平 均	78.2	13.1	8.7	100.0
短 期 大 学	昼 間 部	国 立	…	…	…	…
		公 立	87.9	5.2	6.9	100.0
		私 立	75.0	14.3	10.6	100.0
		平 均	75.8	13.8	10.4	100.0
	夜 間 部	国 立	…	…	…	…
		公 立	93.3	6.7	-	100.0
		私 立	86.6	4.7	8.6	100.0
		平 均	87.5	5.0	7.5	100.0
大 学 院	修 士 課 程	国 立	85.7	8.6	5.7	100.0
		公 立	80.3	9.1	10.6	100.0
		私 立	58.1	24.4	17.4	100.0
		平 均	76.1	14.0	10.0	100.0
	博 士 課 程	国 立	40.8	45.9	13.4	100.0
		公 立	46.1	41.4	12.6	100.0
		私 立	32.9	47.2	19.9	100.0
		平 均	39.2	45.9	14.8	100.0
	専 門 職 学 位 課 程	国 立	72.8	19.5	7.7	100.0
		公 立	61.6	30.8	7.6	100.0
		私 立	32.3	45.8	21.9	100.0
		平 均	46.9	36.5	16.6	100.0

(注)大学院については、「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-1表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学昼間部）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	2.0	3.6	2.4	30.2	37.1	20.2	4.4	100.0
		京阪神	2.3	2.3	7.2	18.6	33.5	25.9	10.3	100.0
		その他	3.7	10.0	15.9	33.2	20.1	12.7	4.3	100.0
		全 国	3.2	8.0	12.7	30.6	24.5	15.7	5.2	100.0
	学寮	東京圏	32.4	17.6	14.7	29.4	5.9	-	-	100.0
		京阪神	60.6	12.1	6.1	21.2	-	-	-	100.0
		その他	64.8	24.1	8.7	1.6	0.8	-	-	100.0
		全 国	60.9	22.2	9.1	6.6	1.3	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	48.3	29.4	7.6	9.2	5.0	0.4	-	100.0
		京阪神	37.1	42.1	10.0	9.3	1.1	0.4	-	100.0
		その他	63.7	30.1	4.2	1.6	0.3	0.0	0.0	100.0
		全 国	60.4	31.0	4.9	2.8	0.7	0.1	0.0	100.0
公立	自宅	東京圏	0.8	4.5	9.0	23.3	34.6	24.1	3.8	100.0
		京阪神	1.9	3.8	8.6	24.1	28.6	25.9	7.1	100.0
		その他	3.8	10.8	12.4	30.2	25.0	13.4	4.4	100.0
		全 国	3.3	9.2	11.6	28.7	26.3	16.1	4.7	100.0
	学寮	東京圏	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		京阪神	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		その他	82.2	7.0	1.6	9.3	-	-	-	100.0
		全 国	85.2	5.8	1.3	7.7	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	38.8	40.0	12.9	5.9	2.4	-	-	100.0
		京阪神	37.3	40.2	14.2	7.1	-	1.2	-	100.0
		その他	55.5	31.8	8.8	3.1	0.6	0.0	0.1	100.0
		全 国	53.6	32.7	9.4	3.5	0.6	0.1	0.1	100.0
私立	自宅	東京圏	0.8	2.6	5.2	30.5	32.7	22.5	5.7	100.0
		京阪神	1.1	4.5	7.3	27.7	31.7	21.5	6.3	100.0
		その他	1.7	7.5	11.5	31.8	26.1	16.2	5.1	100.0
		全 国	1.2	4.7	7.8	30.5	30.2	20.1	5.6	100.0
	学寮	東京圏	48.5	14.4	13.9	18.3	2.5	2.0	0.5	100.0
		京阪神	53.1	31.3	9.4	4.7	-	-	1.6	100.0
		その他	74.6	19.1	4.3	1.4	-	-	0.5	100.0
		全 国	60.6	18.7	9.1	9.1	1.1	0.8	0.6	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	28.3	32.3	18.7	16.7	2.9	0.7	0.3	100.0
		京阪神	42.1	38.0	10.1	6.6	2.7	0.3	0.3	100.0
		その他	47.7	33.8	11.7	6.0	0.7	0.2	-	100.0
		全 国	38.8	33.7	14.4	10.6	1.9	0.4	0.1	100.0
平均	自宅	東京圏	0.8	2.7	5.1	30.5	32.8	22.5	5.7	100.0
		京阪神	1.2	4.3	7.3	26.8	31.8	22.0	6.7	100.0
		その他	2.2	8.2	12.3	31.9	25.0	15.4	4.9	100.0
		全 国	1.4	5.2	8.4	30.4	29.5	19.6	5.6	100.0
	学寮	東京圏	47.6	14.5	13.9	19.0	2.7	1.9	0.5	100.0
		京阪神	56.3	26.9	8.5	7.0	-	-	1.3	100.0
		その他	72.2	19.9	5.4	1.9	0.2	-	0.3	100.0
		全 国	61.6	18.9	8.8	8.5	1.1	0.7	0.5	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	29.9	32.2	17.8	16.1	3.1	0.7	0.2	100.0
		京阪神	40.8	39.0	10.3	7.2	2.3	0.3	0.2	100.0
		その他	55.3	32.0	8.2	3.9	0.5	0.1	0.0	100.0
		全 国	46.3	32.9	11.2	7.8	1.5	0.3	0.1	100.0

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

8-2表 居住形態別・地域別片道通学時間（短期大学昼間部）

（単位：％）

区 分			0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計
国立	自宅	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
	学寮	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
	下宿、 アパート、 その他	東京圏
		京阪神
		その他
		全 国
公立	自宅	東京圏	6.3	12.5	12.5	25.0	28.1	12.5	3.1	100.0
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	3.7	12.4	13.2	34.6	23.0	10.3	2.7	100.0
		全 国	3.8	12.4	13.2	34.3	23.2	10.4	2.8	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	69.5	19.8	6.1	0.8	3.8	-	-	100.0
		全 国	69.5	19.8	6.1	0.8	3.8	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	45.5	18.2	-	36.4	-	-	-	100.0
		京阪神	-	-	-	-	-	-	-	-
		その他	67.8	24.4	4.9	1.5	1.0	0.4	-	100.0
		全 国	67.5	24.3	4.8	2.0	1.0	0.4	-	100.0
私立	自宅	東京圏	1.2	3.1	5.8	35.9	34.9	16.0	3.2	100.0
		京阪神	1.6	4.0	14.1	40.4	28.4	9.9	1.6	100.0
		その他	3.0	11.3	16.3	34.7	23.3	9.3	2.1	100.0
		全 国	2.3	8.2	13.5	36.0	26.8	10.9	2.3	100.0
	学寮	東京圏	54.8	14.3	11.9	19.0	-	-	-	100.0
		京阪神	80.0	12.0	4.0	4.0	-	-	-	100.0
		その他	80.9	11.5	3.8	3.8	-	-	-	100.0
		全 国	75.9	12.1	5.4	6.7	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	16.9	29.2	21.5	20.0	10.0	2.3	-	100.0
		京阪神	36.9	33.3	14.3	11.9	1.2	2.4	-	100.0
		その他	46.2	32.5	15.4	5.0	0.6	0.3	-	100.0
		全 国	38.2	31.9	16.6	9.5	2.8	1.1	-	100.0
平均	自宅	東京圏	1.2	3.1	5.8	35.8	34.8	16.0	3.2	100.0
		京阪神	1.6	4.0	14.1	40.4	28.4	9.9	1.6	100.0
		その他	3.0	11.4	16.1	34.7	23.3	9.3	2.1	100.0
		全 国	2.4	8.3	13.5	35.9	26.7	10.9	2.3	100.0
	学寮	東京圏	54.8	14.3	11.9	19.0	-	-	-	100.0
		京阪神	80.0	12.0	4.0	4.0	-	-	-	100.0
		その他	80.0	12.1	4.0	3.6	0.3	-	-	100.0
		全 国	75.5	12.5	5.4	6.4	0.2	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	17.2	29.1	21.4	20.1	9.9	2.3	-	100.0
		京阪神	36.9	33.3	14.3	11.9	1.2	2.4	-	100.0
		その他	50.2	31.0	13.5	4.4	0.6	0.3	-	100.0
		全 国	41.9	30.9	15.1	8.5	2.6	1.0	-	100.0

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

8-3表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院修士課程）

(単位：%)

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	0.4	1.8	5.5	32.7	37.1	18.0	4.4	100.0
		京阪神	0.8	5.3	6.9	27.6	33.7	17.9	7.7	100.0
		その他	3.7	11.7	19.2	32.4	20.1	9.0	3.9	100.0
		全 国	2.4	8.2	13.7	31.5	26.6	12.8	4.8	100.0
	学寮	東京圏	40.6	15.6	21.9	15.6	3.1	3.1	-	100.0
		京阪神	52.2	21.7	4.3	21.7	-	-	-	100.0
		その他	72.5	20.6	5.9	-	-	1.0	-	100.0
		全 国	63.1	19.7	8.9	6.4	0.6	1.3	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	36.8	32.3	13.7	13.7	2.4	1.0	-	100.0
		京阪神	35.7	46.4	10.0	7.3	0.5	0.2	-	100.0
		その他	51.0	37.5	7.0	3.1	0.6	0.5	0.2	100.0
		全 国	46.1	38.6	8.5	5.4	0.8	0.5	0.1	100.0
公立	自宅	東京圏	-	5.3	9.3	30.7	30.7	21.3	2.7	100.0
		京阪神	0.6	9.6	10.1	22.5	25.3	25.3	6.7	100.0
		その他	5.0	12.2	14.2	33.2	17.0	11.8	6.6	100.0
		全 国	3.4	10.8	12.7	30.2	20.5	16.2	6.2	100.0
	学寮	東京圏	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		京阪神	97.1	2.9	-	-	-	-	-	100.0
		その他	66.7	23.8	-	9.5	-	-	-	100.0
		全 国	85.7	10.7	-	3.6	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	27.0	27.0	16.2	21.6	8.1	-	-	100.0
		京阪神	49.7	23.8	13.3	8.4	2.1	1.4	1.4	100.0
		その他	41.4	37.6	11.3	4.8	1.4	2.4	1.0	100.0
		全 国	42.4	34.1	12.0	6.5	1.9	2.1	1.0	100.0
私立	自宅	東京圏	1.2	2.4	5.5	29.1	34.3	20.3	7.2	100.0
		京阪神	2.3	3.8	6.8	26.6	27.8	23.6	9.1	100.0
		その他	1.3	10.4	14.4	35.0	18.2	13.1	7.5	100.0
		全 国	1.4	4.4	7.7	30.1	29.7	19.1	7.5	100.0
	学寮	東京圏	34.4	9.4	15.6	28.1	9.4	3.1	-	100.0
		京阪神	-	20.0	-	80.0	-	-	-	100.0
		その他	73.1	15.4	7.7	-	3.8	-	-	100.0
		全 国	47.6	12.7	11.1	20.6	6.3	1.6	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.1	28.9	19.7	21.0	3.8	0.9	0.6	100.0
		京阪神	30.1	33.8	23.3	9.8	1.5	0.8	0.8	100.0
		その他	41.6	30.7	17.0	5.2	3.6	1.2	0.6	100.0
		全 国	30.3	30.0	19.4	15.3	3.5	0.9	0.6	100.0
平均	自宅	東京圏	1.0	2.3	5.6	30.0	34.9	19.8	6.4	100.0
		京阪神	1.3	5.2	7.2	26.7	30.7	20.7	8.1	100.0
		その他	3.2	11.5	17.4	33.2	19.2	10.4	5.1	100.0
		全 国	2.0	6.6	10.8	30.7	27.6	16.0	6.2	100.0
	学寮	東京圏	38.5	13.1	19.3	20.4	5.5	3.1	-	100.0
		京阪神	59.3	16.6	2.8	21.3	-	-	-	100.0
		その他	72.3	20.0	5.9	0.4	0.5	0.8	-	100.0
		全 国	61.8	17.7	8.7	8.9	1.7	1.2	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	29.6	30.2	17.4	18.2	3.3	0.9	0.3	100.0
		京阪神	35.8	42.9	12.3	7.7	0.7	0.4	0.2	100.0
		その他	49.2	36.7	8.5	3.5	1.0	0.7	0.3	100.0
		全 国	42.1	36.3	11.3	7.8	1.5	0.7	0.3	100.0

(注) 「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-4表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院博士課程）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	3.6	6.3	8.0	30.6	30.9	10.5	10.2	100.0
		京阪神	6.8	18.4	13.9	23.2	14.9	9.8	13.1	100.0
		その他	13.3	21.7	17.0	21.6	9.3	5.7	11.4	100.0
		全 国	9.8	17.7	14.4	23.8	15.1	7.6	11.6	100.0
	学寮	東京圏	29.0	16.1	19.4	29.0	6.5	-	-	100.0
		京阪神	53.3	13.3	6.7	13.3	6.7	-	6.7	100.0
		その他	66.3	20.2	10.1	2.2	-	1.1	-	100.0
		全 国	56.3	18.5	11.9	9.6	2.2	0.7	0.7	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.7	31.5	13.3	20.1	5.8	2.4	1.2	100.0
		京阪神	26.5	45.6	14.5	9.5	2.1	0.8	1.1	100.0
		その他	38.5	39.6	10.9	5.7	1.5	1.0	2.8	100.0
		全 国	33.1	39.3	12.3	9.5	2.5	1.2	2.1	100.0
公立	自宅	東京圏	3.4	5.1	10.2	39.0	20.3	18.6	3.4	100.0
		京阪神	8.8	25.7	18.1	21.1	14.0	8.2	4.1	100.0
		その他	14.7	19.8	12.9	24.4	12.9	6.0	9.2	100.0
		全 国	11.0	20.1	14.5	25.1	14.3	8.5	6.5	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
		京阪神	83.3	16.7	-	-	-	-	-	100.0
		その他	55.6	44.4	-	-	-	-	-	100.0
		全 国	62.5	31.3	-	6.3	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	10.3	27.6	10.3	34.5	6.9	10.3	-	100.0
		京阪神	39.1	39.1	8.7	7.6	2.2	-	3.3	100.0
		その他	37.0	38.0	13.5	3.5	3.0	2.0	3.0	100.0
		全 国	35.2	37.4	11.8	7.5	3.1	2.2	2.8	100.0
私立	自宅	東京圏	2.7	8.3	10.5	33.5	24.1	13.6	7.3	100.0
		京阪神	1.5	6.7	8.7	29.7	22.1	18.5	12.8	100.0
		その他	6.9	15.1	16.7	26.9	14.1	7.9	12.3	100.0
		全 国	3.5	9.6	11.6	31.6	21.6	12.9	9.0	100.0
	学寮	東京圏	57.7	3.8	15.4	11.5	3.8	7.7	-	100.0
		京阪神	-	60.0	20.0	20.0	-	-	-	100.0
		その他	82.4	5.9	11.8	-	-	-	-	100.0
		全 国	60.4	10.4	14.6	8.3	2.1	4.2	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	26.0	26.9	13.8	19.9	8.2	3.0	2.2	100.0
		京阪神	15.9	31.0	18.6	22.8	5.5	2.8	3.4	100.0
		その他	29.9	33.4	17.8	10.2	3.5	1.6	3.5	100.0
		全 国	25.8	29.2	15.5	17.6	6.5	2.6	2.7	100.0
平均	自宅	東京圏	3.1	7.5	9.5	32.6	26.5	12.6	8.3	100.0
		京阪神	6.2	17.5	13.6	24.0	15.9	11.0	11.8	100.0
		その他	12.4	20.6	16.6	22.6	10.3	6.0	11.4	100.0
		全 国	8.0	15.5	13.6	26.3	17.0	9.3	10.4	100.0
	学寮	東京圏	37.0	12.4	18.0	24.8	5.6	2.2	-	100.0
		京阪神	51.2	19.4	7.3	12.2	4.9	-	4.9	100.0
		その他	67.1	20.1	9.8	2.0	-	1.0	-	100.0
		全 国	57.2	18.0	11.7	9.3	2.1	1.2	0.6	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	25.5	29.4	13.5	20.3	6.9	2.8	1.6	100.0
		京阪神	26.1	43.4	14.6	10.9	2.5	1.0	1.5	100.0
		その他	37.4	38.8	11.9	6.1	1.8	1.1	2.9	100.0
		全 国	31.7	37.2	12.9	11.0	3.4	1.6	2.3	100.0

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

8-5表 居住形態別・地域別片道通学時間（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区 分		0～10分	11～20分	21～30分	31～60分	61～90分	91～120分	121分以上	計	
国立	自宅	東京圏	6.6	3.8	1.9	36.8	34.0	15.1	1.9	100.0
		京阪神	3.2	5.1	5.1	29.3	26.8	19.7	10.8	100.0
		その他	2.1	10.5	17.4	35.1	19.2	8.1	7.5	100.0
		全 国	3.2	7.9	11.4	33.9	23.8	12.4	7.4	100.0
	学寮	東京圏	42.9	14.3	42.9	-	-	-	-	100.0
		京阪神	85.7	14.3	-	-	-	-	-	100.0
		その他	73.6	20.8	5.7	-	-	-	-	100.0
		全 国	75.0	18.2	6.8	-	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	27.3	28.2	17.3	18.2	6.4	2.7	-	100.0
		京阪神	50.6	32.4	9.7	2.8	2.8	0.6	1.1	100.0
		その他	47.7	34.0	10.0	4.6	2.1	-	1.7	100.0
		全 国	44.4	32.3	11.4	6.8	3.2	0.8	1.1	100.0
公立	自宅	東京圏	-	2.9	8.8	29.4	32.4	8.8	17.6	100.0
		京阪神	-	10.5	5.3	21.1	5.3	21.1	36.8	100.0
		その他	3.7	7.4	29.6	44.4	7.4	7.4	-	100.0
		全 国	1.3	6.3	15.0	32.5	17.5	11.3	16.3	100.0
	学寮	東京圏	-	-	-	-	-	-	-	-
		京阪神	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		その他	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		全 国	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	7.7	-	15.4	30.8	38.5	7.7	-	100.0
		京阪神	28.6	28.6	28.6	14.3	-	-	-	100.0
		その他	-	-	-	66.7	33.3	-	-	100.0
		全 国	13.0	8.7	17.4	30.4	26.1	4.3	-	100.0
私立	自宅	東京圏	0.7	3.0	8.4	41.8	28.8	11.9	5.4	100.0
		京阪神	0.6	5.3	9.9	37.4	24.0	17.5	5.3	100.0
		その他	2.1	13.0	18.7	39.4	13.5	9.3	4.1	100.0
		全 国	1.0	5.5	10.9	40.5	24.6	12.4	5.1	100.0
	学寮	東京圏	58.1	29.0	6.5	6.5	-	-	-	100.0
		京阪神	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0
		その他	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0
		全 国	57.6	27.3	6.1	9.1	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	11.2	17.3	20.1	37.8	9.6	2.4	1.6	100.0
		京阪神	26.4	31.9	16.7	13.9	8.3	1.4	1.4	100.0
		その他	20.8	28.3	26.4	15.1	1.9	-	7.5	100.0
		全 国	15.5	21.7	20.3	29.9	8.3	1.9	2.4	100.0
平均	自宅	東京圏	1.4	3.1	7.6	40.7	29.6	12.1	5.6	100.0
		京阪神	1.5	5.5	7.9	33.5	24.0	18.5	9.1	100.0
		その他	2.2	11.4	18.6	37.5	16.1	8.6	5.7	100.0
		全 国	1.7	6.3	11.2	38.1	24.0	12.4	6.3	100.0
	学寮	東京圏	56.0	27.0	11.4	5.6	-	-	-	100.0
		京阪神	89.9	10.1	-	-	-	-	-	100.0
		その他	72.9	19.3	5.3	2.5	-	-	-	100.0
		全 国	71.5	19.6	6.0	2.9	-	-	-	100.0
	下宿、 アパート、 その他	東京圏	14.7	19.2	19.3	33.1	9.9	2.7	1.2	100.0
		京阪神	41.2	32.1	12.8	7.2	4.7	0.8	1.2	100.0
		その他	40.7	32.3	13.8	7.8	2.4	-	3.0	100.0
		全 国	29.3	26.4	16.0	18.9	6.3	1.4	1.7	100.0

（注）「東京圏」とは、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県をいう。

「京阪神」とは、京都府・大阪府・兵庫県をいう。

「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

9-1表 設置者別・週間平均生活時間（大学昼間部）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学の授業	国立	13.8	15.0	10.0	12.9	18.3	16.7	7.4	5.5	0.4	100.0
	公立	8.5	15.4	11.4	13.4	18.9	16.9	8.2	6.9	0.4	100.0
	私立	4.2	14.4	10.7	17.2	23.2	16.8	6.3	6.3	0.8	100.0
	平均	6.1	14.5	10.7	16.2	22.2	16.8	6.6	6.2	0.7	100.0
大学の授業 の予習・復習 など	国立	23.0	43.8	18.7	7.2	3.0	1.6	0.7	1.4	0.7	100.0
	公立	19.6	50.2	17.7	6.7	2.4	1.4	0.6	0.9	0.6	100.0
	私立	20.4	53.8	15.2	5.3	1.9	1.1	0.6	1.1	0.6	100.0
	平均	20.8	51.9	15.9	5.7	2.1	1.2	0.6	1.1	0.6	100.0
卒業論文・ 卒業研究	国立	67.3	6.8	4.4	2.9	3.1	2.4	2.7	10.1	0.3	100.0
	公立	69.6	9.6	5.7	3.3	2.6	1.7	1.4	5.4	0.7	100.0
	私立	74.2	11.5	4.8	2.3	1.6	1.4	0.8	2.9	0.6	100.0
	平均	72.7	10.6	4.8	2.4	1.9	1.6	1.2	4.3	0.6	100.0
大学の授業 以外の学習	国立	44.5	33.6	9.3	4.4	2.4	1.1	0.7	3.4	0.6	100.0
	公立	45.8	33.8	10.0	3.9	2.0	1.1	0.5	2.1	0.7	100.0
	私立	45.5	36.2	9.0	3.1	1.7	1.1	0.5	1.9	1.0	100.0
	平均	45.4	35.6	9.1	3.4	1.8	1.1	0.6	2.1	0.9	100.0
部活動・ サークル活動	国立	41.6	25.8	16.6	8.0	4.0	1.6	0.6	1.4	0.3	100.0
	公立	46.4	31.7	13.1	5.0	1.7	0.6	0.3	0.7	0.4	100.0
	私立	50.0	25.2	10.7	5.2	3.5	1.8	1.2	1.7	0.7	100.0
	平均	48.4	25.6	11.8	5.7	3.5	1.7	1.0	1.6	0.6	100.0
アルバイト・ 定職	国立	30.5	12.6	19.3	18.2	12.2	4.1	1.5	1.1	0.4	100.0
	公立	25.5	9.5	16.9	20.2	15.0	7.4	2.7	2.3	0.5	100.0
	私立	27.8	9.7	15.7	18.4	15.4	6.8	2.7	2.9	0.6	100.0
	平均	28.2	10.2	16.4	18.5	14.9	6.4	2.5	2.5	0.6	100.0
就職活動	国立	92.3	4.9	1.2	0.6	0.3	0.1	0.0	0.1	0.4	100.0
	公立	88.4	8.0	1.7	0.7	0.4	0.1	0.1	0.1	0.6	100.0
	私立	87.0	9.1	1.9	0.8	0.3	0.1	0.0	0.1	0.6	100.0
	平均	88.0	8.3	1.8	0.8	0.3	0.1	0.0	0.1	0.6	100.0
娯楽・交友	国立	2.6	26.0	29.8	17.9	9.8	4.2	1.7	7.1	0.8	100.0
	公立	3.0	29.7	28.4	17.4	8.3	4.7	2.0	5.7	0.9	100.0
	私立	3.8	30.2	28.9	16.2	9.0	4.1	1.8	5.2	1.0	100.0
	平均	3.5	29.4	29.0	16.5	9.1	4.1	1.8	5.5	1.0	100.0

9-2表 設置者別・週間平均生活時間（短期大学昼間部）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学の授業	国立
	公立	-	8.7	14.9	16.0	19.3	17.5	11.8	10.6	1.2	100.0
	私立	0.4	4.5	14.4	14.6	19.6	17.9	14.9	12.1	1.6	100.0
	平均	0.4	4.7	14.4	14.7	19.6	17.9	14.8	12.0	1.6	100.0
大学の授業 の予習・復習 など	国立
	公立	13.4	61.4	16.6	4.7	1.5	0.6	0.3	0.4	1.0	100.0
	私立	19.6	60.9	12.5	3.4	1.3	0.8	0.3	0.2	0.9	100.0
	平均	19.3	60.9	12.7	3.5	1.3	0.8	0.3	0.2	0.9	100.0
卒業論文・ 卒業研究	国立
	公立	64.9	23.4	6.8	2.2	0.9	0.6	0.2	0.4	0.8	100.0
	私立	75.2	17.0	4.0	1.3	0.7	0.2	0.1	0.3	1.2	100.0
	平均	74.7	17.3	4.1	1.3	0.7	0.3	0.1	0.3	1.1	100.0
大学の授業 以外の学習	国立
	公立	48.1	38.3	8.1	2.4	0.7	0.8	0.1	0.2	1.4	100.0
	私立	56.8	33.3	5.6	1.5	0.9	0.4	0.2	0.3	1.2	100.0
	平均	56.3	33.6	5.7	1.5	0.9	0.4	0.2	0.3	1.2	100.0
部活動・ サークル活動	国立
	公立	62.0	30.5	4.7	1.7	0.1	0.2	0.1	0.2	0.6	100.0
	私立	74.0	18.6	3.8	1.2	0.7	0.5	0.1	0.3	0.8	100.0
	平均	73.4	19.2	3.8	1.2	0.7	0.5	0.1	0.3	0.8	100.0
アルバイト・ 定職	国立
	公立	35.3	8.2	16.9	17.5	12.9	5.0	2.0	1.9	0.4	100.0
	私立	28.3	9.9	15.1	18.3	15.1	7.6	2.2	2.7	0.7	100.0
	平均	28.6	9.9	15.2	18.3	15.0	7.5	2.2	2.6	0.6	100.0
就職活動	国立
	公立	84.8	11.1	1.8	0.6	0.3	0.2	0.1	0.1	1.1	100.0
	私立	78.2	16.6	2.3	1.1	0.2	0.2	0.1	0.1	1.0	100.0
	平均	78.6	16.4	2.3	1.1	0.2	0.2	0.1	0.1	1.0	100.0
娯楽・交友	国立
	公立	4.3	33.6	28.2	13.6	8.0	4.3	1.6	5.1	1.2	100.0
	私立	5.1	31.8	28.4	15.0	7.7	4.5	1.7	4.6	1.2	100.0
	平均	5.1	31.9	28.4	14.9	7.7	4.5	1.7	4.7	1.2	100.0

9-3表 設置者別・週間平均生活時間（大学院修士課程）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での 授業、研究、 実習、実験	国立	1.4	5.6	8.4	7.3	5.8	6.6	8.7	55.9	0.4	100.0
	公立	2.7	11.2	12.4	7.4	6.1	5.9	7.2	46.1	1.0	100.0
	私立	1.4	10.5	14.6	10.7	9.2	8.2	6.8	38.0	0.6	100.0
	平均	1.5	7.6	10.7	8.5	7.0	7.1	7.9	49.1	0.5	100.0
大学外での 学習、研究	国立	32.8	29.1	15.1	7.6	4.1	2.7	2.0	5.3	1.4	100.0
	公立	27.5	28.2	16.8	9.1	5.7	3.9	1.5	5.4	1.9	100.0
	私立	19.8	28.2	18.7	9.8	7.2	4.5	2.9	7.0	1.9	100.0
	平均	28.0	28.7	16.4	8.4	5.2	3.4	2.3	5.8	1.6	100.0
ティーチング アシスタント (TA)	国立	69.6	22.4	4.6	0.9	0.4	-	-	0.1	2.0	100.0
	公立	71.2	18.8	4.4	0.6	0.1	0.1	-	0.1	4.7	100.0
	私立	57.1	27.3	8.8	2.4	0.4	0.1	0.0	0.2	3.6	100.0
	平均	65.5	23.9	6.0	1.4	0.4	0.0	0.0	0.1	2.7	100.0
リサーチアシ スタント (RA)	国立	94.4	1.4	0.9	0.4	0.3	0.1	-	0.1	2.5	100.0
	公立	91.4	2.3	0.5	0.1	0.3	0.1	-	0.2	5.2	100.0
	私立	91.9	1.9	0.8	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1	4.5	100.0
	平均	93.3	1.6	0.8	0.3	0.3	0.1	0.0	0.1	3.3	100.0
アルバイト・ 定職(TA・ RAを除く)	国立	48.1	12.0	14.4	11.1	5.5	2.3	1.1	3.9	1.5	100.0
	公立	39.3	10.0	12.4	10.0	7.7	2.8	1.5	14.0	2.1	100.0
	私立	43.0	9.7	14.7	9.1	6.5	3.2	1.0	10.1	2.7	100.0
	平均	45.8	11.0	14.3	10.4	6.0	2.7	1.1	6.7	2.0	100.0
就職活動	国立	79.8	13.3	2.9	1.0	0.4	0.2	0.1	0.2	2.1	100.0
	公立	79.3	12.3	2.6	0.6	0.7	-	-	0.1	4.5	100.0
	私立	77.8	12.9	3.3	0.9	0.5	0.2	0.1	0.5	3.8	100.0
	平均	79.1	13.1	3.0	0.9	0.4	0.2	0.1	0.3	2.8	100.0
娯楽・交友	国立	3.6	24.8	26.4	17.6	10.5	5.3	2.9	6.8	2.2	100.0
	公立	6.5	29.7	28.8	14.7	6.4	3.7	1.1	4.6	4.6	100.0
	私立	5.6	32.9	26.4	13.8	7.9	3.6	1.9	4.6	3.3	100.0
	平均	4.5	27.9	26.5	16.1	9.3	4.6	2.4	5.9	2.8	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

9-4表 設置者別・週間平均生活時間（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での 授業、研究、 実習、実験	国立	9.0	12.0	8.5	5.3	5.2	4.0	5.1	50.1	0.9	100.0
	公立	10.7	17.4	9.7	6.7	6.2	5.0	6.7	36.6	1.0	100.0
	私立	9.0	21.9	12.9	7.4	5.6	4.9	4.8	32.3	1.2	100.0
	平均	9.1	14.8	9.7	5.9	5.4	4.3	5.1	44.7	1.0	100.0
大学外での 学習、研究	国立	31.5	20.7	14.2	8.2	5.1	3.4	2.7	11.4	2.9	100.0
	公立	30.2	20.8	14.6	9.1	6.1	4.2	2.3	10.3	2.3	100.0
	私立	23.5	21.3	16.5	9.3	7.2	5.2	3.5	10.7	2.8	100.0
	平均	29.4	20.9	14.8	8.6	5.7	3.9	2.9	11.1	2.8	100.0
ティーチング アシスタント (TA)	国立	74.8	14.0	4.6	1.2	0.6	0.2	0.1	0.2	4.3	100.0
	公立	74.2	15.5	4.2	1.0	0.9	0.1	-	-	4.1	100.0
	私立	66.7	17.0	7.0	2.0	0.8	0.2	0.2	0.6	5.4	100.0
	平均	72.8	14.9	5.2	1.4	0.6	0.2	0.1	0.3	4.5	100.0
リサーチアシ スタント (RA)	国立	71.6	7.6	7.0	3.7	2.8	0.8	0.4	1.4	4.6	100.0
	公立	85.3	6.2	2.3	1.0	0.8	0.1	-	0.4	3.9	100.0
	私立	78.8	5.4	3.4	2.1	1.3	0.6	0.4	1.5	6.6	100.0
	平均	74.3	6.9	5.8	3.1	2.3	0.7	0.4	1.4	5.1	100.0
アルバイト・ 定職(TA・ RAを除く)	国立	47.6	5.1	8.5	5.7	5.6	3.4	2.0	19.7	2.3	100.0
	公立	30.6	3.7	6.4	8.1	6.6	4.2	3.2	34.9	2.3	100.0
	私立	32.1	5.8	12.3	7.8	6.4	3.8	2.3	25.9	3.7	100.0
	平均	42.6	5.2	9.3	6.4	5.9	3.6	2.2	22.2	2.6	100.0
就職活動	国立	88.1	5.3	1.1	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	4.4	100.0
	公立	89.7	3.4	0.9	0.4	0.3	0.3	0.1	0.4	4.6	100.0
	私立	88.2	3.9	0.8	0.4	0.3	0.0	0.0	0.2	6.2	100.0
	平均	88.2	4.9	1.0	0.4	0.3	0.1	0.1	0.3	4.8	100.0
娯楽・交友	国立	9.5	30.9	27.1	13.6	6.7	3.4	1.1	3.8	4.0	100.0
	公立	10.9	29.9	29.4	11.7	7.0	3.2	0.9	3.0	4.1	100.0
	私立	10.2	34.4	26.0	12.6	5.1	2.6	1.1	2.4	5.7	100.0
	平均	9.8	31.7	26.9	13.2	6.3	3.2	1.1	3.4	4.4	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

9-5表 設置者別・週間平均生活時間（大学院専門職学位課程）

（単位：％）

区分		0時間	1～5	6～10	11～15	16～20	21～25	26～30	31時間以上	無回答	計
大学内での 授業、研究、 実習、実験	国立	2.8	9.7	16.8	21.2	14.5	6.9	4.6	22.6	0.9	100.0
	公立	2.6	4.4	25.4	32.5	16.7	7.0	2.6	8.8	-	100.0
	私立	1.4	18.8	22.0	22.4	11.0	3.7	3.9	16.3	0.7	100.0
	平均	2.0	14.8	20.2	22.4	12.5	5.1	4.1	18.3	0.7	100.0
大学外での 学習、研究	国立	10.7	15.5	15.7	13.4	10.8	6.4	5.7	19.6	2.2	100.0
	公立	4.4	7.9	26.3	27.2	7.0	4.4	2.6	13.2	7.0	100.0
	私立	9.2	19.4	22.3	14.3	8.8	4.4	4.0	15.1	2.5	100.0
	平均	9.5	17.5	20.0	14.5	9.5	5.2	4.5	16.7	2.6	100.0
ティーチング アシスタント (TA)	国立	86.5	5.7	1.2	0.7	0.1	-	0.1	0.2	5.7	100.0
	公立	78.1	4.4	0.9	0.9	-	-	-	-	15.8	100.0
	私立	87.0	2.8	0.7	0.1	0.1	0.2	-	-	9.1	100.0
	平均	86.4	3.9	0.9	0.3	0.1	0.1	0.0	0.1	8.1	100.0
リサーチアシ スタント (RA)	国立	92.3	0.3	0.8	0.2	-	0.1	-	0.1	6.2	100.0
	公立	80.7	0.9	-	1.8	-	-	-	0.9	15.8	100.0
	私立	88.7	1.0	0.5	0.1	0.1	0.1	-	-	9.6	100.0
	平均	89.7	0.7	0.6	0.2	0.0	0.1	-	0.1	8.6	100.0
アルバイト・ 定職(TA・ RAを除く)	国立	56.6	8.6	7.1	4.4	3.9	1.2	1.1	12.0	4.9	100.0
	公立	28.9	3.5	3.5	4.4	4.4	1.8	0.9	43.9	8.8	100.0
	私立	43.3	5.3	4.0	3.0	3.3	1.7	1.1	33.1	5.2	100.0
	平均	47.7	6.5	5.2	3.6	3.6	1.6	1.1	25.7	5.2	100.0
就職活動	国立	86.3	5.3	1.2	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	5.8	100.0
	公立	77.2	5.3	1.8	-	0.9	-	-	0.9	14.0	100.0
	私立	84.9	4.0	1.0	0.4	0.2	0.1	-	0.3	9.2	100.0
	平均	85.1	4.5	1.1	0.4	0.2	0.1	0.1	0.4	8.2	100.0
娯楽・交友	国立	6.7	34.3	27.6	12.2	7.1	2.2	1.9	2.9	5.3	100.0
	公立	11.4	43.0	20.2	8.8	2.6	0.9	2.6	-	10.5	100.0
	私立	8.9	38.3	25.7	10.9	4.7	2.1	1.1	2.3	6.1	100.0
	平均	8.2	37.0	26.2	11.3	5.5	2.1	1.4	2.4	6.0	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

10-1表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学昼間部）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.4	14.2	43.3	37.1	2.0	0.0	100.0
	公立	4.5	17.6	44.0	31.9	2.0	0.1	100.0
	私立	3.2	12.2	42.1	38.2	4.3	0.1	100.0
	平均	3.3	12.8	42.4	37.7	3.8	0.0	100.0
キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	国立	2.3	7.9	20.8	8.2	60.7	0.0	100.0
	公立	3.1	9.8	26.2	11.6	49.2	0.1	100.0
	私立	2.7	8.6	28.2	16.6	43.8	0.1	100.0
	平均	2.6	8.5	26.8	14.9	47.0	0.1	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	2.2	7.0	16.7	6.3	67.8	0.1	100.0
	公立	1.9	8.0	21.2	7.7	61.0	0.2	100.0
	私立	2.5	8.2	22.1	10.1	57.0	0.1	100.0
	平均	2.4	8.0	21.1	9.3	59.1	0.1	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	3.3	13.5	26.8	10.9	45.5	0.0	100.0
	公立	2.7	12.3	32.0	14.0	39.0	0.1	100.0
	私立	3.3	11.5	28.8	15.0	41.3	0.1	100.0
	平均	3.3	11.9	28.6	14.3	41.9	0.1	100.0

10-2表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立
	公立	3.0	13.9	42.0	38.3	2.8	-	100.0
	私立	2.2	8.6	38.2	43.2	7.6	0.1	100.0
	平均	2.3	8.9	38.4	42.9	7.4	0.1	100.0
キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	国立
	公立	2.0	7.5	36.5	28.2	25.6	0.1	100.0
	私立	1.8	6.4	31.1	31.5	29.0	0.2	100.0
	平均	1.9	6.4	31.4	31.3	28.8	0.2	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立
	公立	1.4	6.5	25.3	14.1	52.6	0.1	100.0
	私立	1.5	6.8	28.4	17.6	45.5	0.2	100.0
	平均	1.5	6.8	28.2	17.4	45.9	0.2	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立
	公立	1.8	8.0	32.0	23.7	34.4	0.1	100.0
	私立	1.7	7.5	30.7	21.3	38.6	0.2	100.0
	平均	1.7	7.5	30.8	21.4	38.4	0.2	100.0

10-3表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	3.6	13.2	43.0	34.7	5.5	-	100.0
	公立	5.9	18.3	41.5	29.7	4.4	0.1	100.0
	私立	4.7	14.9	41.1	35.1	4.0	0.2	100.0
	平均	4.1	14.1	42.3	34.5	4.9	0.1	100.0
キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	国立	3.7	9.5	26.2	11.5	49.0	0.1	100.0
	公立	5.4	11.5	22.7	11.3	48.9	0.2	100.0
	私立	5.3	11.3	26.0	12.9	44.2	0.3	100.0
	平均	4.3	10.2	25.9	12.0	47.4	0.2	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	2.7	6.7	15.9	8.1	66.6	0.1	100.0
	公立	4.2	7.3	17.5	8.0	62.9	0.2	100.0
	私立	3.5	6.6	18.6	9.5	61.4	0.3	100.0
	平均	3.0	6.7	16.9	8.6	64.6	0.2	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	5.1	16.8	29.0	13.2	35.8	0.1	100.0
	公立	4.4	14.1	30.4	14.0	36.8	0.3	100.0
	私立	5.4	14.6	28.9	14.9	35.8	0.4	100.0
	平均	5.1	15.9	29.1	13.8	35.8	0.2	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

10-4表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	4.2	12.3	35.7	32.6	15.0	0.2	100.0
	公立	5.7	17.9	37.1	28.0	11.1	0.3	100.0
	私立	6.7	15.8	36.4	33.2	7.7	0.1	100.0
	平均	4.9	13.6	36.0	32.4	12.9	0.2	100.0
キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	国立	3.5	5.9	12.2	5.8	72.4	0.2	100.0
	公立	3.6	7.4	9.9	6.6	72.0	0.5	100.0
	私立	4.9	6.9	13.8	5.5	68.5	0.3	100.0
	平均	3.8	6.2	12.5	5.8	71.4	0.2	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	3.8	6.2	10.9	6.3	72.7	0.2	100.0
	公立	4.3	5.8	10.7	7.4	71.3	0.5	100.0
	私立	4.6	7.7	14.3	8.2	64.9	0.3	100.0
	平均	4.0	6.5	11.7	6.8	70.7	0.2	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	6.4	14.9	24.9	12.3	41.3	0.3	100.0
	公立	6.1	12.3	22.1	10.9	48.0	0.5	100.0
	私立	6.8	14.1	26.3	15.0	37.4	0.3	100.0
	平均	6.5	14.5	25.1	12.9	40.8	0.3	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

10-5表 設置者別・大学の学生支援体制への満足度（大学院専門職学位課程）
（単位：％）

区分		利用したことがある				利用したことがない	無回答	計
		不満	やや不満	やや満足	満足			
図書館・自習室などの学習支援施設	国立	4.3	16.0	38.0	38.9	2.7	0.1	100.0
	公立	3.5	21.9	37.7	34.2	2.6	-	100.0
	私立	4.7	14.9	33.8	42.7	3.9	-	100.0
	平均	4.5	15.6	35.5	41.0	3.4	0.0	100.0
キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	国立	3.0	6.5	15.3	7.5	67.5	0.2	100.0
	公立	5.3	11.4	9.6	5.3	68.4	-	100.0
	私立	2.9	6.8	12.4	8.1	69.4	0.4	100.0
	平均	3.0	6.9	13.4	7.7	68.7	0.3	100.0
学習・生活面でのカウンセリング	国立	3.1	6.7	17.2	9.1	63.6	0.2	100.0
	公立	2.6	11.4	14.0	9.6	62.3	-	100.0
	私立	3.0	7.5	20.7	17.0	51.6	0.2	100.0
	平均	3.0	7.4	19.1	13.8	56.6	0.2	100.0
奨学金等の経済的支援に関する情報提供	国立	4.8	13.1	23.1	11.2	47.5	0.3	100.0
	公立	5.3	11.4	24.6	15.8	42.1	0.9	100.0
	私立	4.3	10.0	24.3	25.7	35.6	0.2	100.0
	平均	4.5	11.2	23.9	19.9	40.3	0.2	100.0

(注) 「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

1 1 - 1 表 設置者別・学生の不安や悩み（大学昼間部）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	4.7	28.2	38.7	28.3	0.1	100.0
	公立	4.0	27.8	41.8	26.3	0.1	100.0
	私立	4.2	28.7	41.5	25.5	0.1	100.0
	平均	4.3	28.6	41.0	26.0	0.1	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	12.0	29.6	29.5	28.9	-	100.0
	公立	11.8	28.6	30.4	29.1	0.1	100.0
	私立	13.4	28.2	28.0	30.3	0.1	100.0
	平均	13.1	28.5	28.4	30.0	0.1	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	27.2	38.7	16.9	17.2	-	100.0
	公立	29.8	38.3	15.4	16.5	0.1	100.0
	私立	33.4	36.8	13.9	15.8	0.1	100.0
	平均	32.1	37.2	14.5	16.1	0.1	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	2.3	10.3	34.9	52.5	0.0	100.0
	公立	1.8	11.3	36.3	50.4	0.1	100.0
	私立	2.6	14.3	40.0	43.0	0.1	100.0
	平均	2.5	13.5	38.9	45.0	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	2.7	13.0	38.4	45.9	0.0	100.0
	公立	2.7	14.0	36.4	46.9	0.1	100.0
	私立	3.6	13.2	35.7	47.4	0.0	100.0
	平均	3.4	13.2	36.2	47.1	0.0	100.0

1 1 - 2 表 設置者別・学生の不安や悩み（短期大学昼間部）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立
	公立	2.0	29.1	44.7	24.2	-	100.0
	私立	3.1	27.2	46.9	22.8	0.1	100.0
	平均	3.0	27.3	46.8	22.9	0.1	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立
	公立	12.1	28.0	30.6	29.2	0.1	100.0
	私立	7.9	18.8	31.2	42.0	0.1	100.0
	平均	8.1	19.2	31.2	41.4	0.1	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立
	公立	36.5	33.4	13.0	16.9	0.2	100.0
	私立	23.5	35.7	17.5	23.1	0.2	100.0
	平均	24.2	35.6	17.2	22.8	0.2	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立
	公立	2.7	14.0	38.4	44.7	0.2	100.0
	私立	2.8	12.3	38.3	46.5	0.1	100.0
	平均	2.8	12.4	38.3	46.4	0.1	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立
	公立	2.5	14.6	34.8	48.1	-	100.0
	私立	2.9	15.7	34.3	47.1	0.1	100.0
	平均	2.9	15.6	34.3	47.1	0.1	100.0

11-3表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院修士課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	2.3	17.7	37.2	42.7	0.1	100.0
	公立	3.3	17.3	36.4	42.9	0.1	100.0
	私立	3.0	16.8	37.7	42.2	0.2	100.0
	平均	2.6	17.3	37.3	42.5	0.2	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	6.6	19.8	30.8	42.6	0.2	100.0
	公立	5.9	18.3	28.3	47.3	0.1	100.0
	私立	6.1	18.4	29.0	46.1	0.3	100.0
	平均	6.4	19.3	30.0	44.1	0.2	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	21.2	26.3	15.5	36.7	0.3	100.0
	公立	19.8	23.1	15.1	41.8	0.1	100.0
	私立	22.9	25.9	15.4	35.4	0.4	100.0
	平均	21.7	26.0	15.5	36.6	0.3	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	3.6	14.4	30.4	51.4	0.3	100.0
	公立	5.3	16.4	32.5	45.6	0.1	100.0
	私立	5.3	18.5	31.7	44.2	0.3	100.0
	平均	4.3	15.9	31.0	48.6	0.3	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	1.7	9.8	30.8	57.4	0.3	100.0
	公立	2.0	9.3	28.0	60.7	0.1	100.0
	私立	2.8	9.1	28.8	59.0	0.3	100.0
	平均	2.1	9.6	29.9	58.2	0.3	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

11-4表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院博士課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	2.2	10.7	27.3	59.3	0.5	100.0
	公立	2.7	13.9	28.3	54.5	0.6	100.0
	私立	3.0	12.3	31.9	52.4	0.3	100.0
	平均	2.4	11.3	28.6	57.2	0.5	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	3.9	13.8	23.5	58.3	0.4	100.0
	公立	4.1	13.1	23.6	58.6	0.6	100.0
	私立	3.8	12.7	25.6	57.6	0.3	100.0
	平均	3.9	13.5	24.1	58.2	0.4	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	24.7	23.8	13.7	37.4	0.4	100.0
	公立	19.3	19.6	15.8	44.7	0.6	100.0
	私立	21.4	22.3	17.3	38.6	0.4	100.0
	平均	23.5	23.2	14.7	38.2	0.4	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	7.7	20.8	27.8	43.4	0.3	100.0
	公立	6.7	17.9	26.8	48.0	0.5	100.0
	私立	7.9	23.8	28.5	39.4	0.4	100.0
	平均	7.7	21.4	27.9	42.7	0.3	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	1.9	7.8	24.3	65.7	0.3	100.0
	公立	2.2	5.7	25.4	65.9	0.8	100.0
	私立	2.1	8.0	26.4	63.1	0.4	100.0
	平均	2.0	7.7	24.9	65.1	0.4	100.0

(注)「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

11-5表 設置者別・学生の不安や悩み（大学院専門職学位課程）

(単位：%)

区分		大いにある	少しある	あまりない	全くない	無回答	計
授業の内容についていっていない	国立	3.5	24.4	40.3	31.6	0.2	100.0
	公立	3.5	28.9	36.0	31.6	-	100.0
	私立	4.5	25.9	42.1	27.2	0.3	100.0
	平均	4.1	25.5	41.2	29.1	0.3	100.0
卒業後にやりたいことがみつからない	国立	2.4	7.6	27.0	62.8	0.2	100.0
	公立	7.9	14.0	22.8	54.4	0.9	100.0
	私立	3.0	12.6	25.9	58.3	0.2	100.0
	平均	3.0	10.8	26.2	59.8	0.2	100.0
希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	国立	22.8	22.1	12.7	42.2	0.2	100.0
	公立	13.2	22.8	12.3	50.9	0.9	100.0
	私立	20.3	23.3	15.5	40.5	0.4	100.0
	平均	20.9	22.8	14.3	41.6	0.4	100.0
経済的に勉強を続けることが難しい	国立	4.3	17.7	27.4	50.3	0.3	100.0
	公立	5.3	11.4	29.8	53.5	-	100.0
	私立	5.1	18.6	30.6	45.6	0.2	100.0
	平均	4.8	17.9	29.3	47.7	0.3	100.0
学内の友人関係の悩みがある	国立	2.1	10.1	29.1	58.5	0.2	100.0
	公立	1.8	6.1	31.6	60.5	-	100.0
	私立	2.5	10.1	26.7	60.5	0.2	100.0
	平均	2.3	9.9	27.8	59.8	0.1	100.0

(注) 「配偶者あり」と回答した者も集計に含む。

V. 參考資料

平成 28 年度学生生活調査実施要領
 (「平成 28 年度学生生活調査」実施の手引(学校事務担当者用)より)

I 調査の概要

1. 調査の目的 この調査は、全国の学生を対象として、学生生活状況を把握することにより、学生生活の実情を明らかにし、学生生活支援事業の充実のための基礎資料を得ることを目的としています。
2. 調査の対象 大学院、大学学部及び短期大学本科の学生
 (社会人学生を含む。通信課程、休学者及び外国人留学生は除く。)
※奨学金受給の有無にかかわらず、全ての学生を対象としています。
3. 調査の時期 平成 28 年 11 月
4. 提出期限 平成 28 年 12 月 16 日(金)
5. 提出先 〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
 独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
 (ご提出の際は、同封のゆうパック伝票をご使用ください。)
6. 調査数 下記の抽出率によって在籍学生(平成28年5月1日現在の学校基本調査による。)から抽出した数とします。
 (貴校の調査数は、別紙「調査依頼数及び送付内訳」を参照してください。)

【平成28年度 抽出率】

区分		設置者別		
		国 立	公 立	私 立
大学院	修士課程	$\frac{4}{67}$	$\frac{34}{89}$	$\frac{2}{19}$
	博士課程	$\frac{4}{25}$	$\frac{41}{58}$	$\frac{27}{76}$
	専門職学位課程	$\frac{9}{16}$	$\frac{85}{89}$	$\frac{1}{2}$
大学学部	昼間部	$\frac{1}{38}$	$\frac{5}{59}$	$\frac{1}{100}$
	夜間部	$\frac{13}{33}$	$\frac{6}{7}$	$\frac{1}{6}$
短期大学	昼間部	/	$\frac{1}{2}$	$\frac{3}{82}$
	夜間部	/	$\frac{23}{24}$	$\frac{31}{46}$

※ 大学学部(昼間部)については、層化多段抽出を行っているため、在籍学生数と調査数が完全には比例しません。また、在籍学生数の少ない一部の大学は、一定の確率で調査依頼から外れています。

7. 調査方法 あらかじめ、この調査の対象となる全在籍学生の中から、本機構が依頼した調査数の学生を「無作為抽出方法(3頁「Ⅲ 被調査学生の抽出方法」を参照してください)」によって抽出後、所定の調査票を使用して調査します。
8. 調査ホームページ http://www.jasso.go.jp/about/statistics/gakusei_chosa/2016.html
 日本学生支援機構／各種調査情報／学生生活調査／平成 28 年度学生生活調査

Ⅱ 大学における事務

1. 調査開始前の準備

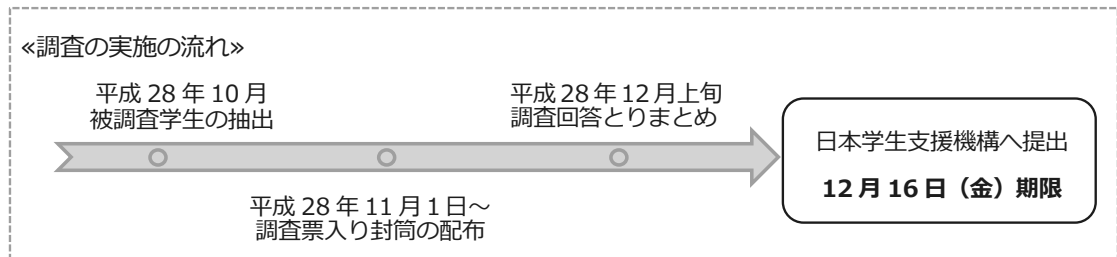
(1) 学生への周知

調査票回収まで一連の作業が円滑に行われるよう、被調査学生を抽出する前に、この調査の趣旨及び実施について、学生に十分な周知を図ってください。

(2) 被調査学生の決定

本機構から依頼した調査数を、3頁「Ⅲ 被調査学生の抽出方法」によって抽出してください。

2. 調査の実施



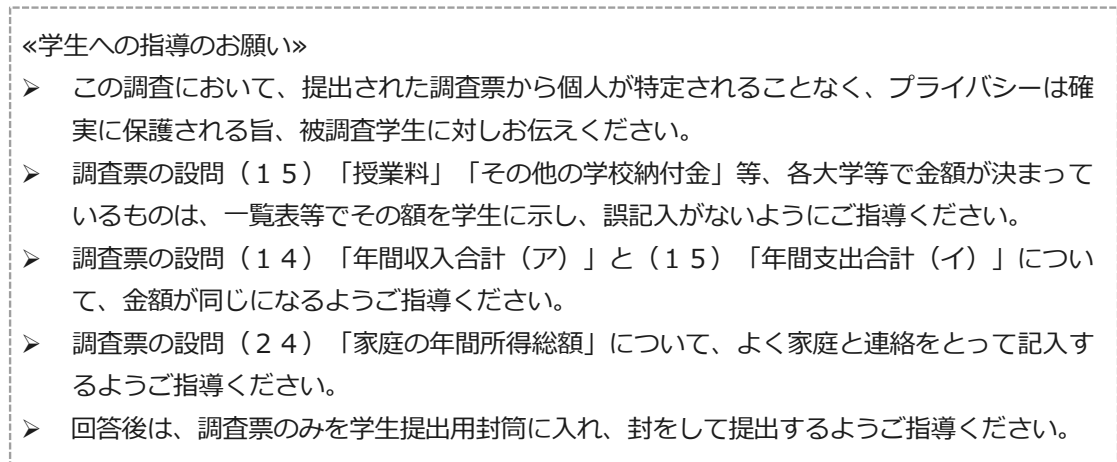
- (1) 11月1日以降、被調査学生へ、調査票及び調査票記入要領の入った学生提出用封筒（※）を配布してください。

※ 区分で調査票が異なりますのでご注意ください。

封筒表側下部のラインで色分けしています。

[緑色→【大学院 学生用】、黄色→【大学 学生用】、オレンジ色→【短期大学 学生用】]

- (2) 以下のとおり、学生への指導のご協力をお願いいたします。



・ 調査票配布後、被調査学生から調査票の入った学生提出用封筒（以下「提出封筒」という）を回収し、とりまとめをお願いいたします。お手数ですが、提出封筒を回収できていない被調査学生には督促をお願いいたします。

- (3) 調査についてのご質問は、同封のFAX質問票でお問合せください。

（日本学生支援機構 学生支援調査係 FAX番号：03-5520-6048）

その他、「よくある質問（事務担当者様用）」を調査ホームページ（1頁8参照）に掲載していますので、併せてご利用ください。

3. 調査後の整理と報告

- ・ 学生より回収した提出封筒を取りまとめ、別紙「調査票回収枚数一覧表」に回収枚数等をご記入のうえ、12月16日（金）までに本機構へ送付してください。
- ・ 開封しての内容確認は不要です。回収した提出封筒の枚数のみご確認ください。
（ただし、提出封筒の重さや、封筒の窓から見て、明らかに異なる内容物が同封されている場合は、学生へご指導ください。）
- ・ 本機構への発送にあたっては、同封のゆうパック伝票【着払い用】（学校名印字済み）をご利用ください。2個口になる場合は、恐れ入りますが印字済みの伝票にならってゆうパック伝票（学校名印字なし）へのご記入をお願いいたします。なお、送付封筒または箱の表に「学生生活調査調査票在中」と朱書してください。
※ 被調査学生が休退学になった等により使用しないことが判明している学生提出用封筒がありましたら、併せて本機構への発送時にご返却ください。
- ・ 本機構への発送後に学生から遅れて提出があり、追加送付する場合は、6頁の「調査票回収枚数一覧表 追加提出用」をコピーしてご利用ください。

4. 前回調査からの変更点

- ・ 前回までは大学と短期大学の調査票を共通としていましたが、大学用と短期大学用にそれぞれに分けました。
- ・ 調査票記入要領は、大学・短期大学・大学院で記載事項がほとんど同じであるため、共通としました。
- ・ 調査票及び調査票記入要領を、あらかじめ学生提出用封筒に封入した状態で、本機構より大学宛発送することとしました。
- ・ 学生提出用封筒を、大学・短期大学・大学院用に分け、長3封筒から角2封筒（色・窓付き）に変更しました。
- ・ 調査項目は概ね前回調査と同じですが、一部の設問を、削除・追加・変更しています。

Ⅲ 被調査学生の抽出方法

1. 抽出方法

- (1) 平成28年5月1日現在の大学院、大学学部及び短期大学本科の在籍者（5月1日現在休学者及び外国人留学生を除く）が対象となります。なお大学院については、修士課程、博士課程、専門職学位課程別、大学及び短期大学については、昼間部、夜間部別に在籍者を分類し、抽選用名簿を作成してください。
- (2) 上記(1)で作成した抽選用名簿について、本機構が依頼した調査数（調査数は、「調査依頼数及び送付内訳」をご参照ください）を下記(3)の方法により抽出してください。なお、上記の分類に加え、学部等についても在籍学生数に応じて比例配分し、偏りが生じないようにしてください（割り切れない場合には、四捨五入してください）。

例) 調査依頼数が20の大学で在籍学生数が、文学部は700人、工学部は1,300人である場合。

$$\text{文学部の調査数} = \frac{700 \text{ 人 (文学部の在籍学生数)}}{2,000 \text{ 人 (文学部と工学部の合計在籍学生数)}} \times 20 \text{ 人 (調査依頼数)} = 7 \text{ 人}$$

→ 文学部7人、工学部13人 に配分してください。

- (3) 学生数の多少に関わらず、調査ホームページ（1頁8参照）から「被調査学生の抽出について」（Excelファイル）をダウンロードし、以下のように抽出してください。

(ア) ダウンロードしたファイルに学生数と調査数を入力すると、抽出基点番号と抽出間隔が算出されます。

[例] 在籍学生数が800名、調査数が160名の場合

学生数	調査数	抽出基点番号	抽出間隔
800	160	4	5

※「抽出基点番号」「抽出間隔」の計算には乱数を用いていますので、入力するたびに数値が変わりますが、どの結果を使用しても問題ありません。

(イ) 抽選用名簿に照らし合わせて、抽出基点番号の学生から抽出間隔ごとに学生を選定し、調査数の学生を抽出してください。

学籍番号	通し番号	
ABC0001	1	
ABC0002	2	
ABC0003	3	
ABC0004	4	← 【調査対象】（抽出基点番号4）
ABC0005	5	
ABC0006	6	
ABC0007	7	
ABC0008	8	
ABC0009	9	← 【調査対象】（抽出基点番号4+抽出間隔5）
ABC0010	10	
ABC0011	11	
ABC0012	12	
ABC0013	13	
ABC0014	14	← 【調査対象】（抽出基点番号4+抽出間隔5+抽出間隔5）

2. 抽出上の注意

- (1) 抽出は必ず1.(3)の方法で行ない、本機構の奨学金受給者のみを対象とするなど、作為的に抽出しないください。
- (2) 抽出により決定した被調査学生は、変更しないでください。 選定された学生が調査を拒否した場合や、本年5月1日現在では在籍していたもののその後に休退学した学生が対象となった場合も、新たな調査対象学生の選定は不要です。
- (3) 上記の抽出方法で正しく実施した結果、学内のみでは偏りがあると思われる対象が選ばれても（例：居住形態が特定の者に偏った場合）、全国的集計によって確率的に調整されますので、抽出結果の修正は不要です。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

平成28年度学生生活調査 調査票(大学)

(大学生等の学習状況に関する調査、インターンシップ経験に関する調査を含む)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(44)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください(複数回答以外)。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。鉛筆、ボールペンなどご自由にお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 昼間部・夜間部の在籍状況	1. 昼間部	2. 夜間部
(2) 性別	1. 男性	2. 女性
(3) 現在の学年	1. 1学年 2. 2学年 3. 3学年 4. 4学年 5. 5学年 6. 6学年 ※留年や休学などは数えません。例:4年生を留年して現在5年目の場合は、「4学年」を選択してください。	
(4) 年齢	歳	
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系 2. 法・政・経・商・社系 3. 理・工系 4. 農系 5. 薬系 6. 医・歯系 7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系 9. 福祉系 10. 家政・生活系 11. 芸術系 12. スポーツ系 13. その他 ※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。	
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅 2. 学生寮(寄宿舎) 3. 下宿・アパート・その他 ※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。	
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 2. 大阪府・京都府・兵庫県 3. その他の道、県	
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分 2. 11分～20分 3. 21分～30分 4. 31分～60分 5. 61分～90分 6. 91分～120分 7. 121分以上	
(9) 現在の住所	(10) 入学前の住所	
(都・道・府・県)	(都・道・府・県、又は海外)	

Ⅱ. 学生生活の状況について

(11) あなたの最近1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	最近1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学の授業	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学の授業の予習・復習など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きします。

※年額 千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(平成27年12月～平成28年11月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 日本学生支援機構の奨学金						000 円
((c)は、大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
(d) 大学からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(e) 大学以外の機関による給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(f) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く						000 円
((g)は、大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
((h)は、大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
(i) アルバイト						000 円
(j) 定職収入						000 円
(k) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						000 円
※年間収入合計(ア)						000 円

(15) 年間支出額(平成27年12月～平成28年11月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
※年間支出合計(イ)						000 円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ)になるようにしてください

(16) 家庭からの給付のみで修学可能ですか(最近1年間の経験から)(1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない		
(17) 大学の授業料減免制度を受けていますか(平成28年度前期分について)(1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった	5. 申請しなかった	6. 大学に減免制度がなかった
(18) 日本学生支援機構の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 第一種奨学金(無利子)を受けた	2. 第二種奨学金(有利子)を受けた	3. 第一種と第二種の併用を受けた	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった

質問(18)で5. と回答した方に(19)をお聞きします

(19) 「希望したが申請しなかった」理由について(1つに○)	1. 成績基準が合わなかった	2. 収入基準が合わなかった
	3. 申請手続きが複雑なのでやめた	4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた
	5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受け取ることができたのでやめた	6. その他

(20) 日本学生支援機構以外の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた
	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった

(21) アルバイト(最近1年間) (それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した

↓ 質問(21)のいずれかで2.～4.と回答した方に(22)(23)をお聞きます。

(22) アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)			
1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業
5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(22)を参照してください。			
(23) アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)			
1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費
5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金

IV. 家庭の状況について

(24) あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。 家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。 ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学の方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立の家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、 ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p>																																																	
	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">ア) 主たる家計支持者</td> <td colspan="5">イ) その他の方</td> </tr> <tr> <td>億</td><td>千万</td><td>百万</td><td>十万</td><td>万</td> <td>億</td><td>千万</td><td>百万</td><td>十万</td><td>万</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">万円</td> <td colspan="5">万円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">【万円未満四捨五入】</td> <td colspan="5">【万円未満四捨五入】</td> </tr> </table> <p>※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(24)を参照してください。</p>	ア) 主たる家計支持者					イ) その他の方					億	千万	百万	十万	万	億	千万	百万	十万	万											万円					万円					【万円未満四捨五入】					【万円未満四捨五入】			
ア) 主たる家計支持者					イ) その他の方																																													
億	千万	百万	十万	万	億	千万	百万	十万	万																																									
万円					万円																																													
【万円未満四捨五入】					【万円未満四捨五入】																																													
(25) 主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父	2. 母	3. あなた自身	4. 配偶者	5. その他																																													
(26) 主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下	2. 45～54歳	3. 55歳以上																																															
(27) 主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯	2. 個人営業世帯	3. 法人経営・自由業世帯																																															
	4. 農林・水産業世帯	5. その他の世帯																																																
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(27)を参照してください。																																																		

V. 大学での授業・学習について

◀ 掲載略(「大学生等の学習状況に関する調査」箇所) ▶

VI. インターシップに関すること

◀ 掲載略(「インターシップ経験に関する調査」箇所) ▶



ご協力ありがとうございました。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

平成28年度学生生活調査 調査票(短期大学)

(大学生等の学習状況に関する調査、インターンシップ経験に関する調査を含む)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(44)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください(複数回答以外)。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。鉛筆、ボールペンなどご自由にお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

(※ 各設問に記載の「大学」は、本調査票では短期大学のことを指します。)

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 昼間部・夜間部の在籍状況	1. 昼間部	2. 夜間部
(2) 性別	1. 男性	2. 女性
(3) 現在の学年	1. 1学年 2. 2学年 3. 3学年 ※留年や休学などは数えません。例:1年生を留年して現在2年目の場合は、「1学年」を選択してください。	
(4) 年齢	歳	
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系 2. 法・政・経・商・社系 3. 理・工系 4. 農系 (「5.」「6.」は、短期大学の調査票では使用しません。) 7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系 9. 福祉系 10. 家政・生活系 11. 芸術系 12. スポーツ系 13. その他 ※ 歯科衛生士、医療事務、薬局事務を目指す学科は、7. 看護・保健系を選択してください。 幼児・保育教育学は、8. 教育・教員養成系を選択してください。 分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。	
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅 2. 学生寮(寄宿舎) 3. 下宿・アパート・その他 ※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。	
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県 2. 大阪府・京都府・兵庫県 3. その他の道、県	
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分 2. 11分～20分 3. 21分～30分 4. 31分～60分 5. 61分～90分 6. 91分～120分 7. 121分以上	
(9) 現在の住所	(10) 入学前の住所	
(都・道・府・県)	(都・道・府・県、又は海外)	

Ⅱ. 学生生活の状況について

(11) あなたの最近1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	最近1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学の授業	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学の授業の予習・復習など	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 卒業論文・卒業研究	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 大学の授業以外の学習	1	2	3	4	5	6	7	8
5. 部活動・サークル活動	1	2	3	4	5	6	7	8
6. アルバイト・定職	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
8. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

Ⅲ. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状況についてお聞きします。

※年額 千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(平成27年12月～平成28年11月)

(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 日本学生支援機構の奨学金						000 円
((c)は、短期大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
(d) 大学からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(e) 大学以外の機関による給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(f) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く						000 円
((g)は、短期大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
((h)は、短期大学の調査票では使用しません。)	—	—	—	—	—	000 円
(i) アルバイト						000 円
(j) 定職収入						000 円
(k) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)						000 円
※年間収入合計(ア)						000 円

(15) 年間支出額(平成27年12月～平成28年11月)

(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
※年間支出合計(イ)						000 円

↑
年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ)になるようにしてください

(16) 家庭からの給付のみで修学可能ですか(最近1年間の経験から)(1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない
(17) 大学の授業料減免制度を受けていますか(平成28年度前期分について)(1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった
(18) 日本学生支援機構の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった	1. 第一種奨学金(無利子)を受けた
				2. 第二種奨学金(有利子)を受けた
				3. 第一種と第二種の併用を受けた

質問(18)で5.と回答した方に(19)をお聞きします

(19) 「希望したが申請しなかった」理由について(1つに○)	1. 成績基準が合わなかった	2. 収入基準が合わなかった
	3. 申請手続きが複雑なのでやめた	4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた
	5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた	6. その他

(20) 日本学生支援機構以外の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた
	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった

(21) アルバイト(最近1年間) (それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1～2日した	4. 週に3日以上した

質問(21)のいずれかで2.～4.と回答した方に(22)(23)をお聞きます。

(22) アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)			
1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業
5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(22)を参照してください。			
(23) アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)			
1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費
5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費
9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金

IV. 家庭の状況について

(24) あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。 家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。 ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学の方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立の家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p>																																																	
	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="5">ア) 主たる家計支持者</td> <td colspan="5">イ) その他の方</td> </tr> <tr> <td>億</td><td>千万</td><td>百万</td><td>十万</td><td>万</td> <td>億</td><td>千万</td><td>百万</td><td>十万</td><td>万</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="5">万円</td> <td colspan="5">万円</td> </tr> <tr> <td colspan="5">【万円未満四捨五入】</td> <td colspan="5">【万円未満四捨五入】</td> </tr> </table> <p>※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(24)を参照してください。</p>	ア) 主たる家計支持者					イ) その他の方					億	千万	百万	十万	万	億	千万	百万	十万	万											万円					万円					【万円未満四捨五入】					【万円未満四捨五入】			
ア) 主たる家計支持者					イ) その他の方																																													
億	千万	百万	十万	万	億	千万	百万	十万	万																																									
万円					万円																																													
【万円未満四捨五入】					【万円未満四捨五入】																																													
(25) 主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父	2. 母	3. あなた自身	4. 配偶者	5. その他																																													
(26) 主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下	2. 45～54歳	3. 55歳以上																																															
(27) 主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯	2. 個人営業世帯	3. 法人経営・自由業世帯																																															
	4. 農林・水産業世帯	5. その他の世帯																																																
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(27)を参照してください。																																																		

V. 大学での授業・学習について

◀ 掲載略(「大学生等の学習状況に関する調査」箇所) ▶

VI. インターシップに関すること

◀ 掲載略(「インターシップ経験に関する調査」箇所) ▶



ご協力ありがとうございました。

学校調査番号	※
整理番号	※

※JASSO使用欄(記入不要)

平成28年度学生生活調査 調査票(大学院)

(インターンシップ経験に関する調査を含む)

～回答のお願い～

この調査は学生支援の充実を図ることを目的に実施しており、調査結果は国の教育政策実施のための資料として使用されるほか、学生生活に関する調査研究や報道関係の基礎的資料として活用されています。また、本機構が学生支援の充実のために意義のある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。いずれの場合にも、ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。

回答方法 ※設問は(1)～(36)まであります。

- ① 回答は、あてはまる番号を1つ選び○で囲んでください(複数回答以外)。都道府県名や金額などは回答欄に記入してください。
- ② 記入する際の筆記具は特に指定いたしません。鉛筆、ボールペンなどご自由にお使いください。
- ③ 別紙の調査票記入要領を参照して回答してください。
- ④ 記入後は、本調査票のみ封筒に入れて封をしてください。
- ⑤ 回答期限、提出先は学校の事務担当者の指示に従ってください。

I. あなたご自身について

(選択式の設問については、あてはまる番号を1つ選び、その番号を○で囲んでください)

(1) 修士課程・博士課程・ 専門職学位課程の在籍状況	1. 修士課程	2. 博士課程	3. 専門職学位課程
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.1(1)を参照してください。			
(2) 性別	1. 男性	2. 女性	
(3) 現在の学年	1. 1学年	2. 2学年	3. 3学年 4. 4学年
※留年や休学などは数えません。 ※一貫制博士課程の後期3年生の方は、博士課程の1年生と教えてください。			
(4) (a) 年齢	歳	(4) (b) 配偶者の有無	1. いる 2. いない
(5) 学科(専攻)の系統	1. 文・外国語・国際・文化系	2. 法・政・経・商・社系	3. 理・工系 4. 農系
	5. 薬系	6. 医・歯系	7. 看護・保健系 8. 教育・教員養成系
	9. 福祉系	10. 家政・生活系	11. 芸術系 12. スポーツ系
	13. その他	※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(5)を参照してください。	
(6) 現在住んでいるところ	1. 自宅	2. 学生寮(寄宿舎)	3. 下宿・アパート・その他
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.2(6)を参照してください。			
(7) 学校の所在地	1. 東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県	2. 大阪府・京都府・兵庫県	3. その他の道、県
(8) 片道の通学時間	1. 0分～10分	2. 11分～20分	3. 21分～30分 4. 31分～60分
	5. 61分～90分	6. 91分～120分	7. 121分以上
(9) 現在の住所	(都・道・府・県)	(10) 入学前の住所	(都・道・府・県、又は海外)

II. 学生生活の状況について

(11) あなたの最近1週間(7日間)の生活時間について(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	最近1週間(7日間)の生活時間(単位:時間)							
	0時間	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31時間以上
1. 大学内での授業、研究、実習、実験	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 大学外での学習、研究	1	2	3	4	5	6	7	8
3. ティーチングアシスタント(TA)	1	2	3	4	5	6	7	8
4. リサーチアシスタント(RA)	1	2	3	4	5	6	7	8
5. アルバイト・定職(TA・RAを除く)	1	2	3	4	5	6	7	8
6. 就職活動	1	2	3	4	5	6	7	8
7. 娯楽・交友	1	2	3	4	5	6	7	8

(12) 現在通っている大学について次の点で満足していますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	利用したことがある				利用したことがない
	不満	やや不満	やや満足	満足	
1. 図書館・自習室などの学習支援施設	1	2	3	4	5
2. キャリア・センターなどでの就職・進路への支援	1	2	3	4	5
3. 学習・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4	5
4. 奨学金等の経済的支援に関する情報提供	1	2	3	4	5

(13) いまあなたには次のような不安や悩みがありますか(それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○)

項 目	大いにある	少しある	あまりない	全くない
1. 授業の内容についていけない	1	2	3	4
2. 卒業後にやりたいことがみつからない	1	2	3	4
3. 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ	1	2	3	4
4. 経済的に勉強を続けることが難しい	1	2	3	4
5. 学内の友人関係の悩みがある	1	2	3	4

III. あなたご自身の経済状況について

あなたご自身の1年間の経済状態についてお聞きします。

※年額 千円未満は四捨五入、収入額・支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

※各項目については、調査票記入要領P.2(14)、P.4(15)をそれぞれ参照してください。

(14) 年間収入額(平成27年12月～平成28年11月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)						000 円
(b) 日本学生支援機構 の奨学金						000 円
(c) 日本学術振興会の研究 奨励金(博士課程のみ)						000 円
(d) 大学からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)						000 円
(e) 大学以外の機関による給 付奨学金(返済不要の奨学金)						000 円
(f) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く						000 円
(g) ティーチングアシスタント (TA)						000 円
(h) リサーチアシスタント (RA)						000 円
(i) アルバイト ((g)と(h)を除く)						000 円
(j) 定職収入						000 円
(k) その他(貯蓄などを取り崩 した金額や借入金など)						000 円
※年間収入合計(ア)						000 円

(15) 年間支出額(平成27年12月～平成28年11月)
(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

項 目	千万	百万	十万	万	千	円
(A) 授業料 (家庭が支払った授業料も含む)						000 円
(B) その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)						000 円
(C) 修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)						000 円
(D) 課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)						000 円
(E) 通学費						000 円
(F) 食費 (自宅通学者は外食費を記入)						000 円
(G) 住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)						000 円
(H) 保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代など含む)						000 円
(I) 娯楽・嗜好費						000 円
(J) 通信費 (携帯電話、固定電話代など)						000 円
(K) その他の日常費						000 円
(L) 貯金						000 円
※年間支出合計(イ)						000 円

↑
年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ)になるようにしてください

(16)家庭からの給付のみで修学可能ですか(最近1年間の経験から)(1つに○)	1. 修学可能	2. 修学不自由	3. 修学継続困難	4. 家庭からの給付はない		
(17)大学の授業料減免制度を受けていますか(平成28年度前期分について)(1つに○)	1. 全額を受けた	2. 半額以上全額未満を受けた	3. 半額未満を受けた	4. 申請したが不許可になった	5. 申請しなかった	6. 大学に減免制度がなかった
(18)日本学生支援機構の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 第一種奨学金(無利子)を受けた	2. 第二種奨学金(有利子)を受けた	3. 第一種と第二種の併用を受けた	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった

質問(18)で5. と回答した方に(19)をお聞きます

(19)「希望したが申請しなかった」理由について(1つに○)	1. 成績基準が合わなかった	2. 収入基準が合わなかった	3. 申請手続きが複雑なのでやめた	4. 貸与のため卒業後の返還が大変なのでやめた	5. 日本学生支援機構以外の奨学金を受けることができたのでやめた	6. その他
--------------------------------	----------------	----------------	-------------------	-------------------------	----------------------------------	--------

(20)日本学生支援機構以外の奨学金の受給について(最近1年間)(1つに○)	1. 給付奨学金を受けた	2. 貸与奨学金を受けた	3. 給付・貸与の両方を受けた	4. 申請したが不採用になった	5. 希望したが申請しなかった	6. 奨学金が必要なかった
--	--------------	--------------	-----------------	-----------------	-----------------	---------------

(21)アルバイト(最近1年間)(それぞれの項目について1つに○)	【授業期間中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1~2日した	4. 週に3日以上した
	【長期休暇中】	1. まったくしなかった	2. 不定期的にした	3. 週に1~2日した	4. 週に3日以上した

質問(21)のいずれかで2. ~4. と回答した方に(22)(23)をお聞きます

(22)アルバイトの従事職種(主なもの1つに○)	1. 塾講師・家庭教師など	2. 事務	3. 販売	4. 飲食業	5. 販売・飲食業を除く軽労働	6. 重労働・危険作業	7. 特殊技能	8. その他
--------------------------	---------------	-------	-------	--------	-----------------	-------------	---------	--------

※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.5(22)を参照してください。

(23)アルバイト収入の主な使い道(主な使い道1つに○)	1. 授業料	2. その他の学校納付金	3. 修学費	4. 課外活動費	5. 通学費	6. 食費	7. 住居・光熱費	8. 保健衛生費	9. 娯楽・嗜好費	10. 通信費	11. その他の日常費	12. 貯金
------------------------------	--------	--------------	--------	----------	--------	-------	-----------	----------	-----------	---------	-------------	--------

IV. 家庭の状況について

(24)あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について	<p>この項目は、この調査で特に重要な意味を持つものです。家族とよく連絡をとって、できるだけ正確な金額を記入してください。</p> <p>1) 所得の総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。ただし、あなたの所得と、あなた以外の家族で学校に在学の方が得た所得は除いてください。</p> <p>2) あなたが結婚などにより独立の家庭を構成している場合は、その独立した家庭の所得総額を、ア) 主たる家計支持者 と イ) その他の家族の方に分けて、それぞれ記入してください。</p> <p>3) 所得がない場合は「0」を記入してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>ア) 主たる家計支持者</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>イ) その他の方</p> <table border="1" style="border-collapse: collapse; width: 100px;"> <tr> <td style="width: 20px;">億</td> <td style="width: 20px;">千万</td> <td style="width: 20px;">百万</td> <td style="width: 20px;">十万</td> <td style="width: 20px;">万</td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>万円</p> <p>【万円未満四捨五入】</p> </div> </div> <p>※合計する所得の種類については、調査票記入要領P.5(24)を参照してください。</p>	億	千万	百万	十万	万						億	千万	百万	十万	万					
億	千万	百万	十万	万																	
億	千万	百万	十万	万																	
(25)主たる家計支持者について(1つに○)	1. 父	2. 母	3. あなた自身	4. 配偶者	5. その他																
(26)主たる家計支持者の年齢について(1つに○)	1. 44歳以下	2. 45~54歳	3. 55歳以上																		

IV. 家庭の状況について（続き）

(27)主たる家計支持者の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯	2. 個人営業世帯	3. 法人経営・自由業世帯
	4. 農林・水産業世帯	5. その他の世帯	
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(27)を参照してください。			
(28)あなた自身の職業について(1つに○)	1. 勤労者世帯	2. 個人営業世帯	3. 法人経営・自由業世帯
	4. 農林・水産業世帯	5. その他の世帯	6. 定職を持っていない
※分類が分からない場合は、調査票記入要領P.6(27)を参照してください。			

V. インターンシップに関すること【大学院在学中の経験についてのみお答えください】

《 掲載略（「インターンシップ経験に関する調査」箇所） 》



ご協力ありがとうございました。

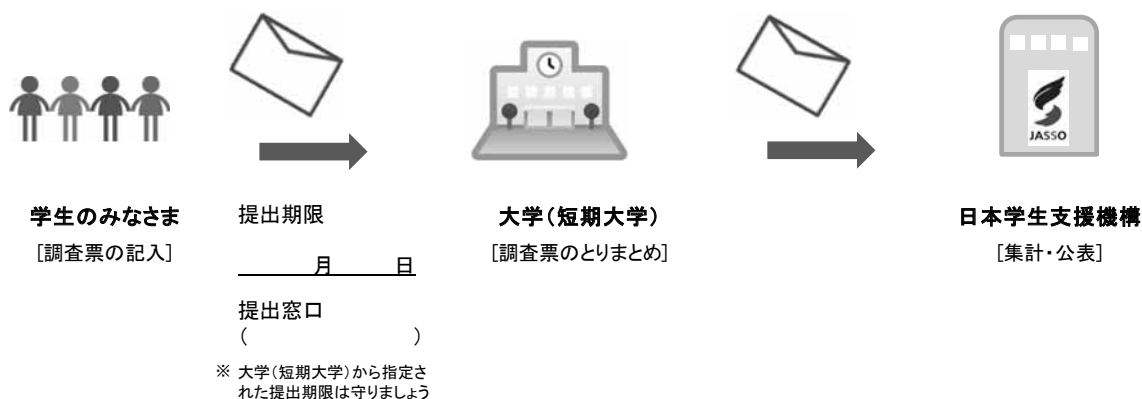
調査票記入要領(大学・短期大学・大学院共通)

調査票は、本記入要領の内容をよく読んで、記入してください。

< はじめに ~学生のみなさまへ~ >

- 日本学生支援機構は、奨学金貸与事業・学生生活支援事業・留学生支援事業を行う文部科学省所管の独立行政法人です。
- 本機構は、標準的な学生生活状況を把握することにより、学生生活支援事業の充実を図るための基礎資料を得ることを目的として、「学生生活調査」を隔年で実施しております。全国の大学・短期大学に在学されている方を対象に調査を実施しており、**お手数ですが調査票への記入について、ご協力をお願いいたします。**
- ①皆様から回答いただいた調査票を統計的に処理しています。
②本調査結果は、国の施策や学術的な研究、報道等の基礎資料として幅広く利用されております。
③本機構が学生支援の充実のために意義ある調査研究であると判断した場合、回答内容を研究機関等に提供することがあります。
④標準的な学生生活費などはホームページで公表しております。
⑤ご回答いただいた内容について、あなた個人の情報が特定されることはありません。
- 調査票の記入にあたっては、記入要領本文も併せてご覧ください。**ご家庭の年間所得や、学生生活に必要な支出などについて、ご自身で把握できない項目については、ご家族にご確認のうえ、ご記入をお願いいたします。
- 記入が終わりましたら、調査票が入っていた封筒を利用して、封（のりづけ等）をしてから大学（短期大学）にご提出をお願いいたします。

【調査の流れ】



本調査結果は、平成30年3月ごろホームページにて公表を予定しております。
<http://www.jasso.go.jp>

みなさま一人ひとりのご回答が本調査、国の学生支援事業を支えています。
 ◆ご回答にご協力くださいますよう、お願い申し上げます◆

I. あなたご自身について

(1) 修士課程・博士課程・専門職学位課程の在籍状況【大学院の方のみ】

1. 修士課程	修士課程、博士前期課程、一貫制博士課程の前期2年(医・歯・薬・獣医を除く)
2. 博士課程	博士後期課程、一貫制博士課程の後期3年、一貫制博士課程(医・歯・薬・獣医)
3. 専門職学位課程	法科、教職、会計、技術経営大学院などの専門職学位の取れる大学院課程

I. あなたご自身について（続き）

(5) 学科（専攻）の系統

1. 文・外国語・国際・文化系	文学、史学、哲学、教養学、外国語学、その他これに分類される学科および専攻
2. 法・政・経・商・社系	法学、政治学、経済学、商学、社会学、その他これに分類される学科および専攻
3. 理・工系	理学、工学、その他これに分類される学科および専攻
4. 農系	農学、農芸化学、農業工学、農業経済学、林学、林産学、獣医学、畜産学、水産学、その他これに分類される学科および専攻
5. 薬系 ※短大生の方は選択できません。	薬学、その他これに分類される学科および専攻
6. 医・歯系 ※短大生の方は選択できません。	医学、歯学の各学科および専攻
7. 看護・保健系	看護学、上記「薬系」「医・歯系」以外の保健学に分類される学科および専攻
8. 教育・教員養成系	教育学、教員養成を目的とする各学科および専攻
9. 福祉系	社会福祉学、介護福祉学、その他これに分類される学科および専攻
10. 家政・生活系	家政学、食物学、被服学、住居学、児童学、その他これに分類される学科および専攻
11. 芸術系	芸術、デザイン、音楽、その他これに分類される学科および専攻
12. スポーツ系	体育学、その他これに分類される学科および専攻
13. その他	1. ～12. の分類に当てはまらない学科および専攻

(6) 現在住んでいるところ

1. 自宅	家族と同居している場合（持家、借家、社宅等は問いません）。
2. 学生寮（寄宿舎）	大学直営に限らず、大学が借り上げている宿舎や公益法人等が経営している寄宿舎に居住している場合。
3. 下宿・アパート ・その他	間借、学生マンション、親戚・知人宅を含み、修学の為に家族と別居している場合。

(7) 学校の所在地

通学しているキャンパスが複数ある場合は、主に通学しているキャンパスの所在地のある地域を選択してください。

(8) 片道の通学時間

通学しているキャンパスが複数ある場合は、主に通学しているキャンパスまでの通学時間を選択してください。

II. 学生生活の状況について

(11) あなたの最近1週間（7日間）の生活時間について

「4. 大学の授業以外の学習」（大学・短期大学）「2. 大学外での学習、研究」（大学院）には、ダブルスクール、英会話学校、通信講座や独学での学習などが該当します。

III. あなたご自身の経済状況について

(14) 年間収入額（平成27年12月～平成28年11月）（平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月）

最近1年間の収入について、下記1・2のように算定し、その合計を記入してください。

<p>1. 毎月定例的な収入は、最近1ヵ月の12倍 2. 特定時期あるいは臨時的な収入は、最近1年間の実際の収入額 例：「(a) 家庭からの給付」の場合 毎月30,000円ずつ仕送りや小遣いをもらい、 その他に授業料（1年分700,000円）をあなたを経由せず、家庭が支払った場合 $(30,000円 \times 12ヶ月) + 700,000円 = 1,060,000円 \rightarrow (a)$ に記入</p> <p>ただし、平成28年度に入学された方については、28年4月から11月までの収入額は上記1・2のように算定し、28年12月から29年3月までの収入額は、推定した額とします。その合計額を記入してください。</p>

※年額 千円未満は四捨五入、収入額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

(14) 年間収入額(続き)

(a) 家庭からの給付	あなたが家庭から給付を受けた額(仕送り等)および家庭があなただけに代わって直接支払った額(授業料・家賃等)をすべて合計した金額を記入してください。 ※入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)のために受けた給付は、除いてください。 ※自宅通学者の場合は、家庭内でとる食事代などや家庭から一般的に支出されるもので、あなたの分として区分することがむずかしい費用にあてたものは除いてください。
(b) 日本学生支援機構の奨学金	日本学生支援機構から奨学金の貸与を受けている方は、その年額を記入してください。入学時特別増額は含めないでください。
(c) 日本学術振興会の研究奨励金 ※学部生・短大生の方は記入しません。	大学院博士課程に在籍する方で、日本学術振興会から特別研究員として研究奨励金を受けている方は、その年額を記入してください。
(d) 大学からの給付奨学金	大学独自の学内奨学金など、大学から給付される奨学金を受けている方は、その年額を記入してください。ただし、貸与制の奨学金は(f)に記入してください。
(e) 大学以外の機関による給付奨学金	地方公共団体あるいは民間の奨学金事業団体などから受ける給付奨学金・奨励金を受けている方は、その年額を記入してください。ただし、貸与制の奨学金は(f)に記入してください。
(f) その他の貸与制の奨学金など	上記(b)日本学生支援機構の奨学金以外に、貸与制の奨学金などを受けている方は、その年額を記入してください。※条件付で返還が免除される奨学金は「貸与制」ですので本欄に記入してください
(g) ティーチングアシスタント(TA) ※学部生・短大生の方は記入しません。	大学に雇用され、セミナーの指導、実験・実習の指導、試験の実施、学部学生の講義等を担当し、その対価として支給される給付金のことです。
(h) リサーチアシスタント(RA) ※学部生・短大生の方は記入しません。	大学教員の研究補助者として雇用されるもので、学生の研究補助事業業務に対する対価として支給される給付金のことです。
(i) アルバイト	次の(j)の説明による「定職」にあてはまらないもので、学生生活を送るうえで、学費または生活費を補うために働いて得た報酬のことです。税込額を記入してください。
(j) 定職収入	「定職」とは、社会的に一定の職業を持ち、その収入によってあなたもしくは家族の生活の全部または大部分を継続的に賄っている場合です。あなたの定職収入額(税込)を記入してください。
(k) その他	あなたの貯蓄などを取り崩して支出にあてた額や、あなたの資産から生ずる利子収入・配当収入などのうちあなたの分として充当した額、あなたが奨学金以外で借入れをして今回調査期間中の支出に充当した額など、前述の(a)~(j)に該当しない全ての収入を記入してください。

◎年間収入額の記入例(一人暮らしの大学院生の場合)

①家庭からの仕送り
月額15,000円×12ヶ月=180,000円

②家庭が支払った授業料等
年額550,000円

③家庭が支払った家賃
月額50,000円×12ヶ月=600,000円

①18万円+②55万円+③60万円=133万

項目	千万	百万	十万	万	千	0	0	0	円
(a) 家庭からの給付 (家庭が支払った授業料を含む)		1	3	3	0	0	0	0	円
(b) 日本学生支援機構の奨学金					0	0	0	0	円
(c) 日本学術振興会の研究奨励金 (博士課程のみ)					0	0	0	0	円
(d) 大学からの給付奨学金 (返済不要の奨学金)					0	0	0	0	円
(e) 大学以外の給付奨学金 (返済不要の奨学金)					0	0	0	0	円
(f) その他の貸与制の奨学金など (b)の奨学金を除く			3	6	0	0	0	0	円
(g) ティーチングアシスタント (TA)					0	0	0	0	円
(h) リサーチアシスタント (RA)					0	0	0	0	円
(i) アルバイト (g)と(h)を除く			4	7	2	0	0	0	円
(j) 定職収入					0	0	0	0	円
(k) その他 (貯蓄などを取り崩した金額や借入金など)					0	0	0	0	円
年間収入合計(ア)		2	1	6	2	0	0	0	円

奨学金
月額30,000円×12ヶ月
=360,000円

①授業期間中のアルバイト代
月額31,600円×12ヶ月=379,200円

②夏休みのアルバイト代
年額93,000円

①379,200円+②93,000円=472,200円
↓
四捨五入 472,000円

(15) 年間支出額(平成27年12月～平成28年11月)(平成28年度入学者のみ平成28年4月～平成29年3月)

最近1ヵ月の支出を基準として、「(14)年間収入」で説明した算定方法に準じて、「毎月定例的な支出」及び「特定時期あるいは臨時的な支出」を算定し、年間の支出額ができるだけ正確なものとなるようにしてください。

※年額 千円未満は四捨五入、支出額がない場合は千円の位に「0」を記入してください。

(A) 授業料	平成28年度分の年額を記入してください。ただし、授業料を減額または免除されている方は、減免後、実際に納入する額を記入してください。また、全額免除された方は「千」の欄に「0」を記入してください。(減免申請中の場合は、所定の授業料の額を記入してください)
(B) その他の学校納付金	授業料以外に学校に納めなければならない費用で、施設整備費、実験実習費、後援会費などのことです。平成28年度分の年額を記入してください。なお、入学時の特別納付金(入学金、入学初年度のみ支払う納付金)は除いてください。
(C) 修学費	上記(A)、(B)以外に学習のために、あなたが支出した経費です。 例) 教科書・参考図書・実習材料・文具類の購入費・実習旅行費・実習を受けるために加入した保険料など。
(D) 課外活動費	サークル活動や自治会活動など、正課教育以外のために支出した経費です。サークル会費・合宿費・遠征費・用具購入費・自治会費など、毎年納入するものをまとめて支払った場合も含まれます。ただし、あなたの個人的な趣味、娯楽、レクリエーションなどの費用は(I)に記入してください。
(E) 通学費	定期券代などの通学に要する経費です。自転車、バイクや自動車などのガソリン代、維持費なども含まれます。
(F) 食費	自宅通学者…外食した時の経費だけを記入してください。 自宅外通学者…外食、自炊のための材料費、食事付きの下宿などで下宿に食費として支払う額の合計額を記入してください。ただし、間食代やし好品のものは除いてください。
(G) 住居・光熱費	自宅通学者…0を記入してください。 自宅外通学者…家主などに支払う部屋代(管理費、共益費など含む)、光熱水費、暖房費などの合計額を記入してください。なお、食事付きの下宿で食費などと一括して支払っている場合でも、住居・光熱水費分を算出し、記入してください。
(H) 保健衛生費	診療代・薬代・理髪美容代・化粧品代・銭湯代などです。
(I) 娯楽・し好費	趣味、レクリエーションなどの費用および酒、タバコ、間食代などです。
(J) 通信費	携帯電話、固定電話代、インターネットにかかる代金などです。
(K) その他の日常費	被服・帰省のための交通費、社会保険料(年金等)など上記(A)～(J)に含まれない日常的な経費を、すべて記入してください。

◎年間支出額の記入例(一人暮らしの大学院生の場合)

①施設費
年額10,000円
②実験・実習費など
年額5,000円
①10,000円+②5,000円=15,000円

①家賃
月額50,000円×12ヶ月=600,000円
②水道・光熱費
月額5,000円×12ヶ月=60,000円
①600,000円+②60,000円=660,000円

項目	千万	百万	十万	万	千	0	0	0	円
(A)授業料 (家庭が支払った授業料も含む)			5	3	6	0	0	0	円
(B)その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)				1	5	0	0	0	円
(C)修学費 (教科書、図書代、文具購入費等含む)				3	6	0	0	0	円
(D)課外活動費 (サークル活動、自治会活動など)					2	0	0	0	円
(E)通学費				3	6	0	0	0	円
(F)食費 (自宅通学者は外食費を記入)				2	4	0	0	0	円
(G)住居・光熱費 (自宅通学者は0を記入)				6	6	0	0	0	円
(H)保健衛生費 (診療代、薬代、理髪美容代などを含む)				2	3	0	0	0	円
(I)娯楽・し好費				1	2	0	0	0	円
(J)通信費 (携帯電話、固定電話代など)				8	4	0	0	0	円
(K)その他の日常費				4	1	0	0	0	円
(L)貯金					0	0	0	0	円
(イ)年間支出合計			2	1	6	2	0	0	円

年間収入合計(ア) = 年間支出合計(イ) になるようにしてください。

(18) 日本学生支援機構の奨学金の受給について(最近1年間)

日本学生支援機構の奨学金を受けたと回答した場合、設問(14)－(b)も記入したことを確認してください。

(20) 日本学生支援機構以外の奨学金の受給について(最近1年間)

日本学生支援機構以外の奨学金を受けたと回答した場合、設問(14)－(c)(d)(e)(f)((c)は大学院のみ)の該当箇所も記入したことを確認してください。

(22) アルバイトの従事職種

1. 塾講師・家庭教師など	塾・予備校講師、家庭教師、試験監督・採点など
2. 事務	一般事務、データ入力、パソコン入力事務、コールセンターなど
3. 販売	コンビニ・スーパー・デパート・量販店等での販売(レジ係を含む)、営業など
4. 飲食業	調理、接客、デリバリーなど
5. 販売・飲食業を除く軽労働	清掃、警備、包装、配布、新聞配達、製造、調査、イベントスタッフなど
6. 重労働・危険作業	土木工事、重量物運搬、引越スタッフ、倉庫整理、プレス作業、建築の現場作業、高所の屋外作業など
7. 特殊技能	通訳、翻訳、製図、プログラミング、インストラクターなど
8. その他	その他上記の職種にあてはまらない職種

(24) あなたの家庭の最近1年間(12ヶ月)の所得総額(税込額)について

次の①～④所得の種類別に調べた額を合計した金額を記入してください。なお、金額の計算にあたってはすべて税込額で行ってください。

①事業所得	個人が経営する農業・漁業・製造業・卸売業・小売業・サービス業などから生ずる所得でその年中の総収入から事業経営に必要な経費を控除した額。(農業、小売業などで生産品または商品を自家消費した場合は、時価に換算した見積額を所得に加算してください。)
②給与所得	俸給、給料、賃金、歳費、賞与など労務または役務の対価として受けた総額。
③資産所得	利子所得、配当所得、不動産所得など、資産から生ずる所得の総額。
④その他の所得	恩給、年金、家庭の内職収入および世帯員以外の者からの経済的援助などの総額とし、退職金、財産売却、相続などのため、臨時的に得た収入および借入金は計算しないでください。

IV. 家庭の状況について

(27) 主たる家計支持者の職業について

職業区分	代表例	基準	詳細例
1 勤労者世帯	会社員 公務員	民間の会社、商店、病院、学校、工場などや官公庁または官公立の病院、学校などに勤め、事務的、技術的または管理的な仕事、および肉体・技能労働に従事している者。 ただし、「3」の法人経営者に分類される者は除く。	総務・人事・企画・広報などの一般事務員、営業、外交員、SE、プログラマー、販売店員、調理人、配膳人、清掃員、勤務医、看護師、薬剤師、学校長、教員、研究者、塾講師、図書館司書、保健師、検察官、裁判官、警察官、消防士、自衛官、駅長、電車運転士、車掌、自動車運転手、船員、工場長、新聞記者、機械技術者、電気技術者、配達員、守衛、警備員など
2 個人営業世帯	商人 職人 個人経営者	独立して商品の製造、加工、販売またはサービスを提供する業主、および独立して個人組織で商業、工業、サービス業などを経営してその企画管理に従事する者。 ただし、「3」の法人経営者に分類される者は除く。	商店主、飲食店主、理髪店主、工場主、大工、植木職、アパート等不動産経営者、個人タクシー運転手、個人トラック運転手、行商など
3 法人経営・自由業世帯	会社役員 市町村長 議員	法人組織(株式会社・有限会社など)で、家族でない使用人5人以上を雇用する会社、団体などの役員、国・地方公共団体で役員に相当する者、および議会議員。 なお、「1」の勤労者に分類される者でも、程度の高い企画管理、行政事務または監督事務に従事する者は含める。	社長、会長、会社役員、取締役、監査役、理事、銀行頭取、相談役、政務官、事務次官、局長、裁判所長官、教育委員長、知事、副知事、区長、市町村長、副市長、国務大臣、副大臣、国会議員、地方公共団体議会議員など
	開業医 弁護士 芸術家 スポーツ選手	個人で自分の専門の技能や知識を内容とする仕事に従事する者。 ただし、「1」の勤労者に分類される者は除く。	開業医、弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、助産師、マッサージ師、僧侶、神職、作家、漫画家、画家、作曲家、評論家、コンサルタント、芸能人(歌手、俳優など)、モデル、職業スポーツ家(野球選手、競輪選手、力士など)など
4 水産・農業・林業世帯	農業・林業・海水産業従事者	独立して農作物の栽培・収穫、養蚕・家畜・家さん・その他の動物の飼育、林木の育成・伐採・搬出、水産動植物採取・養殖などの仕事に従事している者。	農耕作業業者、養蚕作業業者、養畜作業業者、伐木業者、育林作業業者、漁船要員、漁労作業業者、海藻・貝採取作業業者、水産養殖作業業者など
5 その他の世帯	その他	「1」～「4」のいずれの職業区分にもあてはまらない者。	「1」～「4」のいずれの職業詳細例にもあてはまらない者。
	無職	職業のない者。	年金生活者、失業者、主婦など

V. 大学での授業・学習について 【大学・短期大学の方のみ（大学院の方はこの設問はありません）】

(32) あなたの成績についてお答えください。(不可の割合は除いて、足して10割になるように記入してください)

素点によって成績評価がなされている場合には、

90点以上 = 秀 (S,A+)、90点未満～80点以上 = 優 (A)、80点未満～70点以上 = 良 (B)、70点未満～60点以上 = 可 (C)

とみなして、「①5段階評価」の欄に、おおよその割合を記入してください。

学生生活調査実施検討委員会委員（敬称略・50音順、◎委員長）

沖 清豪 早稲田大学 文学学術院 教授

◎加藤 泰建 埼玉大学 名誉教授（元 埼玉大学理事・副学長）

小林 雅之 東京大学 大学総合教育研究センター 教授（当機構客員研究員）

濱中 義隆 国立教育政策研究所 高等教育研究部 総括研究官（当機構客員研究員）

望月 由起 昭和女子大学 総合教育センター 准教授

保田 時男 関西大学 社会学部 教授

藤森 義夫 日本学生支援機構奨学事業戦略部長

平成 28 年度 学生生活調査結果

平成 30 年 3 月 発行

独立行政法人 日本学生支援機構
学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
TEL 03-5520-6169 FAX 03-5520-6048
URL <http://www.jasso.go.jp/>